

保健事業の実施計画書

# 第2期 データヘルス計画書

計画策定日：平成30年2月6日  
最終更新日：令和03年2月5日

関東ITソフトウェア健康保険組合



KANTO IT SOFTWARE HEALTH INSURANCE SOCIETY

# 目次

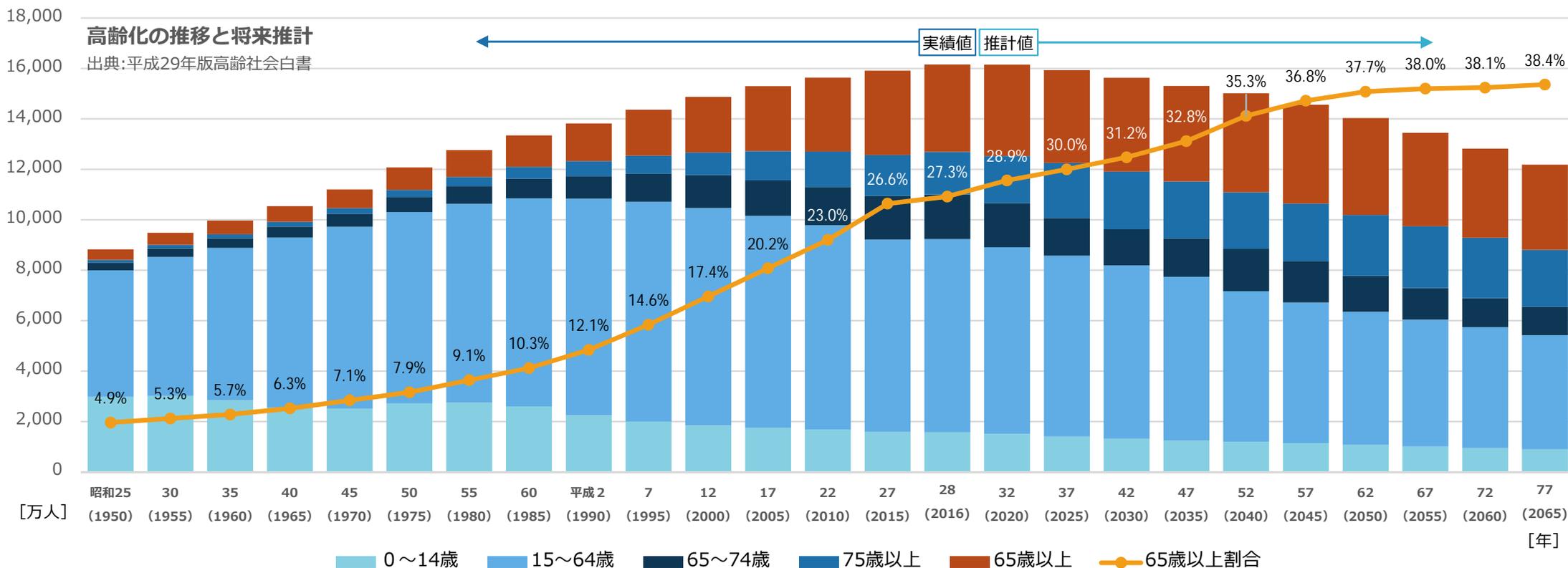
<b>STEP 1</b>	<b>現状を把握する</b>	<b>4</b>	付録1	医療費の三要素分析	43
<b>1-1</b>	<b>基本情報</b>	<b>5</b>	付録2	疾病19分類	44
1-1-1	基本情報	6	付録3	電子化率の推移	45
1-1-2	保健事業の実施状況	7	<b>1-4</b>	<b>健康分布</b>	<b>46</b>
<b>1-2</b>	<b>特定健診・保健指導</b>	<b>13</b>	1-4-1	健康分布図－40歳以上でみた肥満によるリスク分布－	47
1-2-1	実施状況等－平成30・令和元年度－	14	1-4-2	健康分布図－全年齢でみた肥満によるリスク分布－	48
1-2-2	実施状況等－平成30・令和元年度－	15	1-4-3	健康分布図－問診票分析（食習慣）－	49
1-2-3	実施状況の比較－平成30年度の実施率等－	16	1-4-4	健康分布図－問診票分析（その他）－	50
1-2-4	実施状況の比較－平成30年度の服薬状況－	17	1-4-5	健康分布図（被保険者）－BMI・腹囲－	51
<b>1-3</b>	<b>医療費</b>	<b>18</b>	1-4-6	健康分布図（被保険者）－糖尿病指標－	52
1-3-1	年齢階層別医療費 男性本人家族計	19	1-4-7	健康分布図（被保険者）－血圧－	53
1-3-2	年齢階層別医療費 女性本人家族計	20	1-4-8	健康分布図（被保険者）－HDLコレステロールとLDLコレステロール－	54
1-3-3	年齢階層別医療費 男性本人	21	1-4-9	健康分布図（被保険者）－AST（GOT）とALT（GPT）－	55
1-3-4	年齢階層別医療費 女性本人	22	1-4-10	健康分布図（被保険者）－ $\gamma$ -GP（ $\gamma$ -GPT）と中性脂肪－	56
1-3-5	年齢階層別医療費 男性家族	23	1-4-11	健康分布図（被保険者）－喫煙率－	57
1-3-6	年齢階層別医療費 女性家族	24	付録4	健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等	58
1-3-7	診療区分別医療費の三要素 ①	25	付録5	特定保健指導の階層化フロー	59
1-3-8	診療区分別医療費の三要素 ②	26	付録6	健診検査項目の概要	60
1-3-9	疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人	27	<b>1-5</b>	<b>後発医薬品</b>	<b>61</b>
1-3-10	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人	28	1-5-1	後発医薬品の使用状況 本人家族	62
1-3-11	生活習慣病 医科入院三要素 男性本人	29	1-5-2	後発医薬品の使用状況 本人	63
1-3-12	生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人	30	1-5-3	後発医薬品の使用状況 家族	64
1-3-13	疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人	31	1-5-4	後発医薬品の使用割合の比較 －令和2年3月調剤分－	65
1-3-14	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人	32	1-5-5	後発医薬品の薬剤費割合の比較 －令和2年3月調剤分－	66
1-3-15	生活習慣病 医科入院三要素 女性本人	33	<b>STEP 2</b>	<b>健康課題を抽出する</b>	<b>67</b>
1-3-16	生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人	34	<b>2</b>	<b>健康課題抽出</b>	<b>68</b>
1-3-17	疾病19分類別 医科入院三要素 男性家族	35	<b>STEP 3</b>	<b>課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する</b>	<b>69</b>
1-3-18	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性家族	36	<b>3-1</b>	<b>実施計画</b>	<b>70</b>
1-3-19	生活習慣病 医科入院三要素 男性家族	37	3-1-1	保健事業の実施計画	71
1-3-20	生活習慣病 医科入院外三要素 男性家族	38	<b>3-2</b>	<b>目標</b>	<b>81</b>
1-3-21	疾病19分類別 医科入院三要素 女性家族	39	3-2-1	保健事業の目標	82
1-3-22	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性家族	40			
1-3-23	生活習慣病 医科入院三要素 女性家族	41			
1-3-24	生活習慣病 医科入院外三要素 女性家族	42			

## 保健事業－第2期データヘルス－の実施計画の策定にあたり

高齢者人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった2015年（平成27年）に3,387万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には3,677万人に達すると見込まれています。その後も高齢者人口は増加傾向が続き、2042年に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。これまでは高齢化の進展の速さが深刻な問題でしたが、2015年（平成27年）以降は高齢化率が高まることでより大きな問題となってきます。

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において「すべての健保組合に対し、レセプト等のデータ分析にもとづくデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組」が義務付けられたことに伴い、平成26年3月、厚生労働省は保健事業の実施指針（厚生労働大臣告示）を改正しました。そして平成27年度より3ヶ年の第1期計画がスタートし、新たに平成30年度より6カ年の第2期計画を策定したところです。

少子高齢社会が急速に進展し労働力人口の減少が見込まれる我が国では、人口構成の変化や生活習慣の変容などに伴う疾病構造に対応した取り組みが、より一層求められます。他方、健康保険組合の財政は益々厳しくなることから、保険者機能の発揮が最大限に期待される保健事業に対し、限られた財源を高効率で投下し、最大限のアウトカムを得られるよう、これからの保健事業、健康づくりの在り方について検討するとともに、本計画を毎年見直しつつ健康管理事業の取り組みを実践いたします。



# STEP 1

## 現状を把握する

### POINT

- はじめに加入者の属性、事業所の概要、健保組合がこれまで実施してきた取組を棚卸しします。何ができていて何ができていないかを整理したうえで、これまでの事業を活用する視点が大切になります。
- 健保組合の健康課題を明確にするため医療データと健診データで現状を把握し、基本分析では可能な限り、他の医療保険者や健保組合と自健保組合を比較して特徴を明確にします。

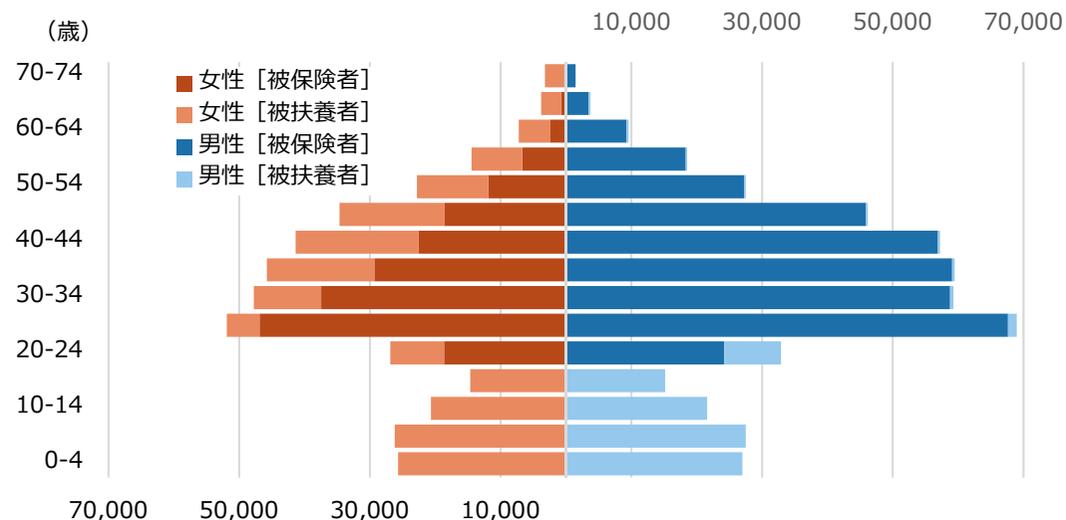
## STEP 1-1

## 基本情報

- 1-1-2から1-1-6 保健事業の実施状況は、令和2年度の実施状況（見込み）です。
- 1-1-2から1-1-6 保健事業の実施状況の対象者の「資格」及び「年齢」などの条件は、事業ごと更に条件設定がされているものがあります。

組合コード	28370		
組合名称	関東ITソフトウェア健康保険組合		
形態	総合		
被保険者数（令和3年度予算）	568,000 人		
	男性 65.6%	平均年齢 38.2歳	
	女性 34.4%	平均年齢 35.4歳	
加入者数（令和3年度予算）	863,360 人		
適用事業所数（令和2年12月末現在）	7,129 社		
対象となる拠点数	-		
保険料率（令和3年度予算）※調整を含む。	85/1000		
	全 体	被保険者	被扶養者
■ 特定健康診査実施率（令和元年度）	77.8%	88.1%	42.7%
■ 特定保健指導実施率（令和元年度）	22.7%	23.0%	15.7%

(人)



令和3年3月末見込み		健康保険組合事業主側の医療専門職	
		常 勤	非常勤
健保組合	顧問医	1 人	0 人
	保健師等	2 人	0 人
事業主	産業医	- 人	- 人
	保健師等	- 人	- 人

保健事業費	令和3年度予算額	被保険者一人当金額
■ 特定健康審査事業費	195,116 千円	344 円
■ 特定保健指導事業費	221,000 千円	389 円
■ 保健指導宣伝費	195,058 千円	343 円
■ 疾病予防費	11,195,789 千円	19,711 円
■ 体育奨励費	867,815 千円	1,528 円
■ 直営保養所費	1,870,372 千円	3,293 円
■ 契約保養所費	781,296 千円	1,376 円
■ 保健会館費	1,896,820 千円	3,339 円
■ その他	631,000 千円	1,111 円
合 計	a 17,854,266 千円	31,434 円
令和3年度予算 経常支出合計	b 268,686,000千円	a/b= 6.64 %

- ・大規模な健保組合であるが適用事業所（窓口）数が多く、1社当りの被保険者数は平均で 77.0人（令和2年12月末現在）と、個々の事業所規模は決して大きくはない。
- ・被保険者の特定健診実施率を高値で維持している。
- ・20歳・30歳代が被保険者全体の60.2%を占め、若い被保険者構成となっている。
- ・被扶養者数は、令和2年12月末現在で284,010人（扶養率0.52）であり低い扶養割合となっている。
- ・前期高齢者である加入者数は、令和2年12月末現在で10,721人（加入率1.29%）と極めて低い構成となっている。

健保組合の取り組み														
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況		成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康診査事業	1	特定健診(被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40~74	全員	0	受診者数 169,700名 受診率 83.9%	・契約健診機関を設置し受診機会の増	・健保補助の健診を利用していない事業所の結果データを受領できていない	4	
	1	特定健診(被扶養者、任継)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	全員	126,390	受診者数 21,300名 受診率 35.5%	・過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足 ・受診機会の不足	3	
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	基準 該当者	174,718	動機付	対象者数 17,000名 利用者数 5,900名 完了者数 5,700名	・直営健診センターによる当日実施 ・遠隔保健指導の導入 ・保健指導支援室による電話案内、事業所訪問	・対象者の保健指導に対する理解不足 ・事業所との連携不能(勤務時間中の離席に対する対応など)	4
										積極的	対象者数 25,500名 利用者数 6,100名 完了者数 3,600名			
										実施率	21.9% (暫定値)			
保健指導宣伝	4	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	69,242	社員に事業所経由の配布ホームページにも同時掲載	・健保が実施する保健事業の周知及び参加率の向上に寄与	-	4	
	7	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐付けを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3,490	ITSコラボヘルス 02年9月、11月、03年2月開催	・職場の健康づくりに意識が高い事業所を対象に実施 ・健康経営優良法人認定に係る情報の提供 ・外部事業者の有効利用	・健康づくりの企業風土への定着に向けた実践的な取組及び事業所間で共有できる好事例の不足	4	

注1) 事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注2) 評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	7	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修及び保健事業の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	2,503	健康研修プログラム補助事業 9社 (743名) 利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>宣言実施事業所へメール/HPを通じた周知広報</li> <li>算定事務説明会での制度案内</li> <li>健康経営優良法人(中小規模法人)認定制度の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や担当者への周知不足</li> </ul>	2
	7	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	0	令和2年5月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止し、資料のみ配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康企業宣言及び健康経営優良法人認定制度に関する最新の動向を共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場型での開催に拘らず、WEB配信も検討</li> </ul>	2
保健指導宣伝	7	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	22,971	登録者数 36,556名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全事業所へのメール配信/機関紙/HPを通じた周知広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や被保険者への周知広報不足</li> </ul>	5
	7	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の啓蒙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減	-	事業所	-	-	-	1,514	配布数 7,365社	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌送付の際に事業所へポスターを配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所との連携不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	5
	7	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	3,443	参加者数 149名	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に中小規模事業所を対象として案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所ごとの問題点への対応不能</li> <li>参加者のメンタルヘルス対策に対する知識レベルの相違</li> </ul>	3
	7	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	28	後発医薬品差額通知年12回実施 差額通知件数 114,000件	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関紙/HPを通じた周知広報、ジェネリックお願いシール申込フォームの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や被保険者への周知広報不足</li> </ul>	5

注1) 事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注2) 評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	1	健康診査(基本健診・人間ドック等)	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	8,557,215	受診者数 471,600名	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層のドック受診機会の拡充</li> <li>健診車での実施契約拡充</li> </ul>	-	4
	1	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	241,172	受診者数 17,000名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額健保負担</li> <li>過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の健診に対する理解不足</li> <li>健診日が特定されることによる、受診機会の不足</li> </ul>	4
	1	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	1,048,000	受診者数 108,000名	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診のOPとすることで受診者の利便性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査により受診不可な施設がある</li> </ul>	4
	1	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ~74	全員	32,284	受診者数 2,200名	<ul style="list-style-type: none"> <li>健保補助により低額での受診が可能</li> <li>一次健診との同時実施が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方での受診機会の不足</li> <li>リスク対象者への案内不足</li> </ul>	2
	1	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ~74	全員	37,362	利用者数 4,400名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額健保負担</li> <li>郵送検査での実施</li> </ul>	-	1
	1	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科検診	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	15,615	利用者数 4,700名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額健保負担</li> <li>事業所での実施が可能</li> <li>土日の実施が可能(健保会館型)</li> </ul>	-	1
	7	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	444,691	利用者数 216,000名	<ul style="list-style-type: none"> <li>東振協を利用することで全国多数の施設で補助による接種が可能</li> </ul>	-	5

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
疾病予防	7	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20~39	基準該当者	10,181	案内送付 4,145通 参加者数 196名 参加率 4.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者へ事業所経由で案内送付</li> <li>全額健保負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	1
	7	ダイエットプログラム	【目的】BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	2,001	参加者数 414名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額健保負担</li> <li>webからの自由参加型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への周知不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	2
	4	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】1泊2日の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	769	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の教育介入プログラムは中止。 ※トライアル事業として糖尿病WEBスタディ実施。 参加者数 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>webからの自由参加</li> <li>全額健保負担</li> <li>参加者との信頼関係の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業周知徹底の不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	-
	2	糖尿病受診勧奨	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	5,500	案内送付者数 500名	<ul style="list-style-type: none"> <li>その後受診がないと思われる者に電話で直接アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業周知徹底の不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	5
	4	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	12,650	案内送付者数 500名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額健保負担</li> <li>webからの自由参加</li> <li>申込みがない者に電話で直接アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業周知徹底の不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> <li>事業所との連携不足</li> </ul>	5
	2	高血圧受診勧奨	【目的】高血圧症重症化予防 【概要】血圧高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	2,887	案内送付者数 2,500名	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業周知徹底の不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	5
	6	前期高齢者等保健指導	【目的】生活習慣病重症化予防 【概要】将来の生活の質を低下させたいための保健指導	被保険者 被扶養者	全て	男女	64~74	全員	5,369	参加者数 167名	<ul style="list-style-type: none"> <li>レセプトや健診結果をもとに階層化し、リスクの高い者に文書で直接アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への周知不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	1

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
体育奨励	7	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	5,554	参加チーム数 166チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所間交流の推進</li> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1,995	開催中止 ※発生費用は、10日間分のチケット発送準備費用	-	-	-
	7	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	19,337	参加者数 3,600名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	6,684	参加者数 4,350名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	0	開催中止	-	-	-
	7	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	6,245	参加チーム数 120チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所間交流の推進</li> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区での日帰りウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	4,212	参加者数 585名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
体育奨励	7	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	2,137	参加チーム数 51チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所間交流の推進</li> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区での日帰りハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1,444	参加者数 122名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	0	開催中止	-	-	-
		ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び被扶養者を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	0	開催中止	-	-	-
	7	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	6,755	参加者数 223名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	612,267	参加者数 49,000名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
	7	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	147,838	参加者数 120,000名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4
直営保養所	7	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1,426,735	参加者数 31,800名	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者の健康増進</li> </ul>	-	4

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

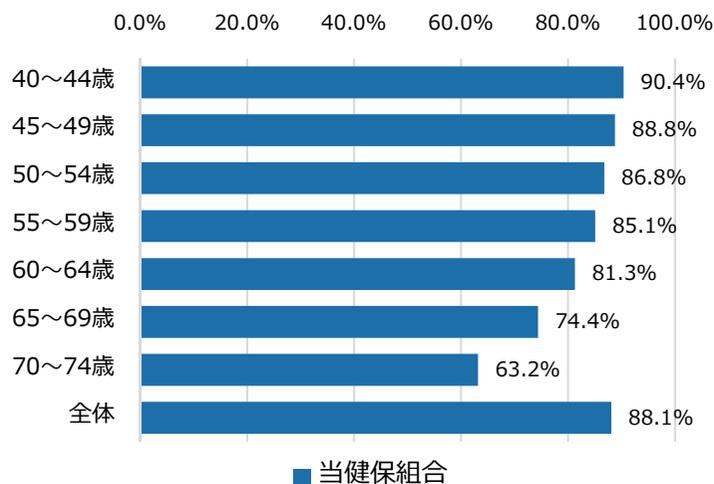
注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

**STEP 1-2**

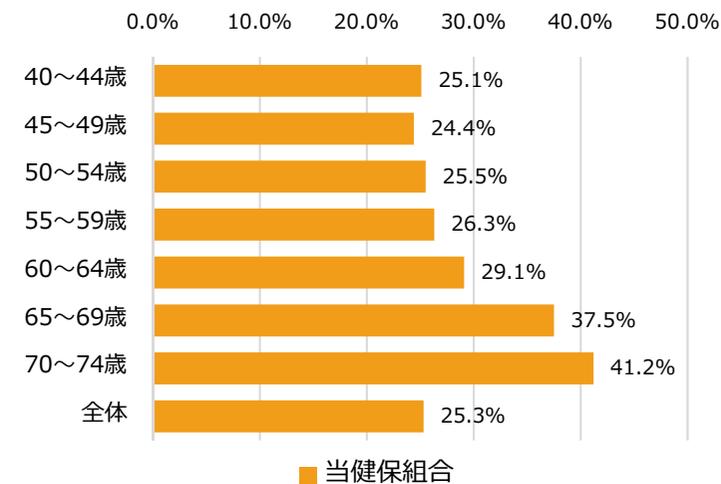
**特定健診・保健指導**

平成30年度

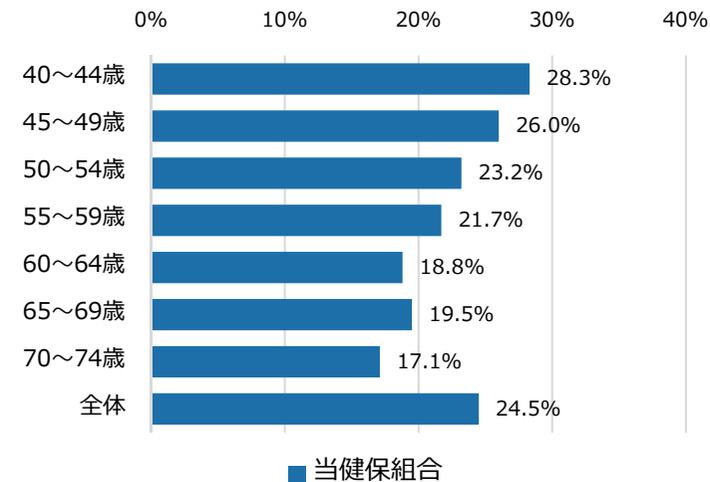
特定健診の受診率【被保険者】



特定保健指導の実施率【被保険者】

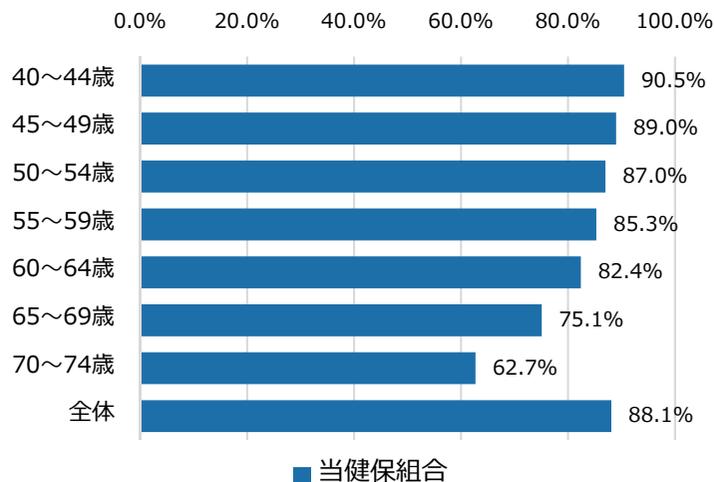


メタボ対象者の減少率【被保険者】

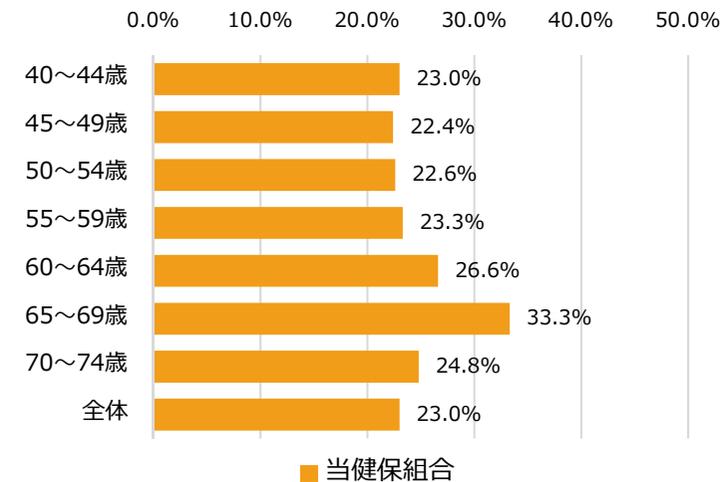


令和元年度

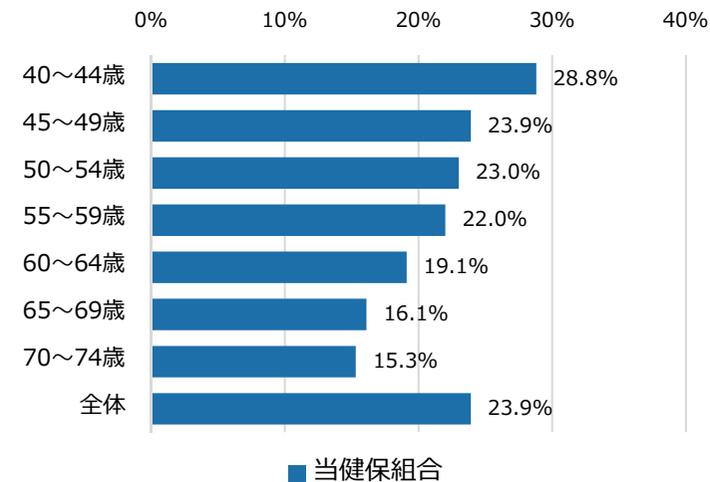
特定健診の受診率【被保険者】



特定保健指導の実施率【被保険者】



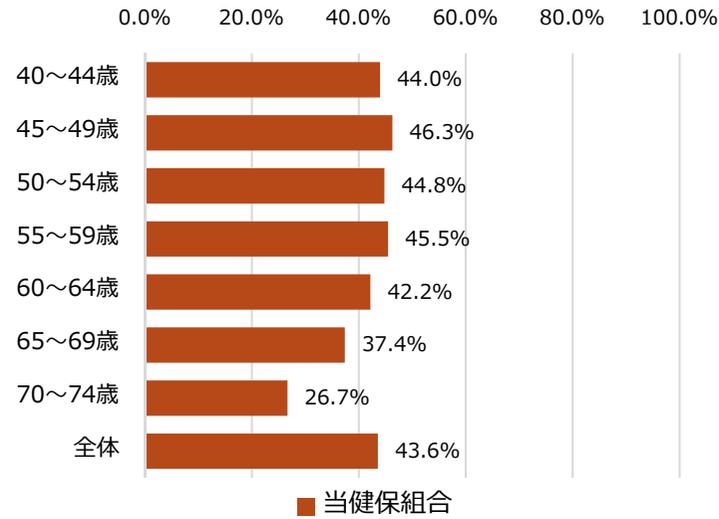
メタボ対象者の減少率【被保険者】



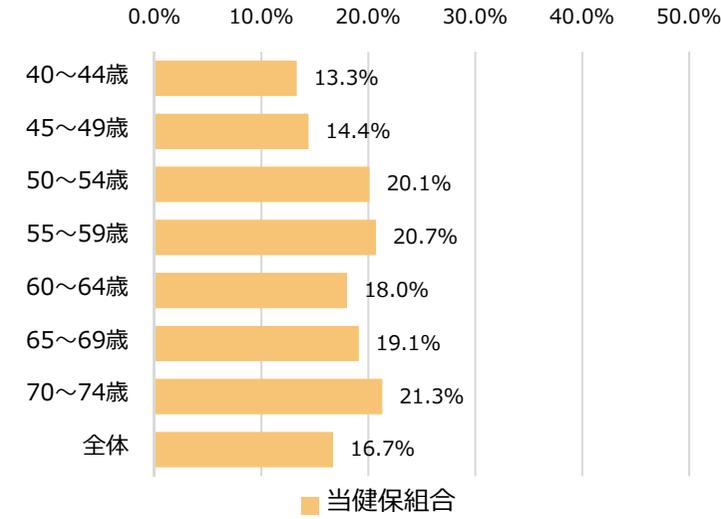
# 1-2-2 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 –平成30・令和元年度–

## 平成30年度

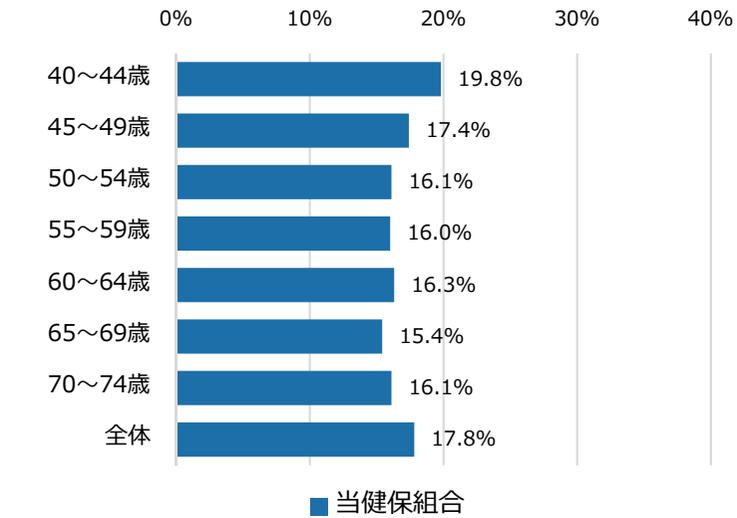
特定健診の受診率【被扶養者】



特定保健指導の実施率【被扶養者】



特定保健指導対象者の減少率【被保険者】

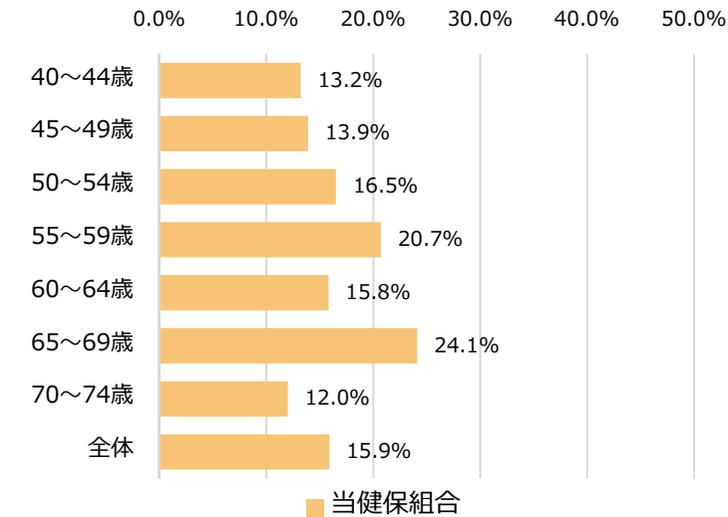


## 令和元年度

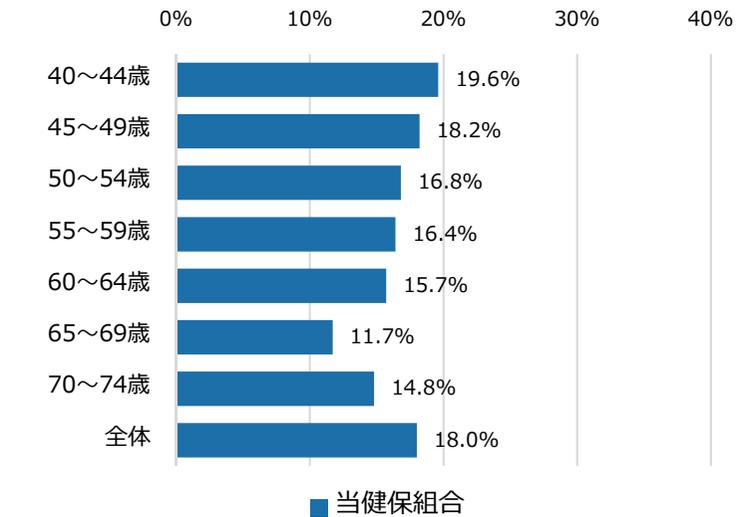
特定健診の受診率【被扶養者】



特定保健指導の実施率【被扶養者】

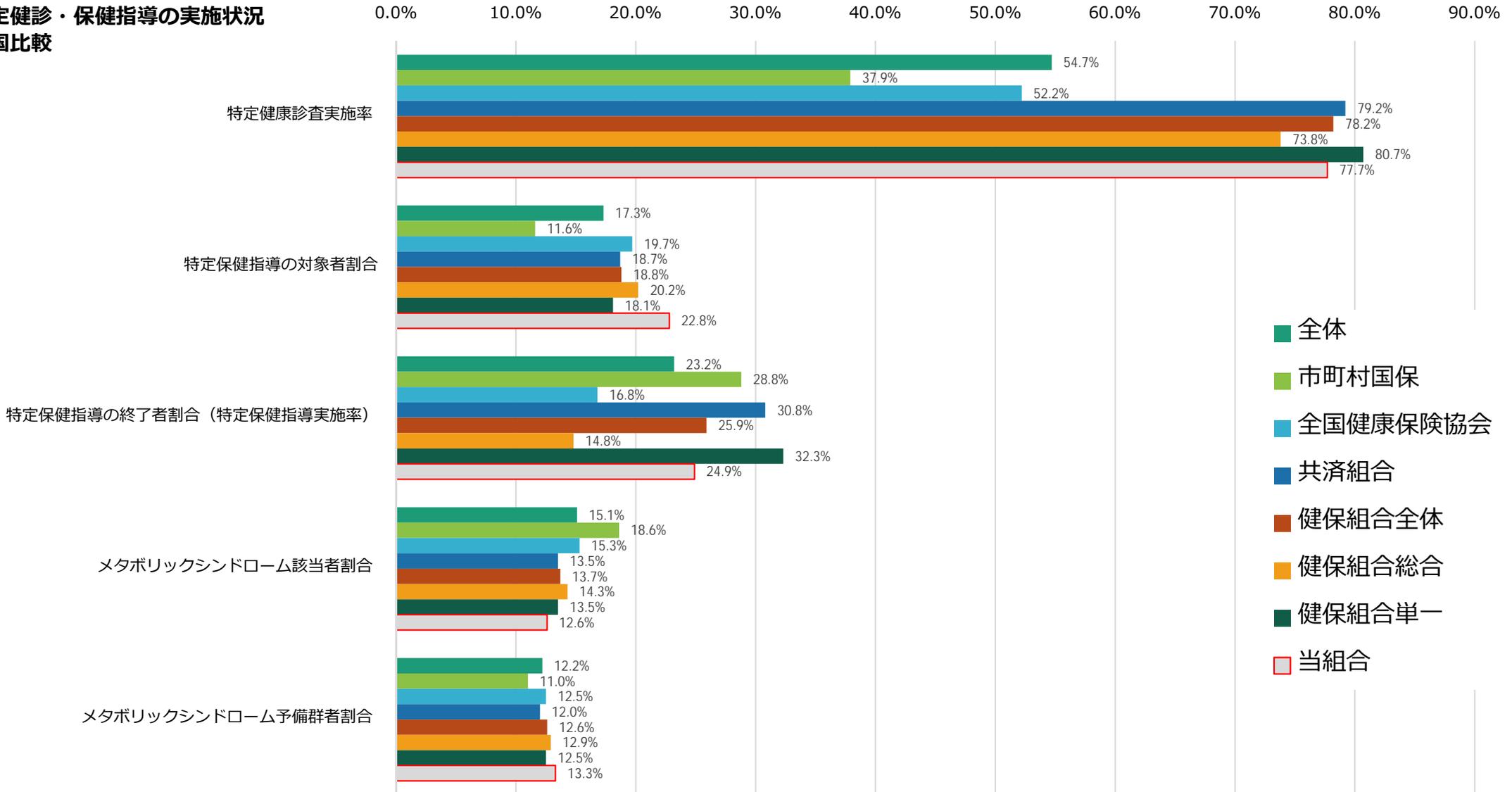


特定保健指導対象者の減少率【被保険者】



# 1-2-3 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 –平成30年度の実施率等–

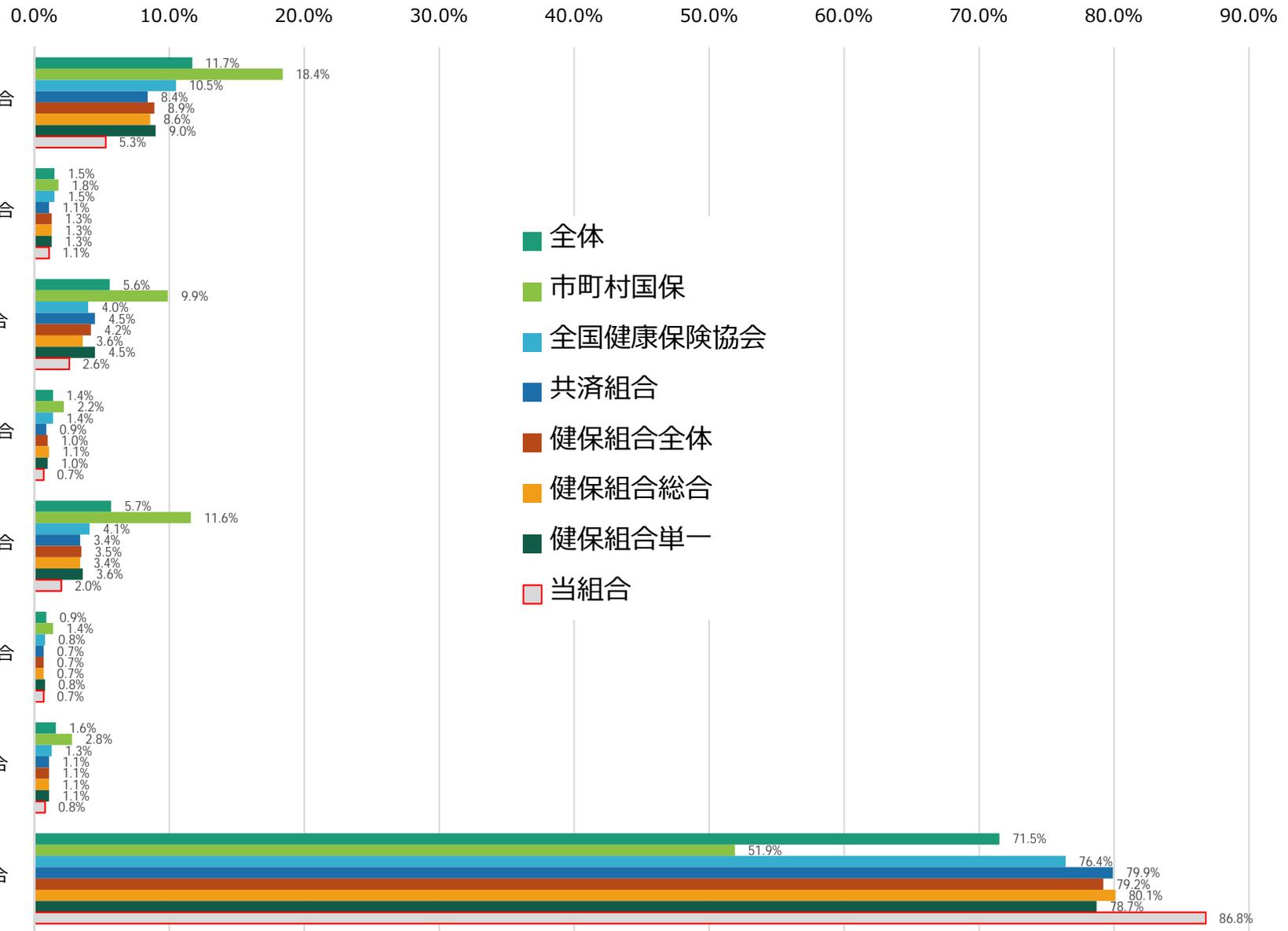
## 特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



- 特定健診、特定保健指導ともに実施率は高い。
- 特定保健指導の対象者割合が高く、メタボリックシンドロームについては該当者割合は低いが予備群者割合は高い。

# 1-2-4 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 –平成30年度の服薬状況–

## 特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



■ メタボリックシンドローム予備群の者の割合が全国に比して高いのに、薬剤を服用していない者の割合が非常に高いが、その値は平成24年度より1.4ポイント減少している。

## STEP 1-3

## 医療費

- 分析対象の医療費は、平成31年4月から令和2年3月診療分のレセプトを集計したもの。
- システムによる分析対象レセプトは、電子レセによるものを客体としている。
- 前年度と比較したシートには対象年度を表示
- 医療費の三要素については「付録1」を参照（43頁）
- 疾病19分類については「付録2」を参照（44頁）
- 当組合のレセプト電子化の状況は「付録3」を参照（45頁）

### 【医療費関係三要素の計算定義と説明】

「医療費」 診療報酬点数×10円。平均医療費を計算する場合、円未満端数を四捨五入

「一人当たり医療費」 医療費÷加入者（加入者は算出対象ごとの加入者の総数）で計算。円未満端数を四捨五入。  
また、複数診療月分の一人当たり医療費を計算する場合、分母の加入者数は1ヶ月当り平均加入者数を用いて計算。グラフ・表内で「一人当医療費」と表記

「受診率」 受診率は1,000人当りの件数。レセプト件数÷（加入者数÷1000）で計算。小数点以下第5位四捨五入

「一件当たり日数」 日数÷レセプト件数で計算。小数点以下第3位四捨五入。グラフ・表内で「一件当日数」と表記

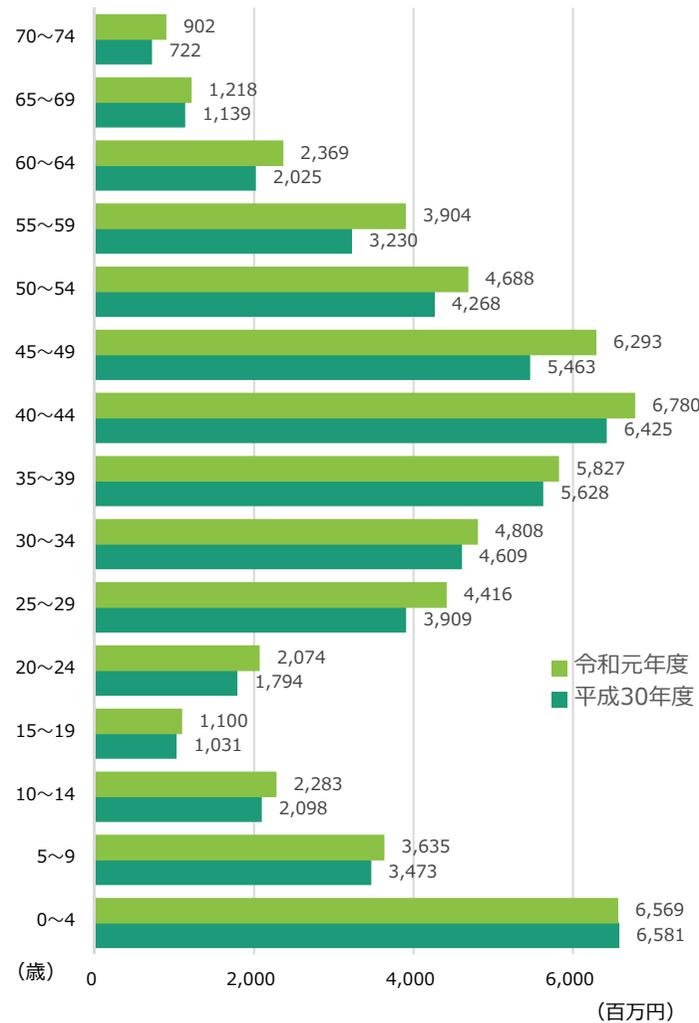
「一日当たり医療費」 医療費÷日数で計算。円未満端数を四捨五入。調剤の場合は、日数に替えて「処方箋回数」で計算。グラフ・表内で「一日当医療費」と表記

### 【分析客体の簡易表示】

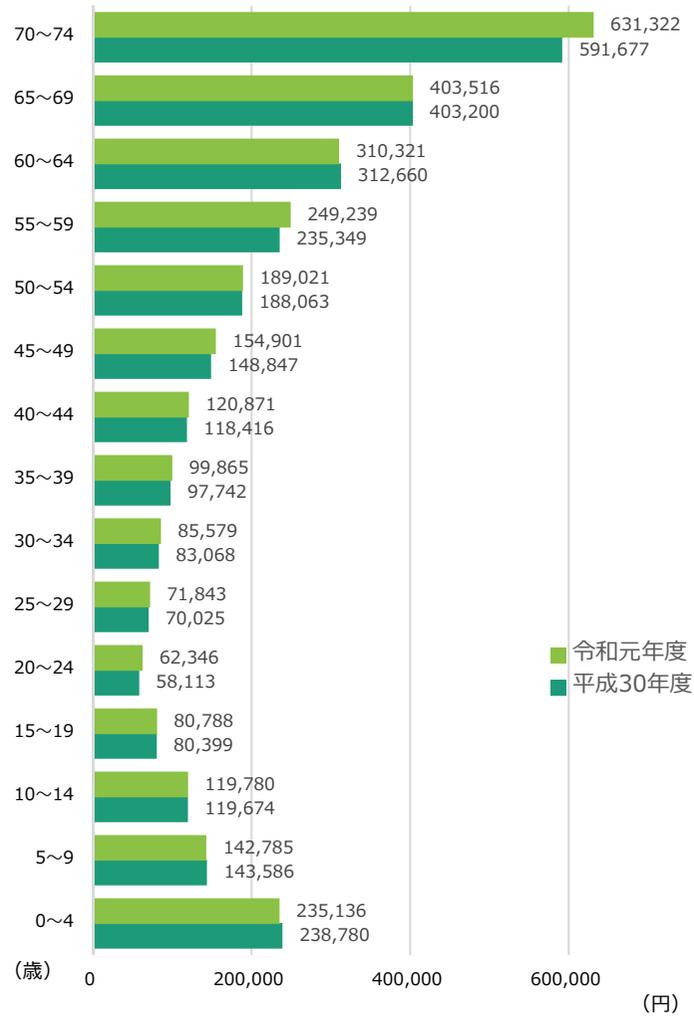
頁右上にラベルは、当該頁の分析対象となっている客体を示しています。

入院外 医科での通院    入院 医科での入院    歯科 歯科での入院通院    調剤 処方箋に基づく調剤  
本人 被保険者本人    家族 被扶養者家族    男性 男性    女性 女性

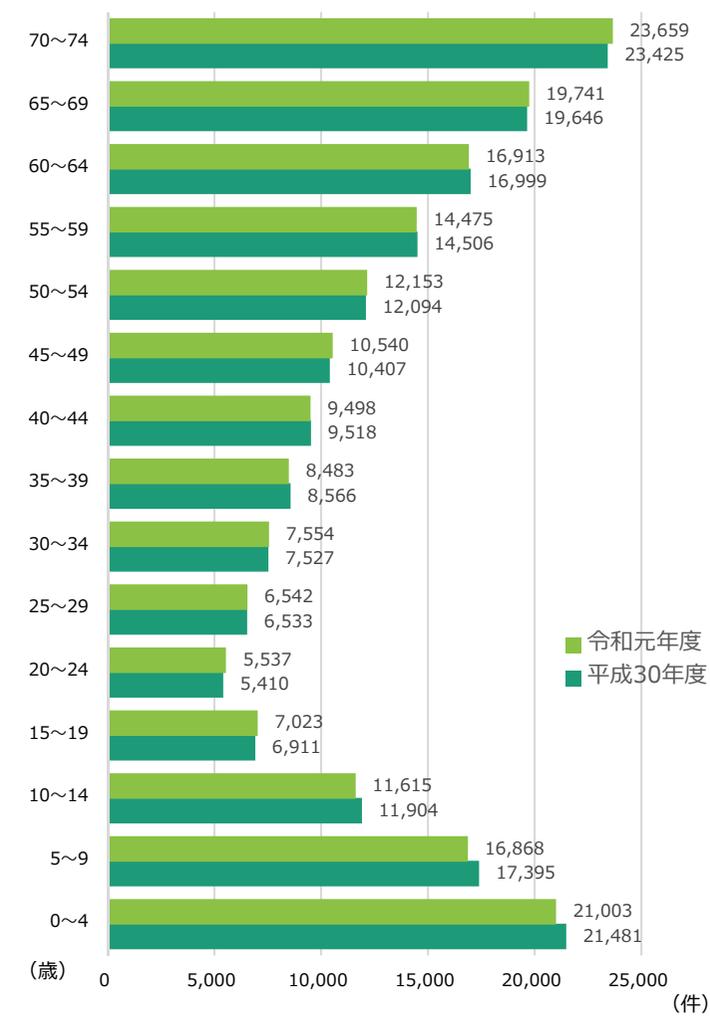
医療費総額 男性



一人当医療費 男性

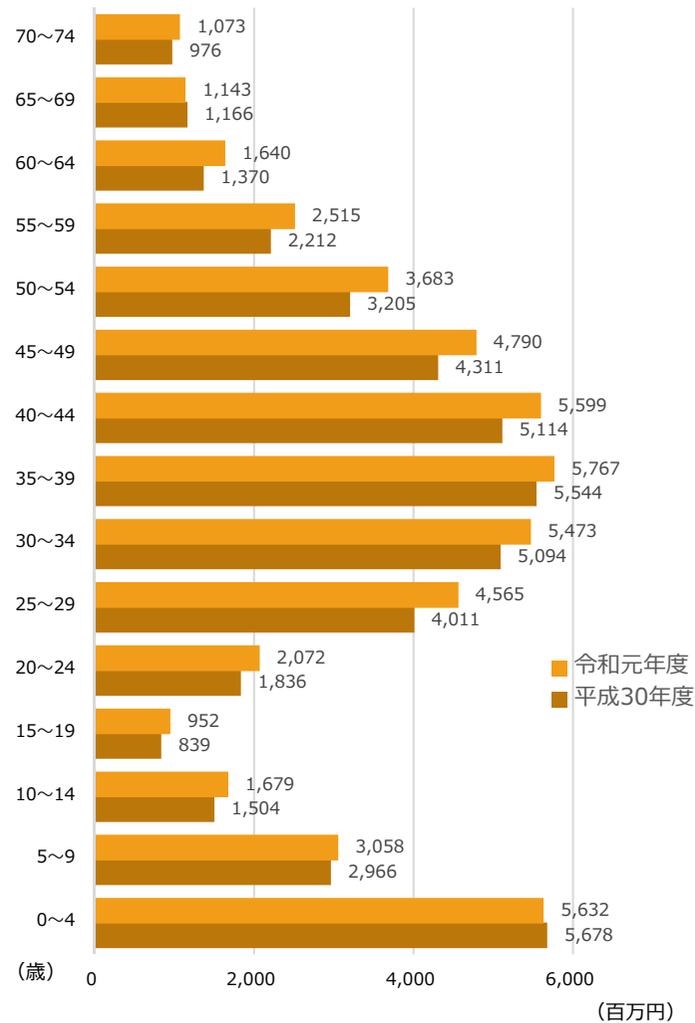


受診率 (1,000人当たり件数) 男性

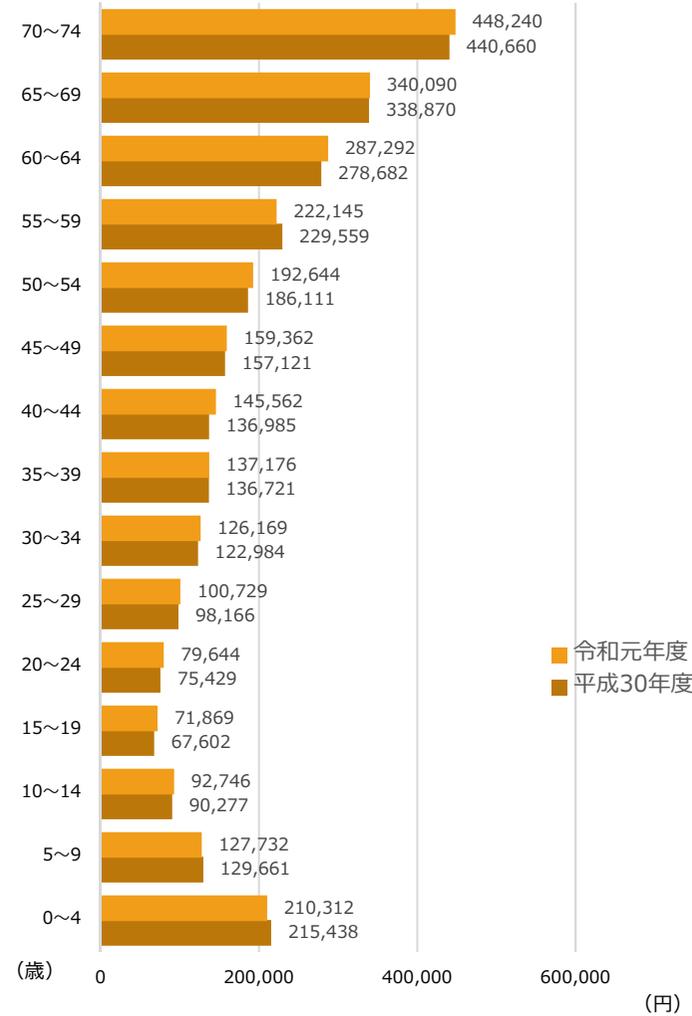


- 乳幼児、未就学児童は、医療費総額、一人当医療費及び受診率ともに高い。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに一人当医療費、受診率が大きくなる。
- 乳幼児を除くすべての年齢階層で前年よりも医療費総額が伸びている。

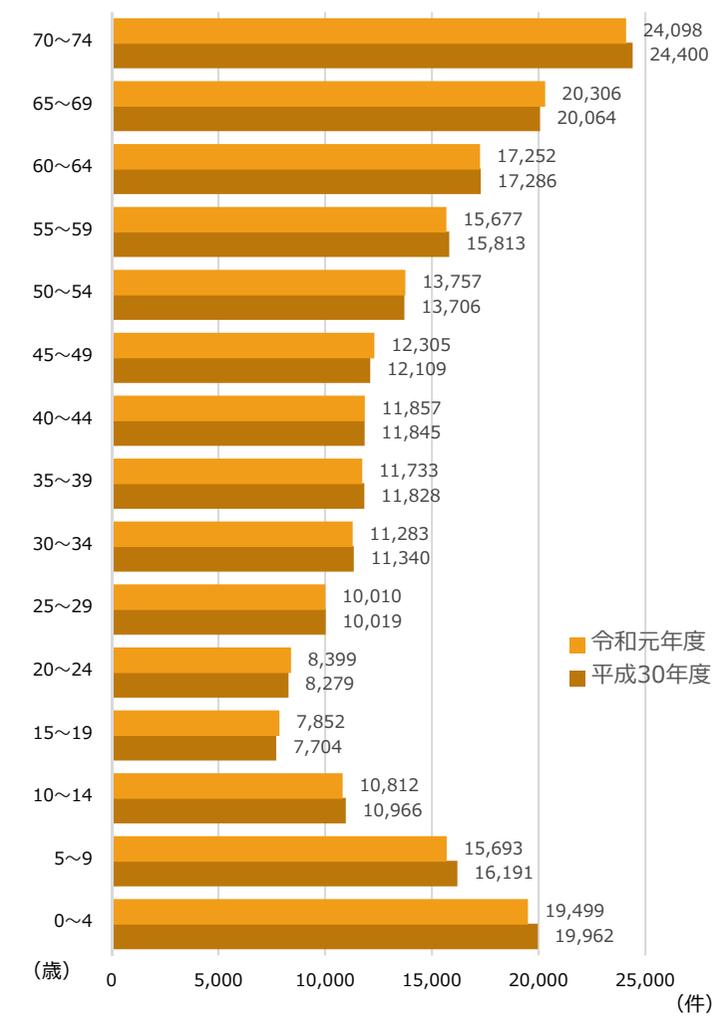
医療費総額 女性



一人当医療費 女性



受診率 (1,000人当たり件数) 女性

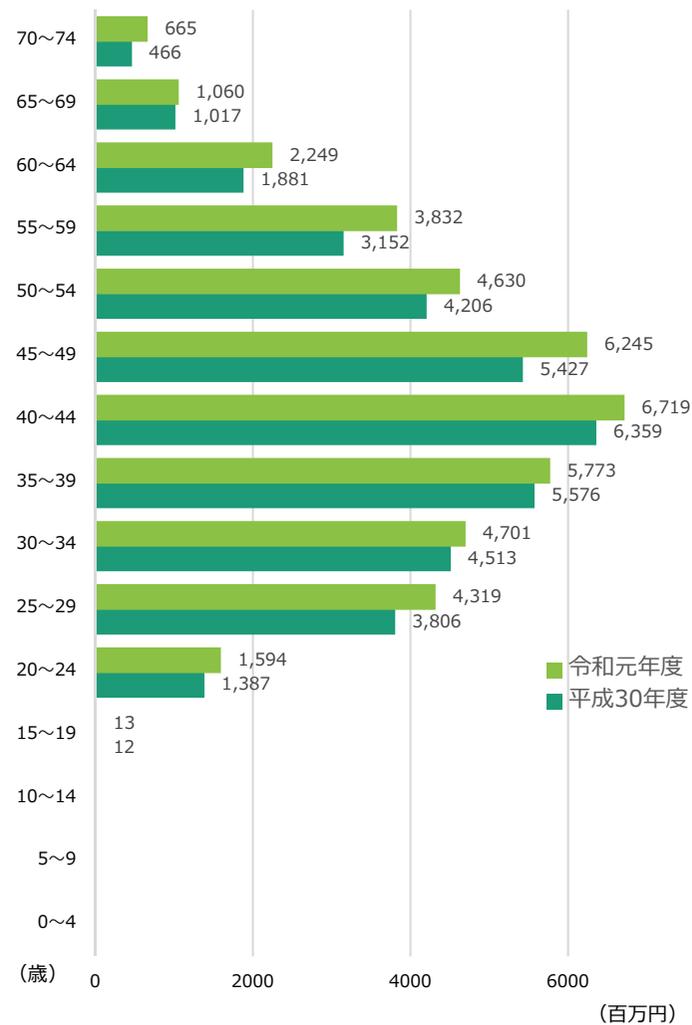


■ ほぼすべての年齢階層で前年よりも医療費総額が伸びている。

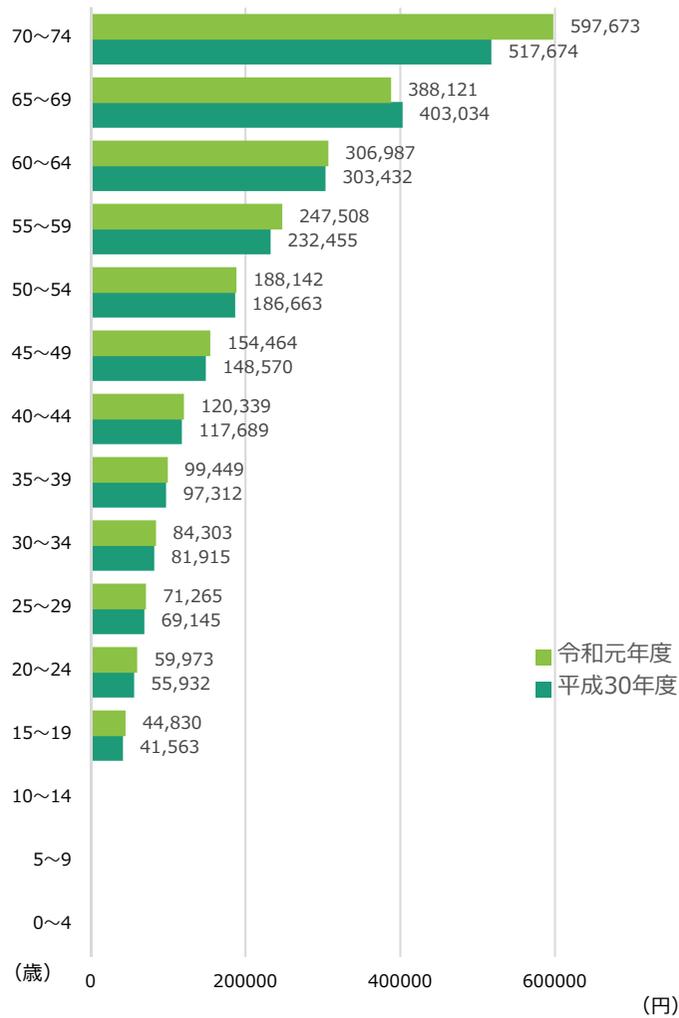
# 1-3-3 年齢階層別医療費 男性本人

入院外	歯科	本人	男性
入院	調剤		

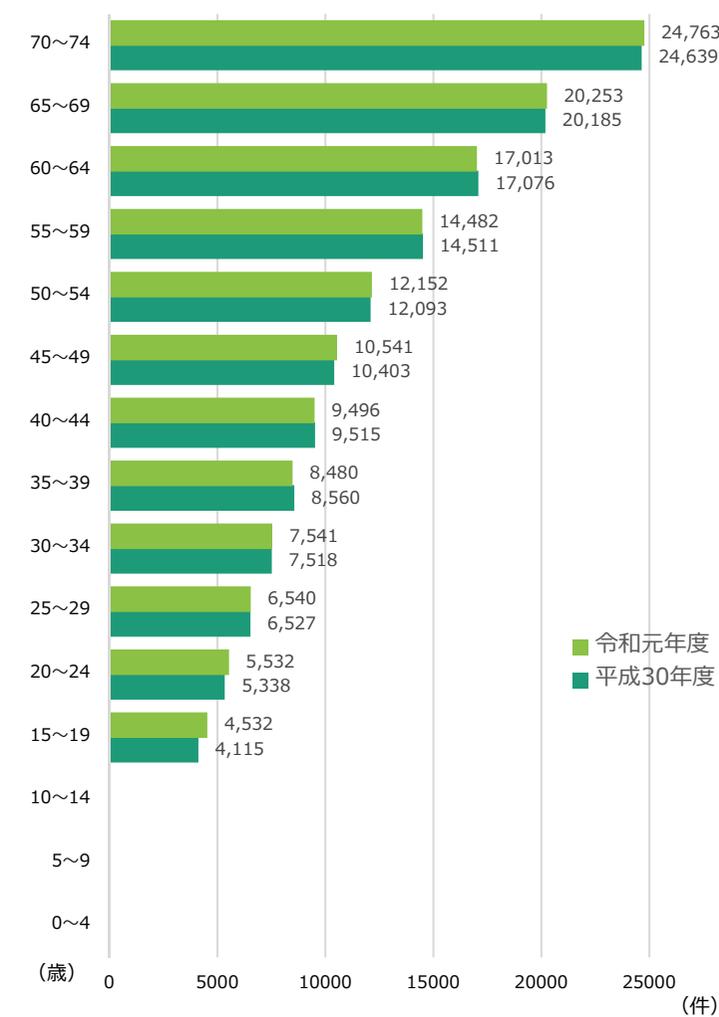
### 医療費総額 男性



### 一人当医療費 男性



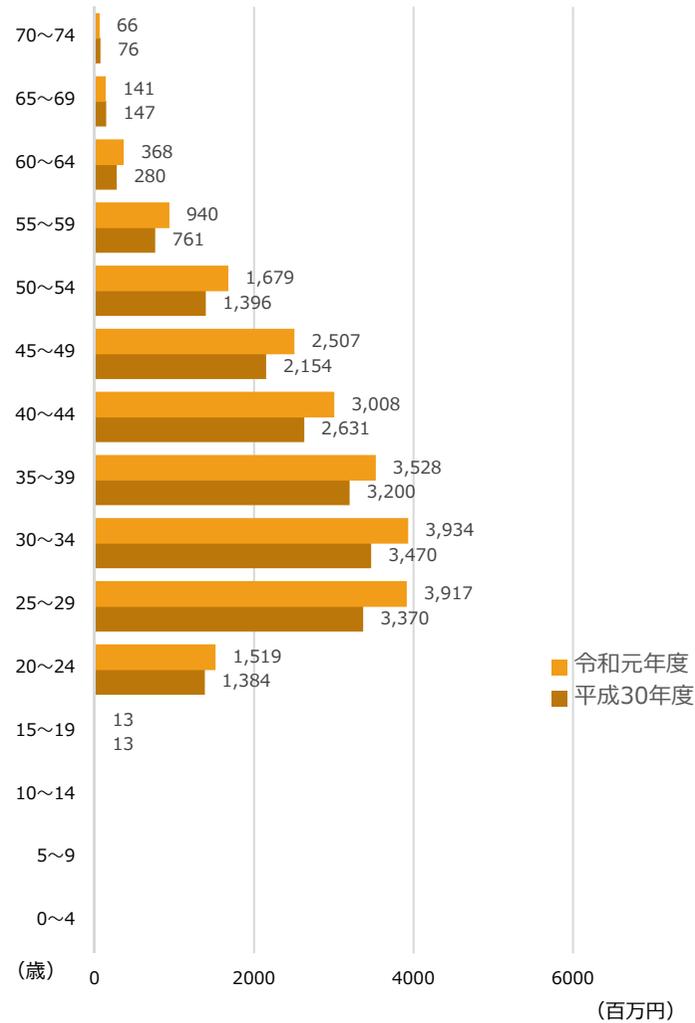
### 受診率 (1,000人当たり件数) 男性



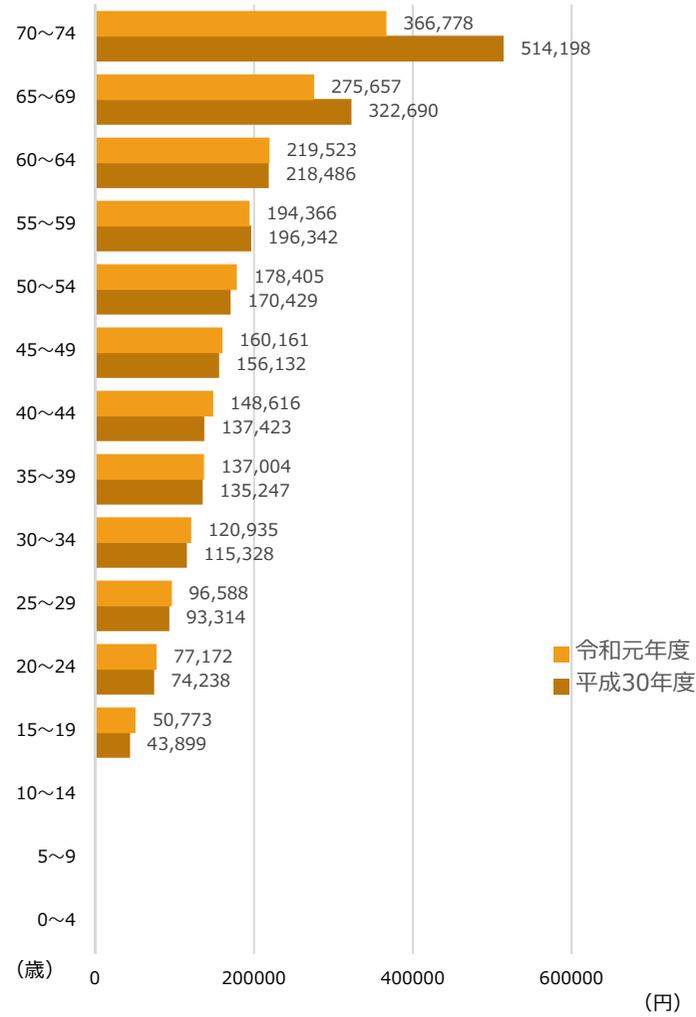
- すべての年齢階層で前年よりも医療費総額が伸びている。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇に伴い、一人当医療費、受診率が大きくなる。

# 1-3-4 年齢階層別医療費 女性本人

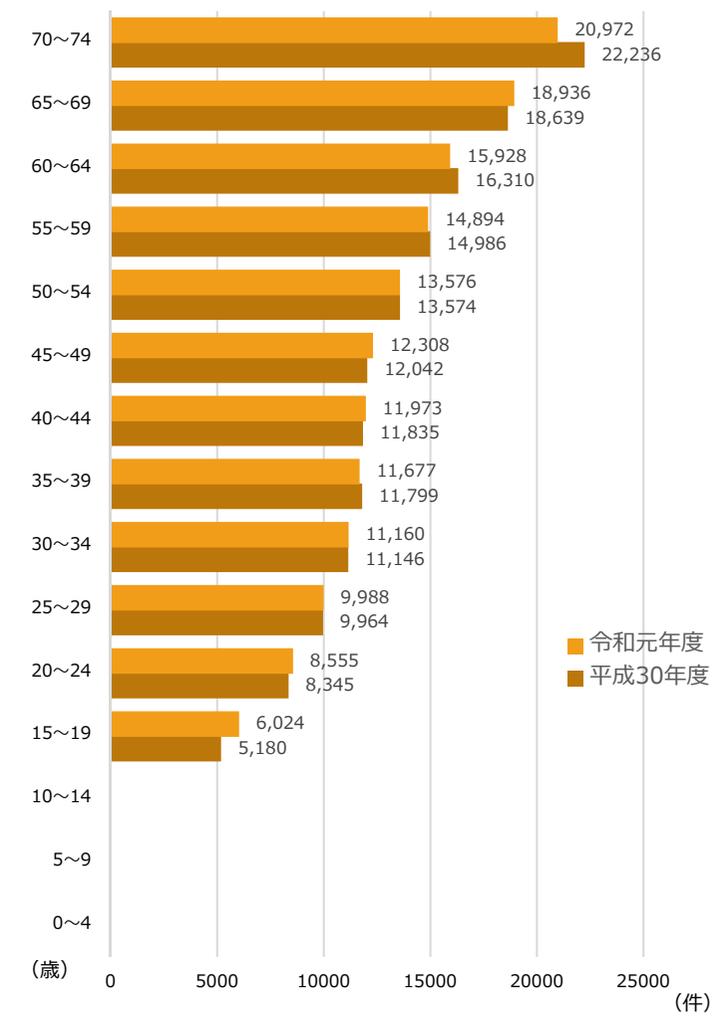
医療費総額 女性



一人当医療費 女性

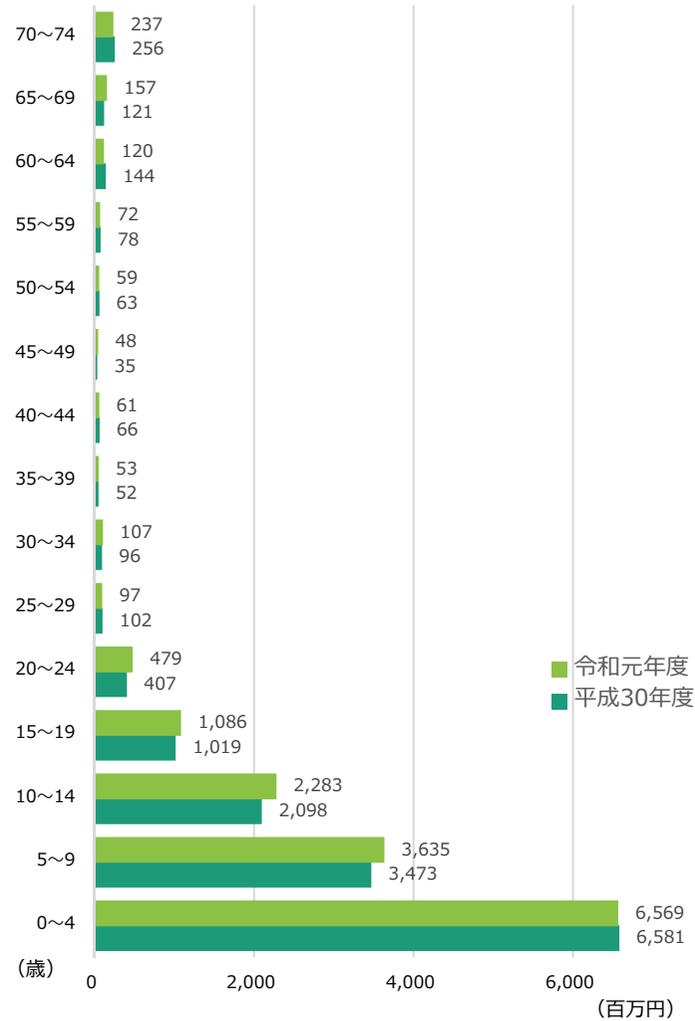


受診率 (1,000人当たり件数) 女性

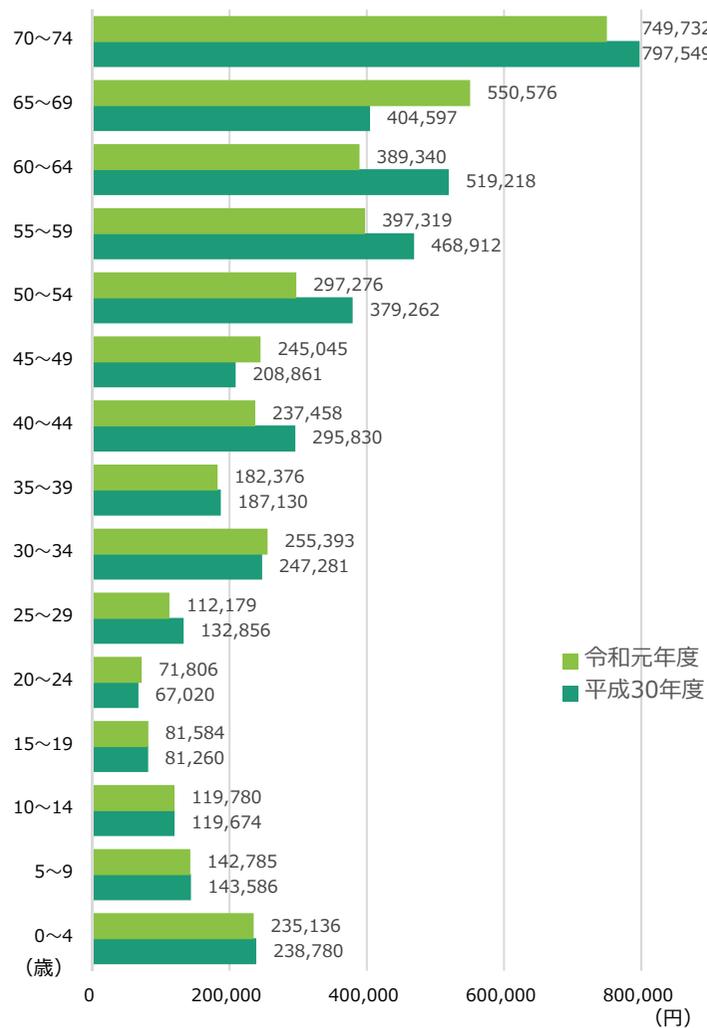


■ 男性よりも受診率が高い傾向だが、70~74歳層では前年度より減少した。

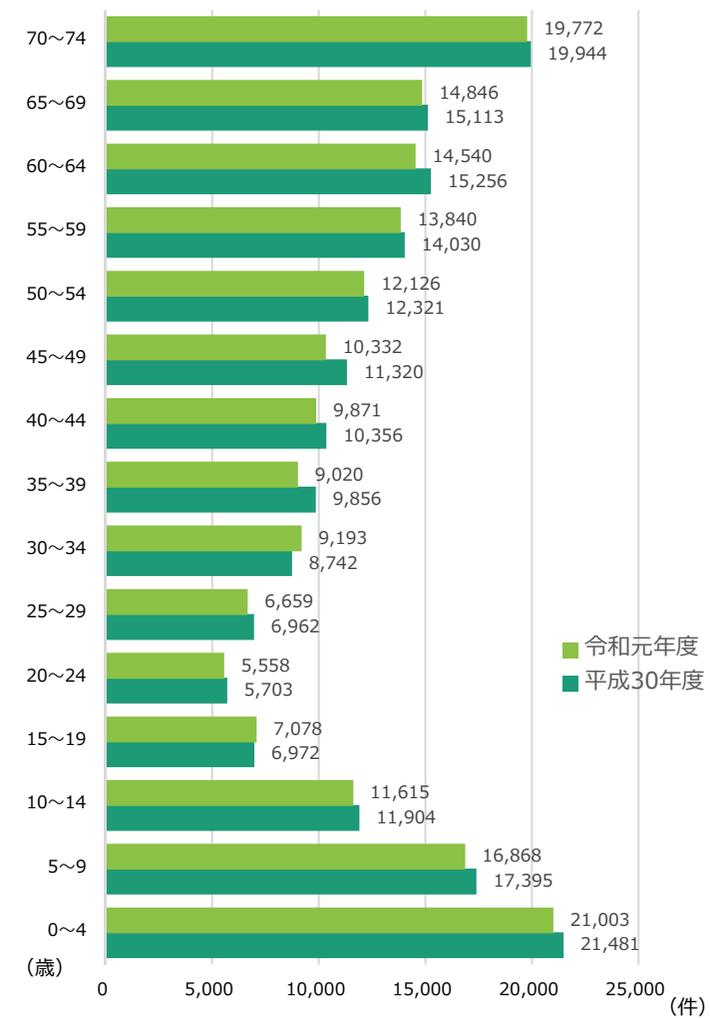
医療費総額 男性



一人当医療費 男性

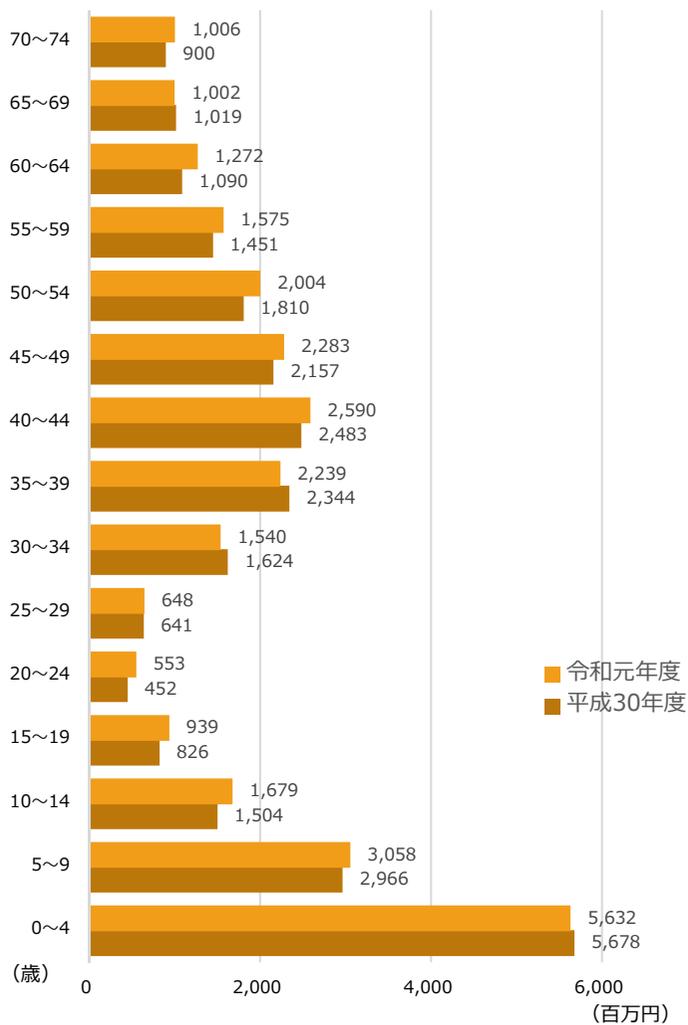


受診率 (1,000人当たり件数) 男性

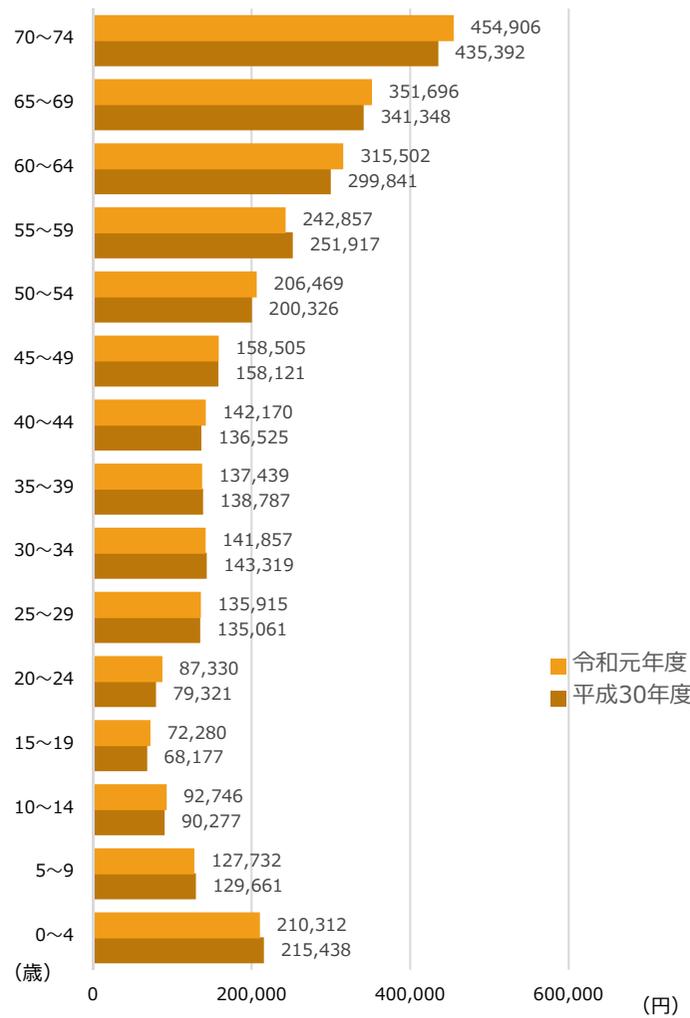


- 20歳以上の統計客体数が少ないことから、一人当医療費及び受診率にばらつきが見られる。
- 乳幼児及び未就学児童の受診率が極めて高く、0~9歳までで医療費総額の68%を占める。
- 全体的に他の階層と比べ一人当医療費が高めの傾向がある。

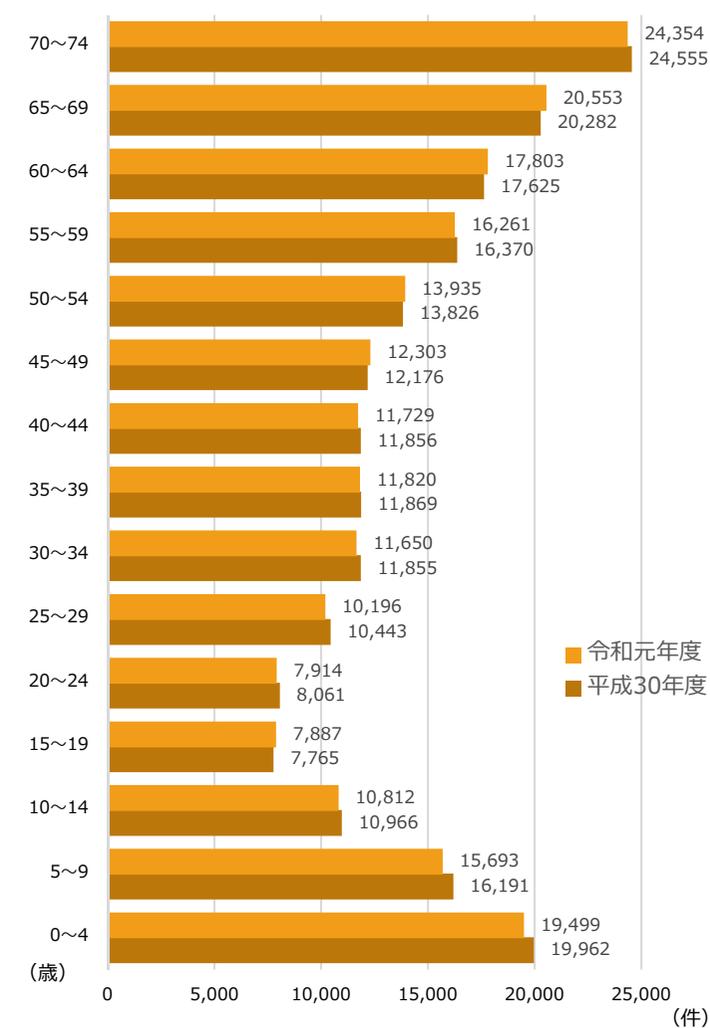
医療費総額 女性



一人当医療費 女性



受診率 (1,000人当たり件数) 女性



- 乳幼児及び未就学児童の受診率が高い傾向にあり、0~9歳までで医療費総額の31%を占める。
- 前年度と比べ医療費総額、一人当医療費の一部階層で減少が認められるが受診率はほとんどの階層で増加している。

平成30年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	106.3%	98,236,415,770	101.6%	131,423	101.1%	11,271	98.6%	1.38	101.8%	8,422
医科 計	107.2%	63,053,112,470	102.5%	84,354	100.7%	5,781	99.3%	1.44	103.0%	10,145
医科・入院	107.5%	20,550,656,320	102.8%	27,493	99.0%	63	100.3%	7.57	103.6%	57,606
医科・入院外	107.1%	42,502,456,150	102.4%	56,861	100.7%	5,718	98.6%	1.37	102.8%	7,255
歯科・計	106.4%	13,312,570,370	101.7%	17,810	101.7%	1,571	98.2%	1.62	102.2%	7,015
歯科・入院	125.4%	180,315,640	119.9%	241	119.3%	1	94.6%	3.89	106.1%	64,838
歯科・入院外	106.1%	13,132,254,730	101.5%	17,569	101.7%	1,570	97.6%	1.61	102.0%	6,930
調剤	103.7%	21,870,732,930	99.2%	29,259	101.4%	3,919	99.2%	1.21	98.6%	6,158

令和元年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	108.4%	106,517,908,040	102.1%	134,167	99.4%	11,203	99.3%	1.37	103.8%	8,741
医科 計	107.9%	68,012,938,690	101.6%	85,667	98.8%	5,710	99.3%	1.43	103.7%	10,525
医科・入院	106.8%	21,951,727,080	100.6%	27,650	98.3%	62	99.7%	7.55	102.5%	59,068
医科・入院外	108.4%	46,061,211,610	102.0%	58,018	98.8%	5,648	99.3%	1.36	104.2%	7,563
歯科・計	108.7%	14,472,931,160	102.4%	18,230	102.6%	1,613	97.5%	1.58	101.9%	7,150
歯科・入院	123.8%	223,166,070	116.6%	281	107.6%	1	99.7%	3.88	108.7%	70,488
歯科・入院外	108.5%	14,249,765,090	102.2%	17,949	102.6%	1,612	98.1%	1.58	101.7%	7,051
調剤	109.9%	24,032,038,190	103.5%	30,270	99.0%	3,881	99.2%	1.20	105.5%	6,496

- 医療費総額は前年度に比べ2.1%増加した。
- 全体的に伸び率は前年度に比べ、一部を除き増加傾向にある。

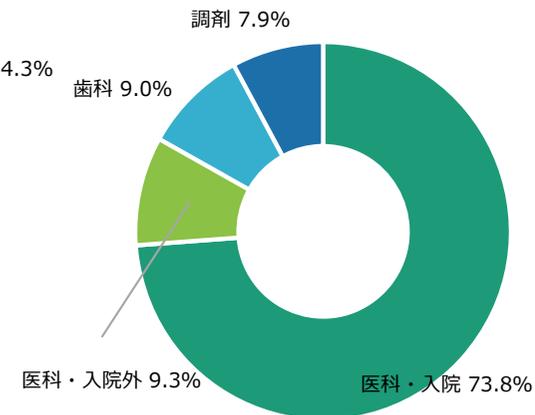
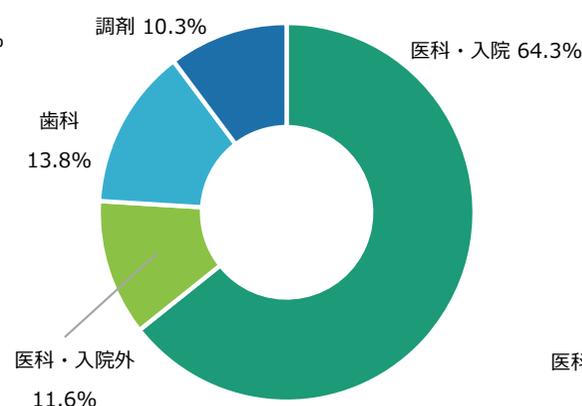
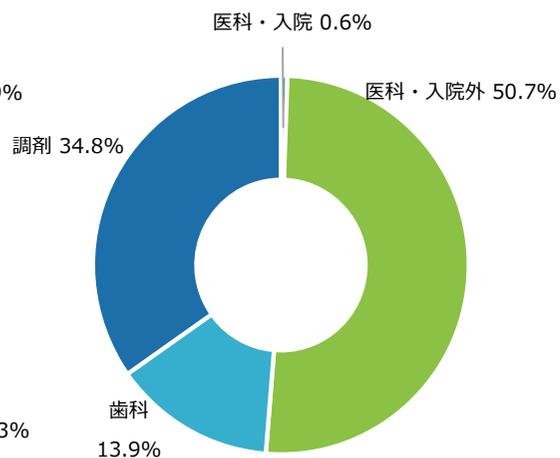
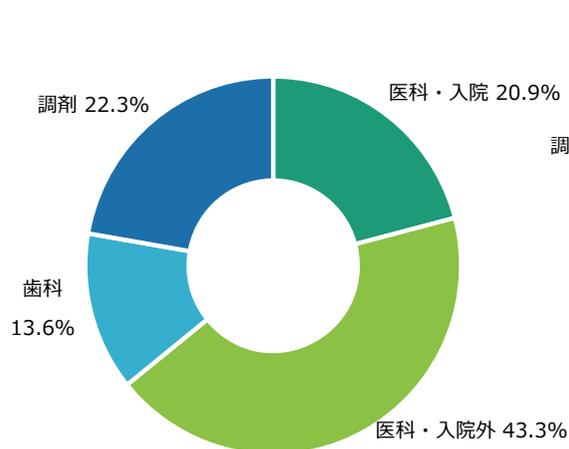
平成30年度

医療費総額の診療区分割合

受診率の診療区分割合

一件当たり日数の診療区分割合

一日当医療費の診療区分割合



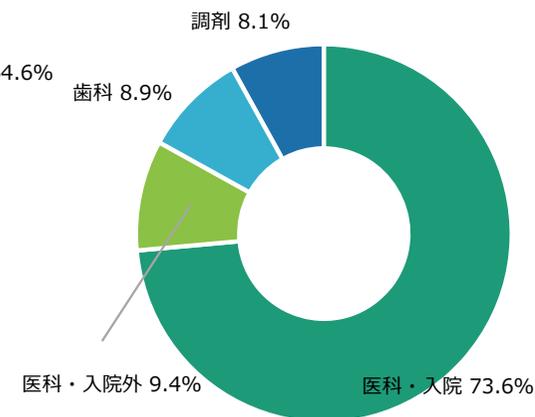
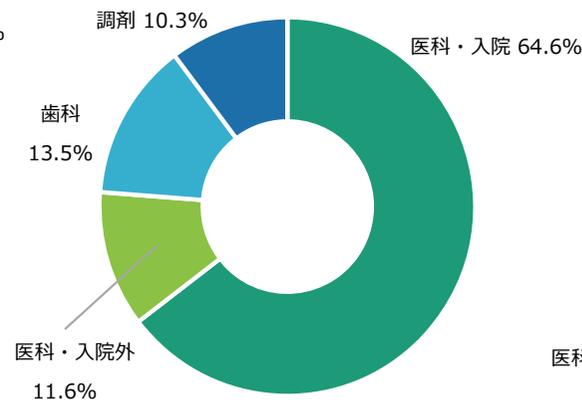
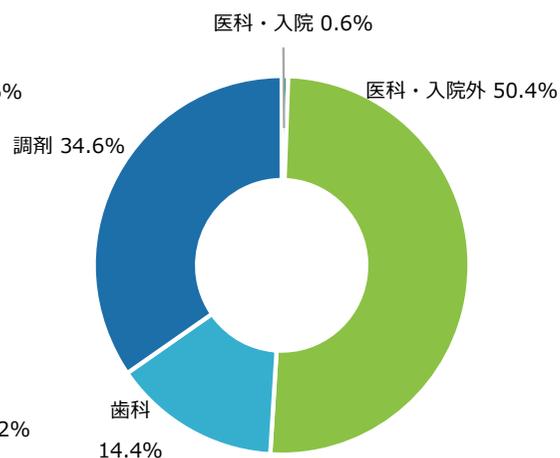
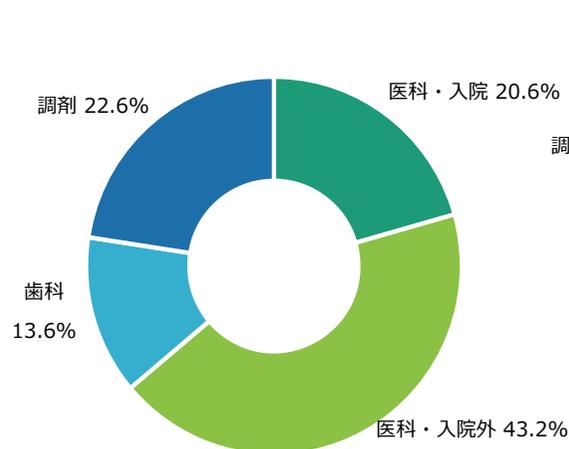
令和元年度

医療費総額の診療区分割合

受診率の診療区分割合

一件当たり日数の診療区分割合

一日当医療費の診療区分割合



■ 実績として各診療区分の割合は大きく変化していない。

# 1-3-9 疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人

疾病19分類	本人/男性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	191,366,780	2.65%	549	1.3559	8.82	45,858	473	4,173	398
02:新生物	1,439,721,190	19.96%	4,127	5.7706	9.12	78,391	2,013	18,366	1,324
03:血液・造血管・免疫障害	158,079,660	2.19%	453	0.3612	16.26	77,150	126	2,049	96
04:内分泌・栄養・代謝疾患	137,821,650	1.91%	395	1.1954	7.85	42,109	417	3,273	364
05:精神・行動障害	102,606,380	1.42%	294	0.7941	16.47	22,487	277	4,563	152
06:神経系疾患	277,023,020	3.84%	794	3.1046	5.07	50,423	1,083	5,494	891
07:眼・付属器疾患	168,003,320	2.33%	482	1.1381	5.17	81,793	397	2,054	323
08:耳・乳様突起疾患	41,972,660	0.58%	120	0.3182	5.51	68,583	111	612	100
09:循環器系疾患	1,927,802,600	26.73%	5,526	5.6502	10.21	95,830	1,971	20,117	1,290
10:呼吸器系疾患	505,916,360	7.01%	1,450	3.2766	6.65	66,515	1,143	7,606	934
11:消化器系疾患	916,859,840	12.71%	2,628	7.5680	5.95	58,410	2,640	15,697	2,209
12:皮膚・皮下組織疾患	60,900,150	0.84%	175	0.4873	7.94	45,111	170	1,350	144
13:筋骨格系・結合組織疾患	283,229,550	3.93%	812	1.4333	8.07	70,211	500	4,034	399
14:腎尿路生殖器系疾患	286,288,890	3.97%	821	1.9809	6.33	65,482	691	4,372	537
15:妊娠・分娩・産じょく	0	0.00%	0	0.0000	-	-	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00%	0	0.0000	-	-	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	32,197,160	0.45%	92	0.1175	6.61	118,809	41	271	41
18:他に分類されないもの	96,936,720	1.34%	278	0.5045	9.35	58,892	176	1,646	151
19:損傷・中毒・外因性	509,028,970	7.06%	1,459	2.7491	7.94	66,828	959	7,617	779

- 医療費総額は循環器系疾患(高血圧系疾患、心疾患、脳血管疾患等)、新生物の順で上位を占める。
- 医療費や日数では循環器疾患が上位だが、受診率や件数では消化器系疾患が上位となった。
- 1件当日数は精神系疾患によるものが長くなっている。

# 1-3-10 疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人

入院外 本人 男性

疾病19分類	本人/男性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	1,023,212,870	5.64%	2,933	218.4481	1.38	9,740	76,203	105,058	46,417
02:新生物	1,890,916,440	10.43%	5,421	114.6922	1.49	31,626	40,009	59,789	25,032
03:血液・造血器・免疫障害	693,095,090	3.82%	1,987	6.3755	1.36	229,730	2,224	3,017	1,467
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,982,626,340	10.93%	5,684	436.7385	1.16	11,190	152,351	177,182	37,479
05:精神・行動障害	1,080,297,520	5.96%	3,097	357.8968	1.49	5,815	124,848	185,786	25,491
06:神経系疾患	909,798,120	5.02%	2,608	220.7214	1.24	9,544	76,996	95,329	19,656
07:眼・付属器疾患	917,961,030	5.06%	2,631	354.3479	1.11	6,699	123,610	137,029	70,160
08:耳・乳様突起疾患	157,178,040	0.87%	451	56.7427	1.31	6,075	19,794	25,874	14,032
09:循環器系疾患	1,199,422,270	6.61%	3,438	313.3317	1.17	9,414	109,302	127,403	29,306
10:呼吸器系疾患	2,423,266,400	13.36%	6,947	1,010.9822	1.20	5,731	352,669	422,817	162,332
11:消化器系疾患	1,832,110,860	10.10%	5,252	277.6246	1.27	14,882	96,846	123,106	49,089
12:皮膚・皮下組織疾患	977,373,250	5.39%	2,802	420.3584	1.20	5,543	146,637	176,320	59,692
13:筋骨格系・結合組織疾患	997,730,000	5.50%	2,860	266.2439	1.80	5,967	92,876	167,215	41,637
14:腎尿路生殖器系疾患	1,140,637,080	6.29%	3,270	81.4389	2.06	19,468	28,409	58,589	13,979
15:妊娠・分娩・産じょく	3,750	0.00%	0	0.0029	1.00	3,750	1	1	1
16:周産期発生病態	43,150	0.00%	0	0.0258	1.44	3,319	9	13	9
17:先天奇形変形・染色体異常	34,732,960	0.19%	100	2.5456	1.11	35,370	888	982	547
18:他に分類されないもの	219,757,810	1.21%	630	56.2238	1.24	9,069	19,613	24,232	14,352
19:損傷・中毒・外因性	482,827,540	2.66%	1,384	108.9274	1.79	7,112	37,998	67,891	23,809

■ 通院では、呼吸器系（かぜ等）疾患の単価は低いものの、件数が大きなことからこの医療費を押し上げている。

# 1-3-11 生活習慣病 医科入院三要素 男性本人

生活習慣病		本人/男性 [入院]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		93,171,740	267	4.7501	10.06	5,587
再掲	インスリン治療	32,489,990	93	0.4472	10.71	19,455
	腎障害	924,770	3	0.1577	14.91	1,128
	網膜症	4,604,410	13	0.0946	8.18	17,053
	神経障害	625,640	2	0.0516	9.17	3,792
脳血管障害		253,645,690	727	1.3502	18.37	29,316
虚血性心疾患		272,137,410	780	1.7171	8.44	53,835
動脈閉塞		112,110	0	0.0057	13.50	4,152
高血圧症		55,752,960	160	5.2231	10.31	2,968
高尿酸血症		4,670,670	13	1.4190	11.32	833
高脂血症		12,767,320	37	3.1361	8.52	1,369
肝機能障害		3,423,070	10	0.3927	9.15	2,730
高血圧性腎臓障害		135,250	0	0.0143	15.60	1,734
人工透析		72,867,680	209	0.4415	13.08	36,181

生活習慣病		本人/男性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		2.36%	△3.61%	3.98%	△6.16%	△1.13%
再掲	インスリン治療	17.82%	10.71%	1.41%	△1.11%	10.84%
	腎障害	67.33%	50.00%	12.72%	1.29%	38.24%
	網膜症	△16.38%	△23.53%	△20.24%	△27.03%	35.34%
	神経障害	28.17%	100.00%	△22.87%	△53.31%	235.58%
脳血管障害		△8.5%	△13.76%	△15.76%	4.73%	△2.24%
虚血性心疾患		8.47%	2.23%	△2.15%	△7.46%	12.87%
動脈閉塞		△89.28%	△100%	△68.68%	△26.35%	△56.32%
高血圧症		5.42%	△0.62%	△6.41%	1.28%	4.88%
高尿酸血症		△27.78%	△35%	3.22%	△1.48%	△33.09%
高脂血症		△6.05%	△9.76%	1.29%	△7.59%	△5.46%
肝機能障害		23.19%	25.00%	△5.76%	△4.19%	28.59%
高血圧性腎臓障害		△18.94%	△100%	△5.92%	59.18%	△49.07%
人工透析		28.93%	21.51%	30.78%	△9.79%	3.00%

■ 入院の医療費総額は脳血管障害に替わり、虚血性心疾患が上位となった。

# 1-3-12 生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人

生活習慣病		本人/男性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		1,763,704,900	5,056	449.5267	1.27	8,872
再掲	インスリン治療	451,209,330	1,293	32.0722	1.19	33,806
	腎障害	6,634,590	19	36.2375	1.15	455
	網膜症	35,659,010	102	21.7236	1.23	3,817
	神経障害	4,434,540	13	4.2971	1.22	2,421
脳血管障害		93,281,400	267	27.7321	1.54	6,247
虚血性心疾患		132,817,350	381	80.6277	1.52	3,098
動脈閉塞		133,990	0	0.3010	1.33	957
高血圧症		1,056,200,580	3,028	503.8815	1.18	5,108
高尿酸血症		282,431,070	810	235.9061	1.30	2,646
高脂血症		808,768,780	2,318	535.9651	1.26	3,430
肝機能障害		37,648,770	108	109.7472	1.24	791
高血圧性腎臓障害		535,880	2	1.8031	1.26	674
人工透析		765,277,600	2,194	5.7534	12.34	30,910

生活習慣病		本人/男性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		14.35%	7.78%	5.52%	△0.78%	2.98%
再掲	インスリン治療	11.62%	5.21%	2.31%	0.85%	1.95%
	腎障害	8.79%	0.00%	6.29%	0.00%	△3.81%
	網膜症	9.17%	3.03%	2.00%	△2.38%	3.36%
	神経障害	1.07%	0.00%	△6.74%	△3.17%	5.40%
脳血管障害		4.97%	△1.11%	△0.08%	2.67%	△3.52%
虚血性心疾患		4.46%	△1.55%	1.51%	0.66%	△3.82%
動脈閉塞		△3.53%	-	△11.63%	△31.09%	48.83%
高血圧症		7.10%	0.97%	4.64%	△0.84%	△2.76%
高尿酸血症		19.30%	12.50%	7.97%	△1.52%	5.84%
高脂血症		15.46%	8.83%	6.39%	△0.79%	3.10%
肝機能障害		8.60%	2.86%	6.63%	△1.59%	△2.47%
高血圧性腎臓障害		10.10%	100.00%	40.49%	△0.79%	△26.02%
人工透析		5.93%	△0.14%	△0.75%	0.16%	0.47%

- 医療費総額では糖尿病と高血圧が上位を占めている。また、日数で上位の人工透析についても、CKD（慢性腎臓病）の原因に糖尿病性であるものが多いことから、糖尿病の重症化予防の必要性がわかる。
- 外来においても入院と同様に人工透析が増加傾向。

# 1-3-13 疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	71,143,290	1.70%	415	1.5296	6.68	40,677	262	1,749	237
02:新生物	1,329,719,730	31.77%	7,763	11.1685	7.41	93,814	1,913	14,174	1,543
03:血液・造血器・免疫障害	71,674,720	1.71%	418	2.6038	5.25	30,630	446	2,340	421
04:内分泌・栄養・代謝疾患	52,560,090	1.26%	307	1.2727	6.20	38,876	218	1,352	192
05:精神・行動障害	44,226,420	1.06%	258	0.7706	14.30	23,425	132	1,888	91
06:神経系疾患	85,264,780	2.04%	498	1.5121	5.81	56,617	259	1,506	219
07:眼・付属器疾患	25,185,140	0.60%	147	0.4787	4.33	70,944	82	355	70
08:耳・乳様突起疾患	30,622,280	0.73%	179	0.4612	5.76	67,302	79	455	67
09:循環器系疾患	276,399,230	6.60%	1,614	2.1835	9.15	80,795	374	3,421	265
10:呼吸器系疾患	163,321,240	3.90%	954	2.6272	6.22	58,371	450	2,798	404
11:消化器系疾患	273,784,960	6.54%	1,598	7.2044	5.17	42,926	1,234	6,378	1,117
12:皮膚・皮下組織疾患	41,257,430	0.99%	241	0.7765	7.68	40,369	133	1,022	114
13:筋骨格系・結合組織疾患	151,529,000	3.62%	885	2.2360	8.54	46,339	383	3,270	298
14:腎尿路生殖器系疾患	216,621,050	5.18%	1,265	5.0209	4.47	56,324	860	3,846	785
15:妊娠・分娩・産じょく	1,000,176,960	23.90%	5,839	21.9167	6.63	40,182	3,754	24,891	3,240
16:周産期発生病態	6,536,980	0.16%	38	0.0876	8.60	50,674	15	129	15
17:先天奇形変形・染色体異常	31,546,340	0.75%	184	0.2744	6.34	105,860	47	298	39
18:他に分類されないもの	43,670,150	1.04%	255	1.2377	5.20	39,628	212	1,102	206
19:損傷・中毒・外因性	207,627,280	4.96%	1,212	2.8257	6.95	61,720	484	3,364	426

- 医療費総額は男性と異なり、新生物、妊娠・分娩・産じょくが上位となっている。この傾向は前年と同様。
- 一件当日数は男性と同様に精神・行動障害が上位となっているが、前年と比べ2.64日減っている。

# 1-3-14 疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	356,489,030	3.78%	2,081	254.5056	1.35	6,058	43,593	58,847	28,888
02:新生物	1,554,296,970	16.49%	9,074	347.0240	1.42	18,402	59,440	84,463	33,997
03:血液・造血器・免疫障害	145,717,330	1.55%	851	50.3663	1.41	11,986	8,627	12,157	5,677
04:内分泌・栄養・代謝疾患	787,214,030	8.35%	4,596	334.4426	1.38	9,923	57,285	79,334	23,196
05:精神・行動障害	582,147,190	6.18%	3,399	384.0441	1.51	5,866	65,781	99,237	15,258
06:神経系疾患	260,982,410	2.77%	1,524	167.4227	1.31	6,968	28,677	37,454	10,148
07:眼・付属器疾患	546,278,720	5.80%	3,189	570.1784	1.09	5,140	97,663	106,270	57,830
08:耳・乳様突起疾患	114,232,110	1.21%	667	77.7651	1.35	6,340	13,320	18,018	9,433
09:循環器系疾患	326,985,860	3.47%	1,909	146.9948	1.22	10,650	25,178	30,704	9,778
10:呼吸器系疾患	1,380,953,480	14.65%	8,062	1,216.7907	1.23	5,403	208,418	255,569	93,231
11:消化器系疾患	661,781,940	7.02%	3,864	322.5852	1.27	9,453	55,254	70,010	30,838
12:皮膚・皮下組織疾患	585,458,870	6.21%	3,418	666.0770	1.18	4,350	114,089	134,579	51,210
13:筋骨格系・結合組織疾患	631,493,010	6.70%	3,687	265.5341	1.78	7,790	45,482	81,069	21,557
14:腎尿路生殖器系疾患	872,016,300	9.25%	5,091	455.0953	1.34	8,344	77,951	104,513	34,384
15:妊娠・分娩・産じょく	84,196,820	0.89%	492	50.3021	1.64	5,960	8,616	14,126	5,133
16:周産期発生病態	1,204,670	0.01%	7	0.8816	1.65	4,838	151	249	132
17:先天奇形変形・染色体異常	19,062,470	0.20%	111	4.8165	1.32	17,472	825	1,091	573
18:他に分類されないもの	159,183,840	1.69%	929	103.8036	1.23	7,250	17,780	21,955	12,411
19:損傷・中毒・外因性	222,639,040	2.36%	1,300	115.0830	1.80	6,290	19,712	35,394	13,559

- 医療費総額は前年の呼吸器系疾患から新生物が上位となった。乳がんや子宮頸がんなどは通院による薬物療法の期間が長くなる。特に乳がんでは閉経前と閉経後で対処はちがうものの、基本5年以上、10年間まで内服が必要となる。その影響から1日当でも上位になる。
- 件数、受診率ベースでは呼吸器系疾患が上位となっている。

生活習慣病	本人/女性 [入院]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	9,731,380	57	1.7923	11.02	2,877	
再掲	インスリン治療	2,685,800	16	0.0934	9.63	17,440
	腎障害	149,450	1	0.0409	8.00	2,669
	網膜症	175,210	1	0.0292	8.20	4,273
	神経障害	35,740	0	0.0117	4.50	3,971
脳血管障害	37,269,300	218	0.5138	15.31	27,668	
虚血性心疾患	6,427,080	38	0.4846	9.83	7,876	
動脈閉塞	0	0	0.0000	-	-	
高血圧症	13,402,980	78	2.3878	10.05	3,262	
高尿酸血症	391,140	2	0.2861	16.10	496	
高脂血症	1,670,040	10	0.9983	9.30	1,050	
肝機能障害	337,290	2	0.1460	9.56	1,411	
高血圧性腎臓障害	5,160	0	0.0058	4.00	1,290	
人工透析	4,028,230	24	0.0642	10.45	35,028	

生活習慣病	【対前年度伸率 %】	本人/女性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
糖尿病		△25.09%	△31.33%	6.51%	19.65%	△46.58%
再掲	インスリン治療	△5.81%	△11.11%	3.89%	△7.05%	△11.31%
	腎障害	567.19%	-	111.92%	△14.26%	233.63%
	網膜症	△65.07%	△66.67%	△24.16%	2.50%	△59.11%
	神経障害	-	-	-	-	-
脳血管障害		△27.81%	△34.34%	△19.2%	△6.99%	△12.64%
虚血性心疾患		△44.09%	△48.65%	12.62%	15.38%	△60.88%
動脈閉塞		-	-	-	-	-
高血圧症		33.23%	20.00%	13.00%	3.72%	3.39%
高尿酸血症		116.55%	100.00%	93.70%	36.09%	△25.3%
高脂血症		△19.56%	△23.08%	12.62%	△6.34%	△30.69%
肝機能障害		△59.17%	△60%	13.62%	23.35%	△73.52%
高血圧性腎臓障害		△52.79%	-	△9.38%	100.00%	△76.4%
人工透析		45.22%	33.33%	66.75%	△15.25%	△6.55%

■ 脳血管障害が上位を占め、入院での受診率は高血圧症が上位となっている。

# 1-3-16 生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人

生活習慣病		本人/女性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		275,295,310	1,607	201.6639	1.45	5,490
再掲	インスリン治療	74,286,280	434	13.4162	1.31	24,590
	腎障害	1,143,030	7	10.3220	1.21	536
	網膜症	5,830,910	34	6.8658	1.26	3,942
	神経障害	453,310	3	1.1910	1.31	1,698
脳血管障害		32,674,450	191	15.4713	1.38	8,913
虚血性心疾患		27,816,170	162	30.1019	1.54	3,512
動脈閉塞		108,540	1	0.0934	2.25	3,015
高血圧症		174,075,980	1,016	183.2852	1.25	4,446
高尿酸血症		5,930,030	35	18.2736	1.59	1,189
高脂血症		152,408,730	890	230.0902	1.33	2,910
肝機能障害		6,567,950	38	32.3729	1.33	894
高血圧性腎臓障害		137,840	1	0.7998	1.22	825
人工透析		61,646,760	360	0.9983	10.98	32,843

生活習慣病		本人/女性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		16.30%	5.72%	6.15%	△0.68%	0.48%
再掲	インスリン治療	16.69%	6.11%	5.23%	3.15%	△2.62%
	腎障害	25.00%	16.67%	6.92%	△1.63%	8.72%
	網膜症	△18.61%	△26.09%	△2.73%	△0.79%	△23.46%
	神経障害	△11.7%	0.00%	40.48%	△1.5%	△41.79%
脳血管障害		11.90%	1.60%	4.41%	△1.43%	△1.34%
虚血性心疾患		10.62%	0.00%	0.42%	2.67%	△2.28%
動脈閉塞		7136.00%	-	21.14%	108.33%	2521.74%
高血圧症		17.08%	6.39%	6.67%	0.00%	0.09%
高尿酸血症		32.62%	20.69%	12.36%	4.61%	2.24%
高脂血症		18.68%	7.88%	7.21%	△0.75%	1.25%
肝機能障害		12.82%	2.70%	7.54%	△1.48%	△2.83%
高血圧性腎臓障害		152.04%	-	35.35%	△8.27%	84.15%
人工透析		39.58%	26.76%	30.62%	0.27%	△3.1%

- 医療費総額では、糖尿病が上位を占めているが、一件当日数・一日当医療費は、人工透析が上位となっている。
- 糖尿病は前年と同様に増加傾向。

疾病19分類	家族/男性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	114,670,290	3.04%	1,197	3.9151	5.64	54,192	375	2,116	337
02:新生物	237,673,740	6.31%	2,481	2.8711	11.32	76,324	275	3,114	159
03:血液・造血器・免疫障害	99,929,650	2.65%	1,043	1.0545	14.52	68,118	101	1,467	79
04:内分泌・栄養・代謝疾患	132,538,050	3.52%	1,384	3.9360	8.53	41,225	377	3,215	298
05:精神・行動障害	110,631,440	2.94%	1,155	2.6727	23.80	18,160	256	6,092	67
06:神経系疾患	230,673,010	6.12%	2,408	4.0404	12.72	46,875	387	4,921	240
07:眼・付属器疾患	27,629,570	0.73%	288	0.7517	5.35	71,765	72	385	66
08:耳・乳様突起疾患	77,922,360	2.07%	814	1.3572	5.95	100,675	130	774	119
09:循環器系疾患	238,422,790	6.33%	2,489	2.7458	12.73	71,213	263	3,348	168
10:呼吸器系疾患	578,720,910	15.36%	6,042	17.1744	6.00	58,658	1,645	9,866	1,253
11:消化器系疾患	191,796,030	5.09%	2,002	4.2910	5.69	81,999	411	2,339	343
12:皮膚・皮下組織疾患	42,875,070	1.14%	448	1.6705	5.46	49,056	160	874	145
13:筋骨格系・結合組織疾患	187,897,170	4.99%	1,962	3.2887	7.80	76,474	315	2,457	229
14:腎尿路生殖器系疾患	132,790,290	3.53%	1,386	2.7458	8.06	62,637	263	2,120	191
15:妊娠・分娩・産じょく	1,763,630	0.05%	18	0.1148	4.55	35,273	11	50	10
16:周産期発生病態	582,092,010	15.45%	6,077	11.8811	7.98	64,079	1,138	9,084	968
17:先天奇形変形・染色体異常	406,736,470	10.80%	4,246	5.3037	7.38	108,521	508	3,748	423
18:他に分類されないもの	52,623,830	1.40%	549	2.2029	5.48	45,522	211	1,156	198
19:損傷・中毒・外因性	228,735,150	6.07%	2,388	8.1331	4.11	71,457	779	3,201	586

- 男性家族は、主に周産期発生病態、先天奇形変形・染色体異常の疾病が医療費総額を押し上げている。
- 受診率、件数、日数、受診者数では、本人と同様に呼吸器系疾患が上位となっている。
- 入院日数は精神系疾患によるものが、本人と比べてかなり長くなっている。

疾病19分類	家族/男性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	387,480,750	5.88%	4,045	513.7604	1.54	5,128	49,209	75,569	28,460
02:新生物	118,926,810	1.80%	1,242	32.5009	1.42	26,858	3,113	4,428	2,076
03:血液・造血器・免疫障害	142,289,260	2.16%	1,486	13.7395	1.59	67,789	1,316	2,099	717
04:内分泌・栄養・代謝疾患	460,778,300	6.99%	4,811	77.0813	1.30	48,098	7,383	9,580	3,110
05:精神・行動障害	273,725,580	4.15%	2,858	291.3387	1.37	7,156	27,905	38,249	6,275
06:神経系疾患	117,253,190	1.78%	1,224	74.5025	1.47	11,167	7,136	10,500	2,109
07:眼・付属器疾患	354,720,690	5.38%	3,703	596.0306	1.18	5,284	57,089	67,126	33,323
08:耳・乳様突起疾患	288,571,970	4.38%	3,013	347.5496	1.59	5,465	33,289	52,806	18,851
09:循環器系疾患	96,360,280	1.46%	1,006	50.4270	1.26	15,893	4,830	6,063	2,175
10:呼吸器系疾患	2,284,884,210	34.67%	23,855	3,044.7579	1.53	5,121	291,633	446,199	73,140
11:消化器系疾患	141,452,590	2.15%	1,477	135.3281	1.34	8,153	12,962	17,349	7,713
12:皮膚・皮下組織疾患	734,937,270	11.15%	7,673	1,339.5419	1.32	4,337	128,304	169,472	45,779
13:筋骨格系・結合組織疾患	182,036,020	2.76%	1,901	133.4593	1.66	8,600	12,783	21,166	7,780
14:腎尿路生殖器系疾患	111,654,640	1.69%	1,166	54.7284	1.58	13,480	5,242	8,283	3,462
15:妊娠・分娩・産じょく	200,360	0.00%	2	0.3028	1.48	4,660	29	43	26
16:周産期発生病態	26,174,150	0.40%	273	8.4463	1.29	25,167	809	1,040	547
17:先天奇形変形・染色体異常	79,428,150	1.21%	829	40.7279	1.22	16,676	3,901	4,763	2,291
18:他に分類されないもの	82,039,800	1.24%	857	101.2821	1.21	6,969	9,701	11,772	7,634
19:損傷・中毒・外因性	412,167,040	6.25%	4,303	367.3864	1.76	6,668	35,189	61,812	21,611

- 乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、呼吸器疾患が上位を占めている。
- 医療費総額の約40%を呼吸器系疾患が占める。

生活習慣病		家族/男性 [入院]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		3,051,000	32	1.0962	13.15	2,209
再掲	インスリン治療	515,500	5	0.0313	11.33	15,162
	腎障害	2,870	0	0.0104	5.00	574
	網膜症	30,340	0	0.0313	4.67	2,167
	神経障害	0	0	0.0000	-	-
脳血管障害		23,455,550	245	0.8039	17.40	17,504
虚血性心疾患		12,408,020	130	0.4594	17.89	15,766
動脈閉塞		0	0	0.0000	-	-
高血圧症		7,154,930	75	1.8897	14.87	2,658
高尿酸血症		198,990	2	0.3237	17.13	375
高脂血症		850,150	9	0.8457	18.27	574
肝機能障害		152,430	2	0.1253	14.08	902
高血圧性腎臓障害		111,090	1	0.0418	4.25	6,535
人工透析		19,731,990	206	0.2819	20.78	35,173

生活習慣病		家族/男性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		△37.06%	△39.62%	△1.27%	9.95%	△44.95%
再掲	インスリン治療	△66.56%	△70.59%	△43.09%	△15.45%	△34.1%
	腎障害	-	-	-	-	-
	網膜症	143.69%	-	△5.15%	55.67%	56.69%
	神経障害	△100%	△1	△100%	-	-
脳血管障害		△12.15%	△16.67%	△8.6%	0.58%	△9.27%
虚血性心疾患		△28.95%	△32.29%	12.93%	103.76%	△70.66%
動脈閉塞		-	-	-	-	-
高血圧症		13.01%	7.14%	2.32%	12.91%	△7.1%
高尿酸血症		45.91%	100.00%	40.19%	1.06%	△2.09%
高脂血症		△39.84%	△43.75%	24.08%	54.70%	△70.26%
肝機能障害		57.70%	1.00	279.70%	427.34%	△92.53%
高血圧性腎臓障害		-	-	-	-	-
人工透析		383.03%	357.78%	185.04%	37.52%	17.10%

■ 男性本人と異なり、20歳以上者は少なく、生活習慣病での治療者も少ないが脳血管障害が上位を占めている。  
 ■ 医療費単価は、人工透析が最も高くなっている。

生活習慣病		家族/男性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		45,260,760	473	52.9953	1.46	6,120
再掲	インスリン治療	16,620,910	174	6.8280	1.25	20,369
	腎障害	236,040	2	3.1530	1.27	613
	網膜症	1,828,070	19	3.5497	1.42	3,785
	神経障害	240,740	3	0.6891	1.29	2,832
脳血管障害		6,103,430	64	7.2039	1.41	6,273
虚血性心疾患		6,359,180	66	12.6537	2.01	2,612
動脈閉塞		710	0	0.0940	1.44	55
高血圧症		21,471,870	224	48.3598	1.34	3,463
高尿酸血症		3,758,180	39	17.4459	1.63	1,379
高脂血症		13,986,290	146	43.8809	1.49	2,235
肝機能障害		797,420	8	6.8906	1.42	854
高血圧性腎臓障害		39,770	0	0.1357	1.46	2,093
人工透析		54,291,950	567	1.4825	12.75	29,996

生活習慣病		家族/男性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		0.51%	△4.44%	△2.38%	0.69%	△2.5%
再掲	インスリン治療	6.61%	1.75%	△3.56%	△0.79%	6.22%
	腎障害	28.64%	0.00%	5.83%	3.25%	10.85%
	網膜症	△25.24%	△29.63%	9.45%	△5.96%	△30.97%
	神経障害	11.03%	50.00%	△37.94%	△16.77%	105.07%
脳血管障害		△8.55%	△12.33%	△6.12%	△8.44%	1.23%
虚血性心疾患		5.70%	0.00%	△6.95%	16.18%	△7.21%
動脈閉塞		△87.46%	-	754.55%	△28%	△98.06%
高血圧症		△3.04%	△7.82%	△6.56%	2.29%	△3.56%
高尿酸血症		△3.62%	△9.3%	△4.86%	△9.94%	6.73%
高脂血症		△2.72%	△7.59%	△4.1%	△1.97%	△1.8%
肝機能障害		△6.86%	△11.11%	4.12%	△4.05%	△10.95%
高血圧性腎臓障害		1960.62%	-	76.23%	△27%	1416.67%
人工透析		△9.5%	△13.96%	△17.77%	1.76%	2.76%

■ 受診率では糖尿病が上位だが、他の項目では人工透析が上位となった。

疾病19分類	家族/女性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	172,286,680	2.55%	968	2.7470	6.33	55,648	489	3,096	439
02:新生物	1,031,071,260	15.25%	5,792	8.7129	7.81	85,149	1,551	12,109	1,112
03:血液・造血器・免疫障害	133,320,040	1.97%	749	2.3088	6.91	46,977	411	2,838	378
04:内分泌・栄養・代謝疾患	154,692,280	2.29%	869	2.7358	6.33	50,192	487	3,082	435
05:精神・行動障害	303,579,280	4.49%	1,705	3.8031	22.06	20,324	677	14,937	251
06:神経系疾患	376,530,240	5.57%	2,115	3.3200	13.24	48,107	591	7,827	357
07:眼・付属器疾患	87,475,660	1.29%	491	1.2190	5.12	78,736	217	1,111	185
08:耳・乳様突起疾患	90,247,850	1.33%	507	0.9269	6.38	85,705	165	1,053	147
09:循環器系疾患	573,033,970	8.47%	3,219	4.0391	12.94	61,603	719	9,302	436
10:呼吸器系疾患	552,994,420	8.18%	3,107	8.4208	7.02	52,576	1,499	10,518	1,185
11:消化器系疾患	374,819,690	5.54%	2,106	6.9602	5.67	53,355	1,239	7,025	1,101
12:皮膚・皮下組織疾患	59,926,230	0.89%	337	1.0786	8.71	35,841	192	1,672	154
13:筋骨格系・結合組織疾患	387,816,080	5.74%	2,179	3.3200	9.29	70,653	591	5,489	465
14:腎尿路生殖器系疾患	258,119,330	3.82%	1,450	4.1570	6.27	55,665	740	4,637	613
15:妊娠・分娩・産じょく	804,833,780	11.90%	4,521	16.2349	6.71	41,523	2,890	19,383	2,493
16:周産期発生病態	522,670,320	7.73%	2,936	5.7974	7.73	65,522	1,032	7,977	861
17:先天奇形変形・染色体異常	292,932,050	4.33%	1,646	1.8650	8.33	105,943	332	2,765	274
18:他に分類されないもの	111,221,520	1.64%	625	1.9100	6.01	54,387	340	2,045	310
19:損傷・中毒・外因性	306,028,200	4.53%	1,719	4.3199	6.84	58,158	769	5,262	622

- 医療費総額で新生物が上位となったが妊娠・分娩・産じょくに関わる疾病が受診率、件数、日数、受診者数で上位となった。
- 入院日数は精神系疾患によるものが、男性家族と同様に長くなっている。

疾病19分類	家族/女性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	536,927,320	4.51%	3,016	383.2888	1.51	5,221	68,230	102,841	39,673
02:新生物	1,319,863,440	11.08%	7,414	233.1023	1.47	21,576	41,495	61,173	22,055
03:血液・造血器・免疫障害	104,754,920	0.88%	588	38.1603	1.47	10,513	6,793	9,964	4,176
04:内分泌・栄養・代謝疾患	985,412,010	8.28%	5,536	306.2546	1.35	13,438	54,517	73,329	18,060
05:精神・行動障害	478,021,210	4.01%	2,685	292.5758	1.44	6,358	52,082	75,180	10,088
06:神経系疾患	300,234,510	2.52%	1,687	148.3158	1.41	8,089	26,402	37,116	7,542
07:眼・付属器疾患	762,441,160	6.40%	4,283	656.5569	1.15	5,691	116,875	133,968	63,025
08:耳・乳様突起疾患	326,698,190	2.74%	1,835	220.5132	1.51	5,527	39,254	59,106	23,259
09:循環器系疾患	451,761,260	3.79%	2,538	187.4424	1.25	10,840	33,367	41,675	10,462
10:呼吸器系疾患	2,652,899,170	22.28%	14,903	2,039.3176	1.44	5,074	363,023	522,879	112,167
11:消化器系疾患	549,552,050	4.62%	3,087	280.5092	1.33	8,256	49,934	66,565	24,406
12:皮膚・皮下組織疾患	914,410,950	7.68%	5,137	963.7777	1.27	4,195	171,564	217,955	68,469
13:筋骨格系・結合組織疾患	761,085,950	6.39%	4,275	321.8996	1.99	6,661	57,302	114,257	23,276
14:腎尿路生殖器系疾患	653,726,230	5.49%	3,672	232.4225	1.63	9,695	41,374	67,428	19,865
15:妊娠・分娩・産じょく	53,342,380	0.45%	300	30.5485	1.66	5,916	5,438	9,016	3,324
16:周産期発生病態	14,510,760	0.12%	82	4.3368	1.33	14,088	772	1,030	567
17:先天奇形変形・染色体異常	101,896,180	0.86%	572	23.0490	1.22	20,310	4,103	5,017	2,484
18:他に分類されないもの	180,420,960	1.52%	1,014	113.2452	1.28	6,996	20,159	25,790	13,882
19:損傷・中毒・外因性	432,710,520	3.63%	2,431	213.2216	1.86	6,140	37,956	70,479	24,693

■ 男性家族同様、乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、呼吸系疾患が上位を占めている。

生活習慣病		家族/女性 [入院]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		23,973,130	135	3.2414	12.85	3,233
再掲	インスリン治療	7,903,330	44	0.1854	12.61	18,998
	腎障害	28,400	0	0.0449	16.00	222
	網膜症	914,340	5	0.0562	14.30	6,394
	神経障害	27,190	0	0.0337	9.33	486
脳血管障害		87,298,020	490	1.2808	17.08	22,413
虚血性心疾患		22,611,130	127	0.8595	12.23	12,085
動脈閉塞		7,160	0	0.0056	5.00	1,432
高血圧症		21,141,100	119	4.2525	12.28	2,273
高尿酸血症		929,530	5	0.4101	15.97	797
高脂血症		4,542,020	26	1.9830	14.32	898
肝機能障害		304,110	2	0.1124	15.70	969
高血圧性腎臓障害		33,100	0	0.0112	16.00	1,034
人工透析		30,998,020	174	0.3146	15.55	35,589

生活習慣病		家族/女性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		△2.95%	△6.25%	12.65%	1.58%	△18.05%
再掲	インスリン治療	△25.57%	△29.03%	△34.9%	△6.52%	18.26%
	腎障害	592.68%	-	287.07%	28.00%	35.37%
	網膜症	122.43%	150.00%	△3.27%	142.37%	△8.22%
	神経障害	△91.74%	△100%	15.81%	△13.61%	△92.03%
脳血管障害		19.16%	15.02%	16.57%	3.26%	△4.34%
虚血性心疾患		21.54%	17.59%	17.35%	△2.63%	2.76%
動脈閉塞		-	-	-	-	-
高血圧症		0.85%	△2.46%	6.17%	2.33%	△10.37%
高尿酸血症		64.10%	66.67%	5.29%	△3.8%	56.58%
高脂血症		△49.21%	△50%	10.40%	13.38%	△60.8%
肝機能障害		△66.66%	△60%	△37.62%	23.82%	△58.25%
高血圧性腎臓障害		-	-	-	-	-
人工透析		36.08%	31.82%	2.11%	33.59%	△3.6%

- 女性本人と同様に、脳血管障害が上位を占めるが、生活習慣病では平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が医療費単価で上位を占めている。
- 男性と比べ高血圧症での受診が多い。

生活習慣病		家族/女性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		340,085,350	1,910	233.8775	1.43	5,720
再掲	インスリン治療	93,514,760	525	16.2798	1.30	24,779
	腎障害	1,250,020	7	11.8756	1.24	478
	網膜症	10,342,990	58	10.9375	1.29	4,131
	神経障害	953,730	5	2.6403	1.46	1,394
脳血管障害		36,678,510	206	20.3189	1.58	6,400
虚血性心疾患		32,410,500	182	45.3340	1.68	2,384
動脈閉塞		13,770	0	0.0730	2.08	510
高血圧症		246,611,530	1,385	276.5375	1.28	3,907
高尿酸血症		5,894,900	33	20.2908	2.02	810
高脂血症		249,797,500	1,403	307.2546	1.37	3,324
肝機能障害		6,438,700	36	36.7784	1.34	736
高血圧性腎臓障害		369,790	2	0.6797	1.62	1,887
人工透析		236,359,540	1,328	3.6571	12.39	29,307

生活習慣病		家族/女性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		11.14%	7.36%	3.43%	△2.05%	5.98%
再掲	インスリン治療	5.87%	2.340%	3.61%	△3.7%	2.28%
	腎障害	7.65%	0.00%	4.12%	△4.62%	5.05%
	網膜症	58.43%	52.63%	△1.54%	△1.53%	58.28%
	神経障害	7.16%	0.00%	5.38%	△0.68%	△0.99%
脳血管障害		4.06%	0.49%	2.96%	△3.07%	0.71%
虚血性心疾患		△5.24%	△8.54%	△2.9%	0.60%	△6.73%
動脈閉塞		52.15%	-	39.58%	44.44%	△26.72%
高血圧症		1.59%	△1.84%	1.53%	△1.54%	△1.64%
高尿酸血症		9.96%	6.45%	5.20%	3.06%	△1.7%
高脂血症		17.02%	13.05%	3.92%	△1.44%	10.32%
肝機能障害		6.16%	2.86%	2.83%	△0.74%	1.10%
高血圧性腎臓障害		90.30%	100.00%	14.64%	△3.57%	66.11%
人工透析		7.64%	4.08%	2.30%	0.65%	1.04%

■ 糖尿病が上位を占めるが、入院同様、平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が日数と医療費単価で上位を占めている。

## 付録 1 医療費の三要素分析

- 医療保険集団の医療費の水準を考察する場合【**1人当医療費（医療費/加入者数）**】を、指標として用います。この1人当医療費は、更に次の指標の積に分解できます。

1日当医療費

×

1件当日数

×

受診率

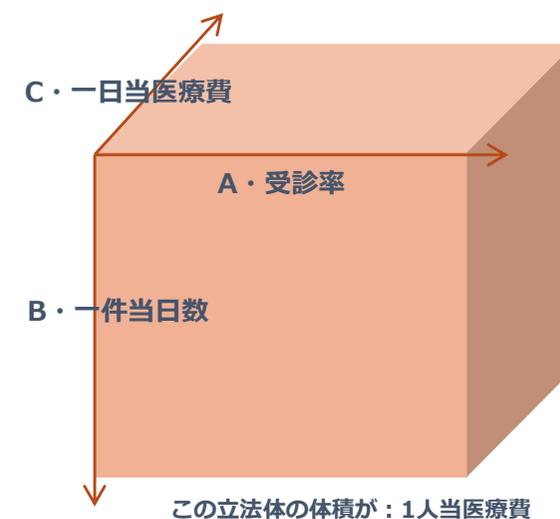
=

1人当医療費

**受診率** とは、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。受診率が全国平均よりも高いということは、病院に行く人の割合が高いということであり、受診率の伸び率が高いということは病院に行く人の割合が増えているということです。当組合では1年当たりのレセプト件数をもとに1人当たり診療件数を「受診率」として用いています。受診率は、主に医療を受ける側の受診意識や感染症の流行などの疾病構造等に依存する傾向があります。

**1件当日数** とは、治療のために病院に通った通院日数、入院日数を表し、診療実日数をレセプト件数で除したものです。治療期間が長期にわたっていても、入院の1件当日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当日数が多ければ、通院頻度が高いことがわかります。1件当日数は、患者の受診意識や疾病の種類による要因や医療機関側による要因の両方の影響を受けます。

**1日当医療費** とは、医療費の単価を表し、診療費（医療費）を診療実日数で除したものです。1日当診療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。1日当医療費は、医療機関側の診療行為（この点数改定や措置内容）などに依存します。



- この3つの指標を、「**医療費の3要素**」といい、医療費を分析していくうえでの基本的な指標となります。1人当医療費が高い、伸びているといったも、**三要素別に何が高くなっているかを調べる**ことによって、医療費の増加要因について見当をつけることができます。

## 付録 2 疾病19分類

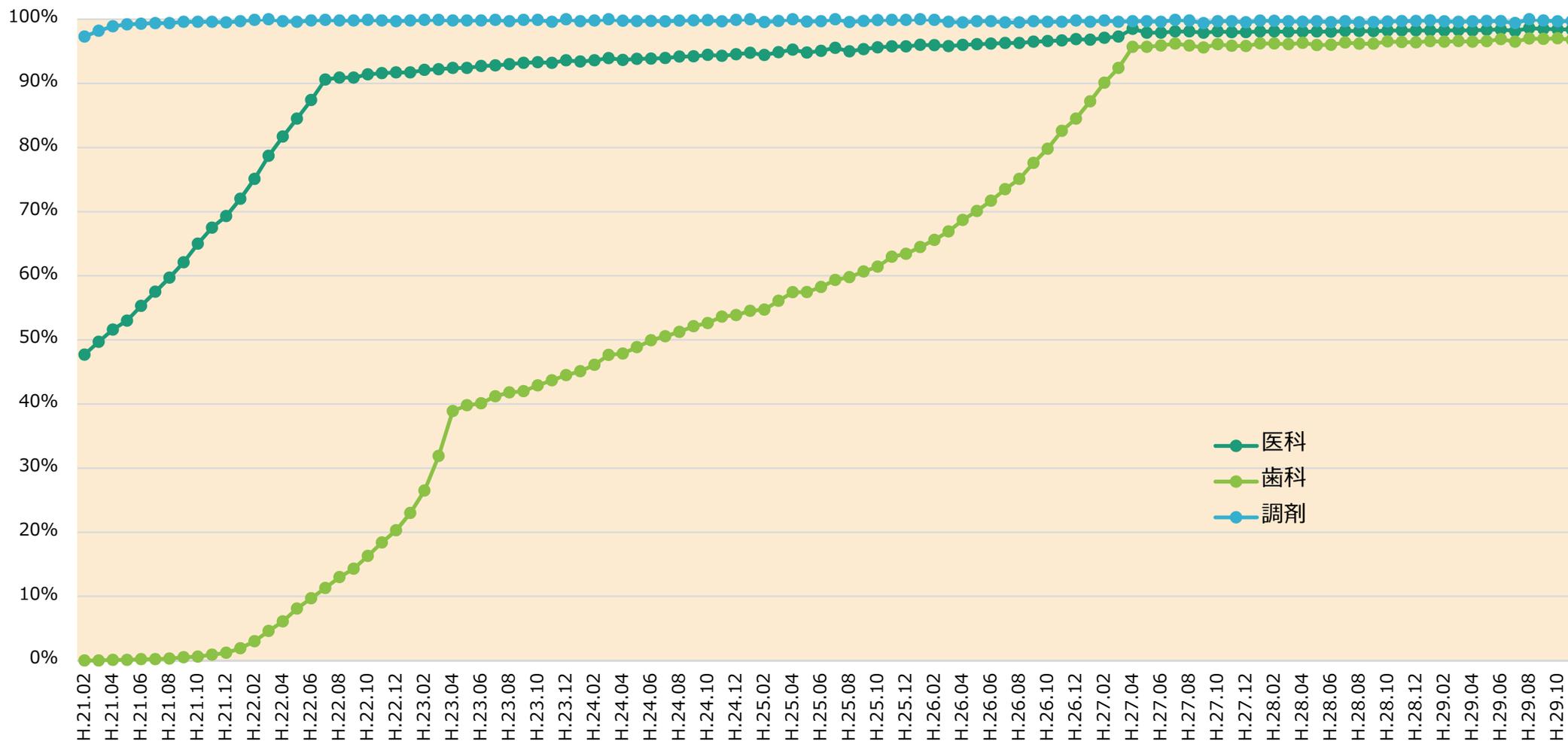
- 異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関（WHO）が作成した分類が、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（ICD）」です。
- 現在、我が国では、ICD-10（2013）に準拠した「疾病、傷害及び死因分類」を作成し、統計法に基づく統計調査に使用するほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用しています。
- ICD-10の分類の構成（基本分類表）は全22章から構成され、疾病19分類は第1章から19章までの疾病の統計分類基本分類の表題を使用しており、レセプト分析システムではこの分類に従い分析を行っています。

章	分類	大分類の例
第1章	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、主として性的伝播様式をとる感染症、真菌症などその他
第2章	新生物	悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物などその他
第3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	栄養性貧血、凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態、免疫機構の障害などその他
第4章	内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害、糖尿病、栄養失調、
第5章	精神及び行動の障害	症状性を含む器質性精神障害、統合失調症、妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害などその他
第6章	神経系の疾患	中枢神経系の炎症性疾患、神経系のその他の変性疾患、挿間性及び発作性障害などその他
第7章	眼及び付属器の疾患	眼瞼、涙器及び眼窩の障害、強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害、水晶体の障害などその他
第8章	耳及び乳様突起の疾患	外耳疾患、中耳及び乳様突起の疾患、耳のその他の障害などその他
第9章	循環器系の疾患	急性リウマチ熱、高血圧性疾患、虚血性心疾患、肺性心疾患及び肺循環疾患、脳血管疾患などその他
第10章	呼吸器系の疾患	急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、上気道のその他の疾患、喘息などその他
第11章	消化器系の疾患	食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患、ヘルニア、非感染性腸炎及び非感染性大腸炎などその他
第12章	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、水疱症、皮膚炎及び湿疹、蕁麻疹及び紅斑などその他
第13章	骨格系及び結合組織の疾患	関節障害、身性結合組織障害、軟部組織障害、骨障害及び軟骨障害などその他
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患、腎不全、尿路結石症、乳房の障害などその他
第15章	妊娠、分娩及び産じょく	流産に終わった妊娠、主として妊娠に関連するその他の母体障害、分娩の合併症などその他
第16章	周産期に発生した病態	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児などその他
第17章	先天奇形、変形及び染色体異常	神経系の先天奇形、染色体異常、他に分類されないものなどその他
第18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候、その他の症状及び徴候、検査の異常所見、診断名の記載がないものなどその他
第19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷などその他の損傷、熱傷及び腐食、凍傷、薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒などその他

## 付録 3 当組合のレセプト電子化（率）の推移

- レセコンを使用した診療報酬の書面による請求は、「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令」の規定により、原則、平成27年4月診療分以降できなくなることから、免除又は猶予の要件に該当しない限り、電子レセプトによる請求となります。
- このため、平成27年4月以後はすべての診療区分で電子化率が95%以上となり、直近の平成29年11月は約97%以上が電子レセとなっっています。

### 当組合のレセプト電子化の推移

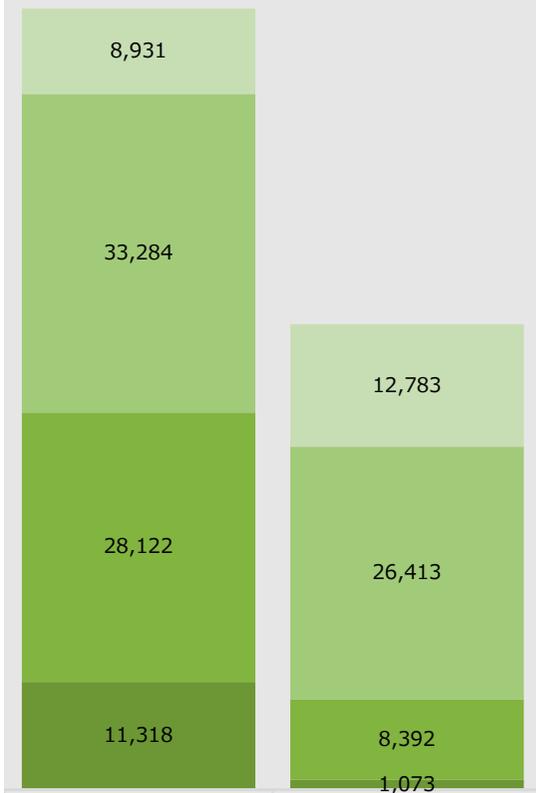


## STEP 1-4

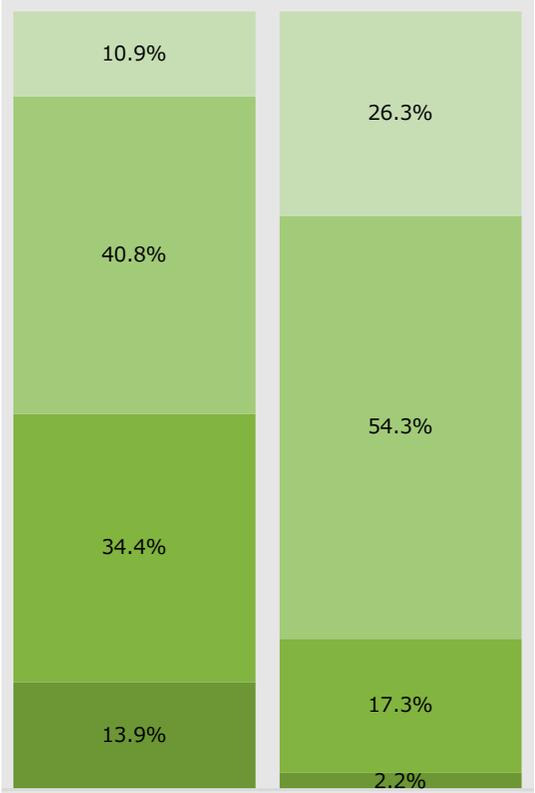
## 健康分布

- 分析対象の健診情報は、平成31年4月から令和2年3月までの健診結果を集計したものです。
- 結果の線グラフ「該当率」の閾値は、受診勧奨値を基準としています。
- 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等については「付録4」を参照（58頁）
- 特定保健指導の階層化フローについては「付録5」を参照（59頁）
- 健診検査項目の概要については「付録6」を参照（60頁）

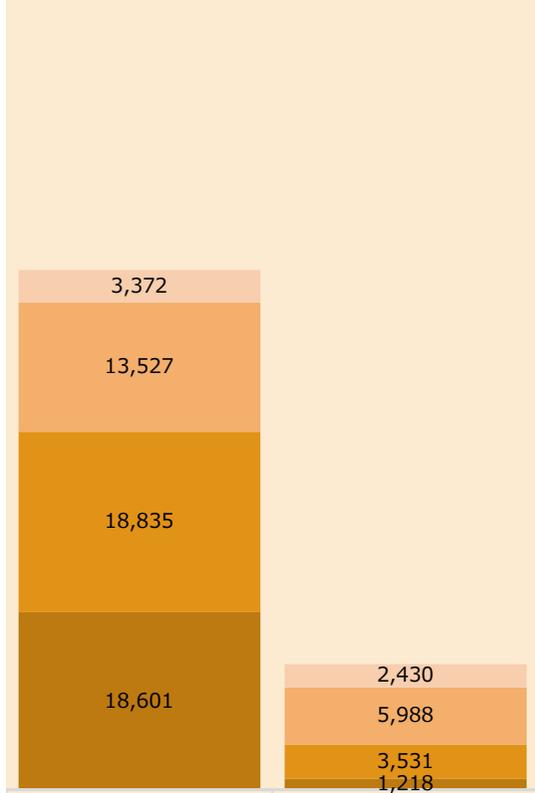
40歳以上 男性 [人数]



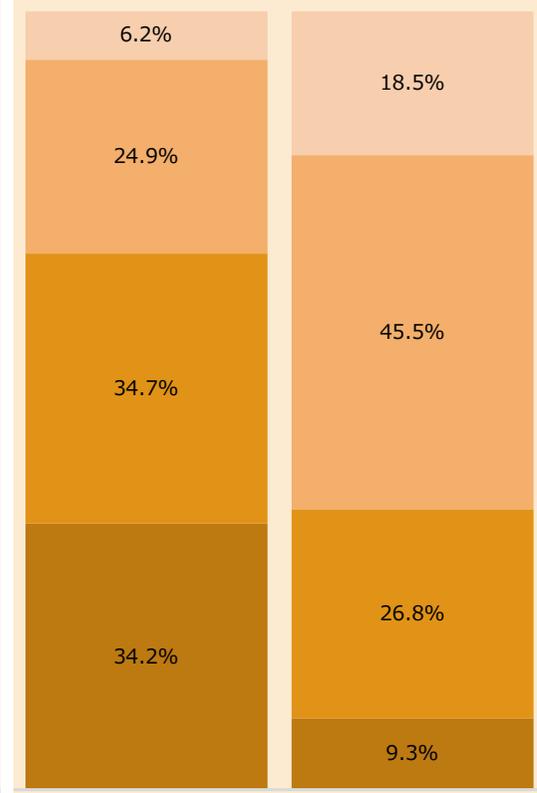
男性 [割合] [100分率]



40歳以上 女性 [人数]



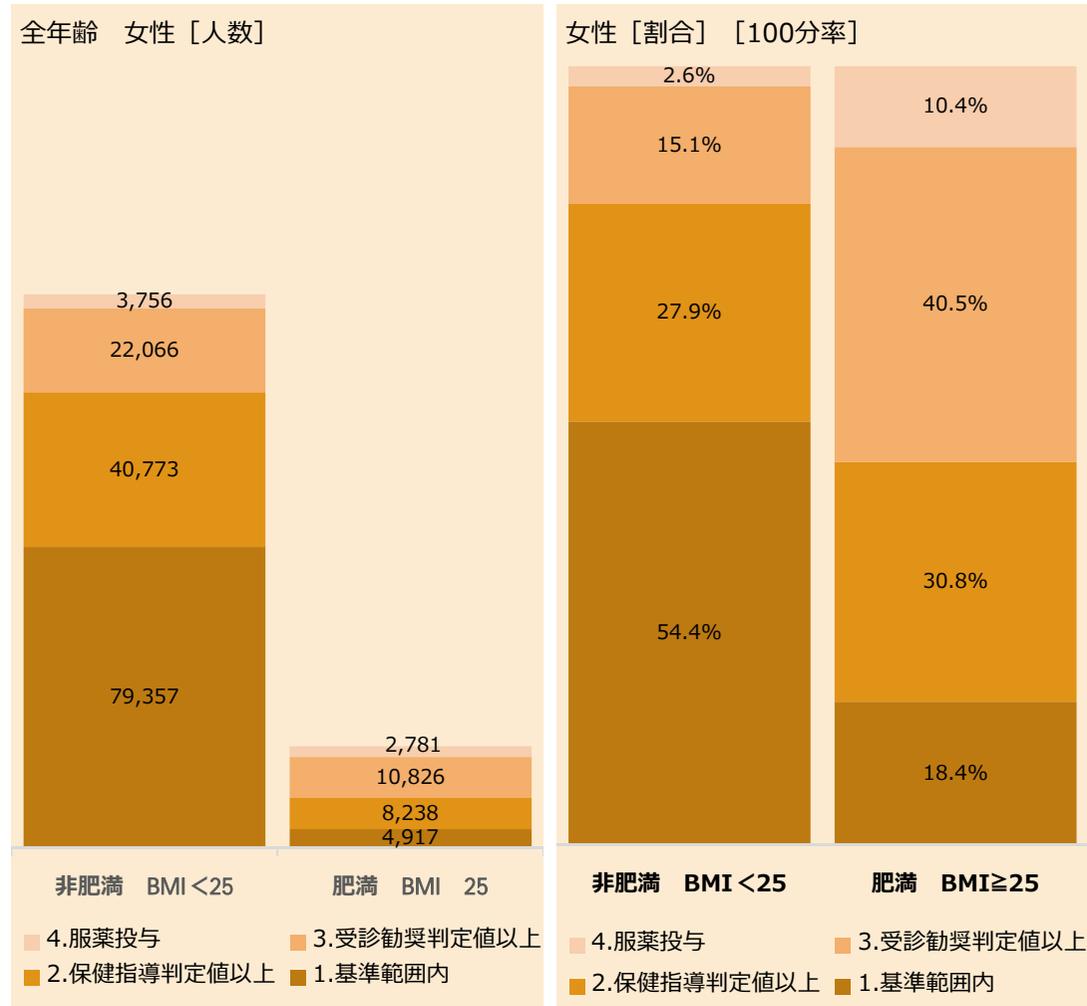
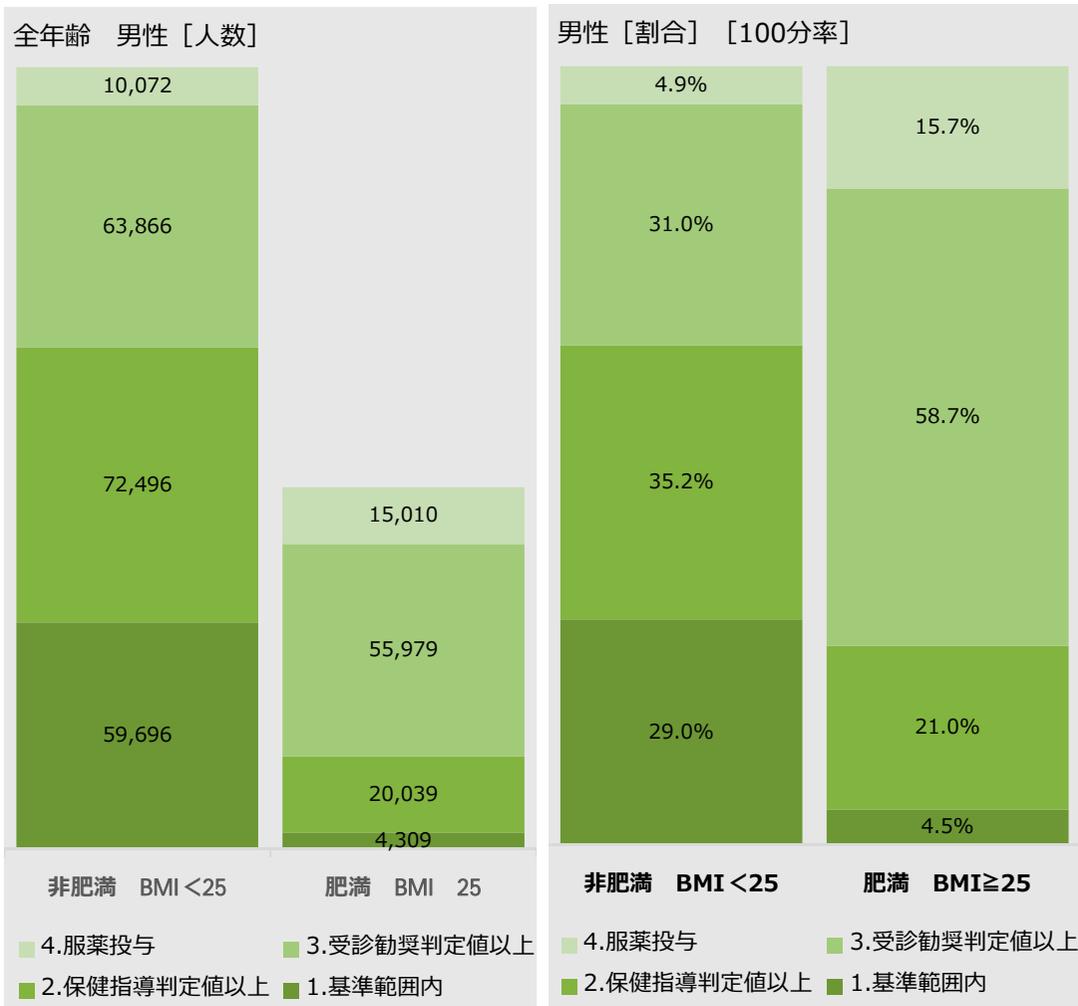
女性 割合 [100分率]



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 特定健診対象者（40歳以上）の問診票及び健診結果の分析から、非肥満の男性では「保健指導判定値以上」の者と「受診勧奨判定値以上」の者、女性では「基準範囲内」と「保健指導判定値以上」の者は同程度の比率で存在するが、肥満では男女ともに「基準範囲内」と「保健指導判定値以上」の割合が減り「受診勧奨判定値以上」と「服薬投与」に移行している。
- 服薬投与と受診勧奨判定値以上の者の割合は、非肥満と肥満では、男女ともに肥満者が大きな割合を占めている。
- 男性では非肥満の者と肥満の者では「基準範囲内」に6倍以上の開きがあるが、女性ではその開きが3倍強に留まっている。

# 1-4-2 健康分布図 – 全年齢でみた肥満によるリスク分布 –



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 40歳以上の分布と比較すると男性全体では「服薬投与」の者の占める割合が約1/2となり、肥満、非肥満ともに「基準範囲内」の者の割合が約2倍、さらに非肥満での「受診勧奨判定値以上」の者の割合は約10%少ないことがわかる。(特定健診対象者の方が服薬率は高い。)
- 女性でも40歳以上の分布と比較して「服薬投与」の者の占める割合が全体で約1/2となっている。非肥満では「基準範囲内」の者が約6割を占め、肥満でも「基準範囲内」の者と「保健指導判定値以上」の者で約6割となっている。

# 1-4-3 健康分布図 – 問診票分析（食習慣） –

人と比較して食べるのが早い	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:速い	118,636	34.9%	92,537	39.2%	36,989	26.9%	129,526	34.7%	99,597	39.2%	40,138	26.6%	139,735	34.5%
2:ふつう	181,585	53.3%	121,330	51.5%	79,092	57.6%	200,422	53.7%	130,954	51.5%	86,756	57.5%	217,710	53.7%
3:遅い	40,264	11.8%	21,876	9.3%	21,331	15.5%	43,207	11.6%	23,713	9.3%	23,966	15.9%	47,679	11.8%

就寝2時間以内の食事が週3回以上ある	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	149,568	43.9%	114,393	48.5%	47,125	34.3%	161,518	43.3%	120,095	47.2%	51,041	33.8%	171,136	42.2%
2:いいえ	190,987	56.1%	121,353	51.5%	90,294	65.7%	211,647	56.7%	134,128	52.8%	99,852	66.2%	233,980	57.8%

朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取（平成30年度より内容変更）	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日（はい）	62,222	18.3%	36,753	17.5%	39,987	32.1%	76,740	22.9%	45,496	18.0%	47,339	31.4%	92,835	23.0%
2:時々	-	-	119,508	56.9%	69,372	55.7%	188,880	56.5%	143,068	56.5%	84,173	55.9%	227,241	56.3%
3:ほとんど摂取しない（いいえ）	278,247	81.7%	53,753	25.6%	15,257	12.2%	69,010	20.6%	64,626	25.5%	19,022	12.6%	83,648	20.7%

朝食抜きが週3回以上ある	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	122,606	36.0%	94,882	40.3%	39,934	29.1%	134,816	36.1%	102,149	40.2%	44,644	29.6%	146,793	36.2%
2:いいえ	217,816	64.0%	140,831	59.7%	97,476	70.9%	238,307	63.9%	152,055	59.8%	106,207	70.4%	258,262	63.8%

お酒を飲む頻度	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日	74,290	18.1%	58,203	20.7%	18,194	11.6%	76,397	17.4%	60,240	20.1%	19,545	11.4%	79,785	16.9%
2:時々	172,680	42.1%	123,869	44.1%	65,810	41.9%	189,679	43.3%	133,152	44.4%	72,093	42.0%	205,245	43.5%
2:ほとんど飲まない	163,105	39.8%	98,764	35.2%	73,176	46.5%	171,940	39.3%	106,524	35.5%	79,989	46.6%	186,513	39.6%

飲食日の一日当りの飲酒量	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:1合未満	168,623	46.3%	100,217	39.3%	80,465	59.5%	180,682	46.3%	106,089	39.5%	87,049	59.4%	193,138	46.5%
2:1~2合未満	117,335	32.2%	86,489	33.9%	37,134	27.4%	123,623	31.7%	91,741	34.1%	40,492	27.6%	132,233	31.8%
3:2~3合未満	53,768	14.7%	45,278	17.8%	13,206	9.8%	58,484	15.0%	47,064	17.5%	14,274	9.7%	61,338	14.8%
4:3合以上	24,864	6.8%	22,985	9.0%	4,431	3.3%	27,416	7.0%	23,825	8.9%	4,721	3.2%	28,546	6.9%

- 問診票による経年結果には、各項目ともに大幅な乖離は見られない。（行動変容が大きくは変化していない。）
- 食事に関する加入者の行動は、40%の者が就寝2時間以内に食事をとり、23%の者が3食以外の間食等を取り、36%の者は朝食をとっていない。男性と女性を比較すると、男性は食べるのが早く、寝る前に食事をとり、お酒を飲む頻度や飲酒量が多い割合が高く、女性は間食等を摂る割合が高い。

# 1-4-4 健康分布図 – 問診票分析（その他） –

睡眠で休養が充分とれている	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	189,838	55.8%	134,466	57.1%	79,210	57.7%	213,676	57.3%	148,425	58.4%	88,010	58.4%	236,435	58.4%
4:いいえ	150,214	44.2%	101,049	42.9%	58,100	42.3%	159,149	42.7%	105,708	41.6%	62,763	41.6%	168,471	41.6%

20歳のときから体重10kg以上増加	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	118,682	34.9%	104,546	44.4%	28,817	21.0%	133,363	35.7%	114,634	45.1%	32,635	21.6%	147,269	36.4%
2:いいえ	221,708	65.1%	131,202	55.6%	108,575	79.0%	239,777	64.3%	139,600	54.9%	118,202	78.4%	257,802	63.6%

食事を嘔んで食べる時の状態 (平成30年度より新設)	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:何でも	-	-	205,454	88.6%	117,358	87.9%	322,812	88.4%	225,609	88.5%	132,709	87.6%	358,318	88.2%
2:かみにくい	-	-	24,992	10.8%	15,727	11.7%	40,719	11.1%	28,097	11.0%	18,292	12.1%	46,389	11.4%
3:ほとんどかめない	-	-	1,404	0.6%	493	0.4%	1,897	0.5%	1,247	0.5%	492	0.3%	1,739	0.4%

1回30分以上の運動を週2日以上、 1年実施	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	57,819	17.0%	46,810	19.9%	18,884	13.7%	65,694	17.6%	52,873	20.8%	21,362	14.2%	74,235	18.3%
2:いいえ	282,634	83.0%	188,939	80.1%	118,564	86.3%	307,503	82.4%	201,382	79.2%	129,536	85.8%	330,918	81.7%

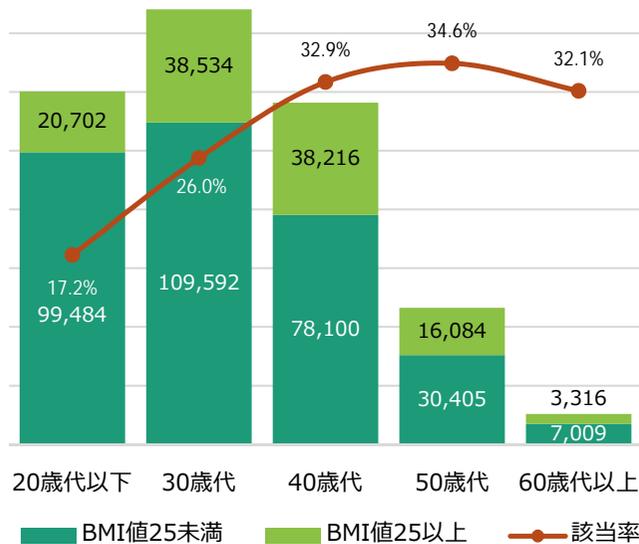
歩行などを1日1時間以上実施	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	137,281	40.4%	103,657	44.0%	55,779	40.6%	159,436	42.8%	116,583	45.9%	62,951	41.7%	179,534	44.3%
2:いいえ	202,908	59.6%	131,946	56.0%	81,571	59.4%	213,517	57.2%	137,534	54.1%	87,837	58.3%	225,371	55.7%

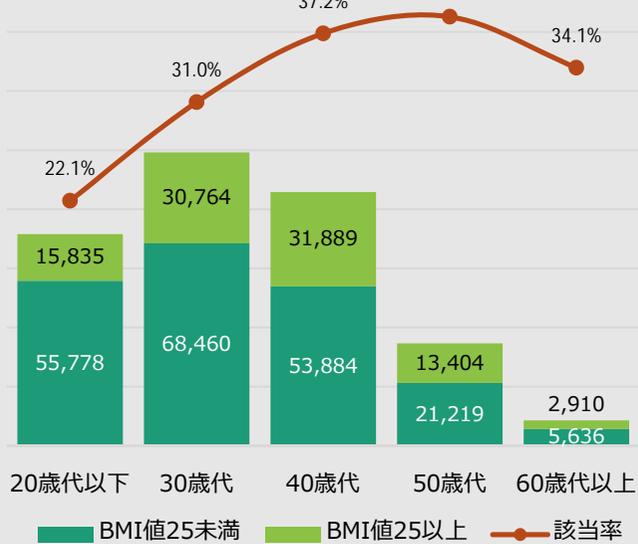
生活習慣の改善で保健指導を利用した いか	平成29年度		平成30年度						令和元年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	105,231	37.0%	64,768	34.6%	47,578	39.2%	112,346	36.4%	70,707	33.6%	52,059	38.1%	122,766	35.3%
2:いいえ	179,534	63.0%	122,243	65.4%	73,718	60.8%	195,961	63.6%	139,924	66.4%	84,660	61.9%	224,584	64.7%

- 睡眠に関しては、約42%の人が睡眠で十分な休養がとれていない状況が継続している。
- 20歳のときより体重が10kg以上増加している者の割合は全体では約36%だが、男性45%に対して女性では21%と性別による差は大きい。
- 運動に関しては、週2日以上運動を1年以上実施している割合は、80%強であるのに対し1日1時間以上の歩行は約55%と日々の活動量は低いことが伺える。
- 保健指導に関しては、60%強の人が**利用に関してネガティブ**指向であり、この値は微増の状況が続いている。

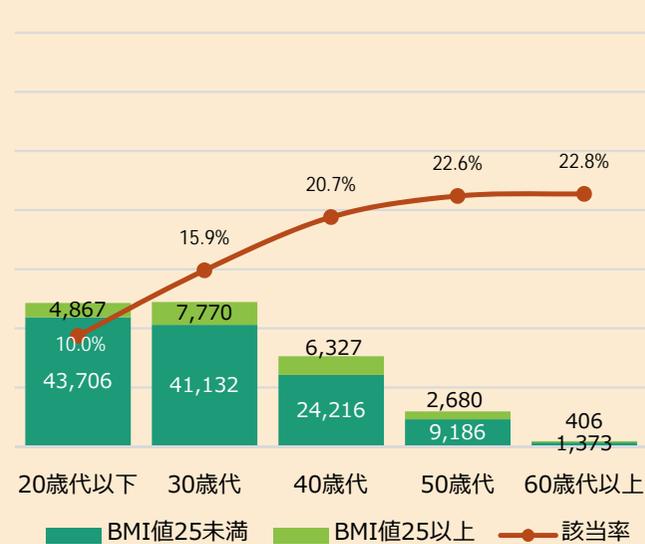
BMI分布 被保険者全体



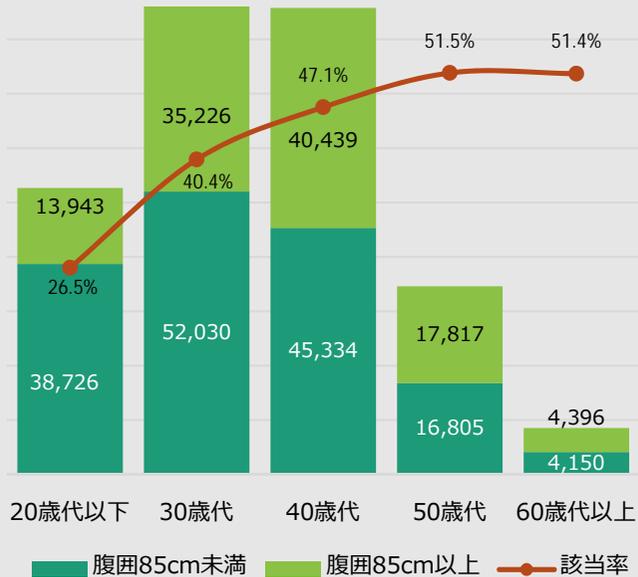
BMI分布 男性



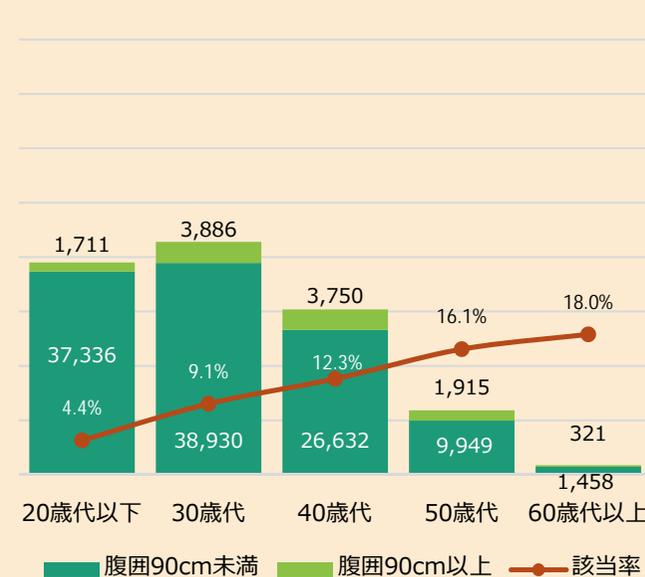
BMI分布 女性



腹囲分布 男性

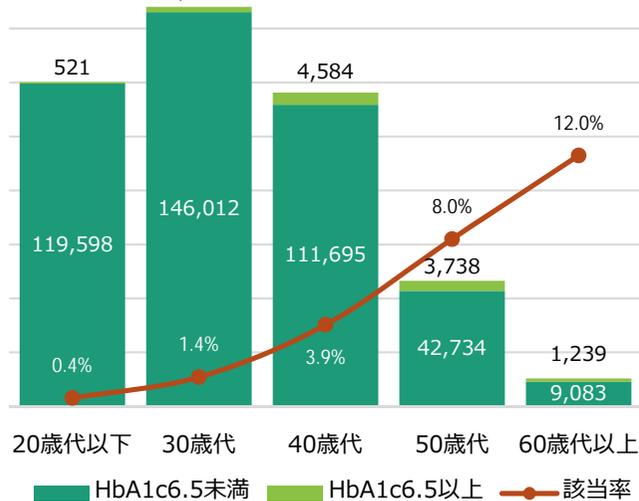


腹囲分布 女性



- 男性では、BMIは50歳代以降は下降傾向になり、全体でも同様の傾向が見られる。
- 男性は40歳代では約35%の人がBMI25を超え、45%以上の人腹囲85cmを超えて、BMIの伸びが止まった50歳代以降も上昇している。
- 女性の該当率は男性と比較して、BMI25を超えている人は1/2程度、腹囲では1/3～1/6程度と総じて該当率は低い。

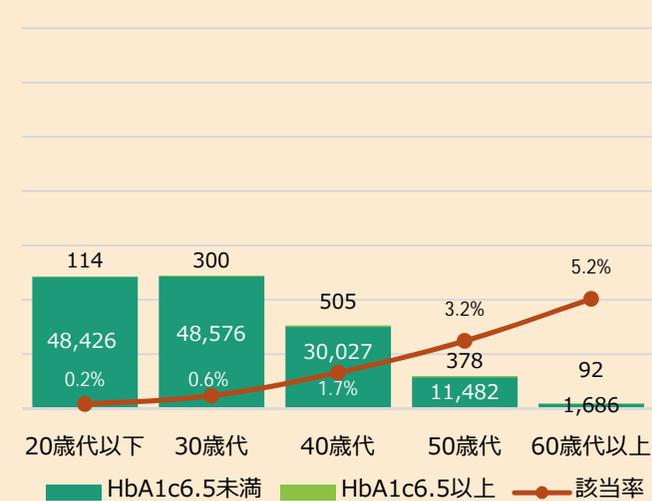
HbA1c 分布 被保険者全体  
2,043



HbA1c 分布 男性



HbA1c 分布 女性



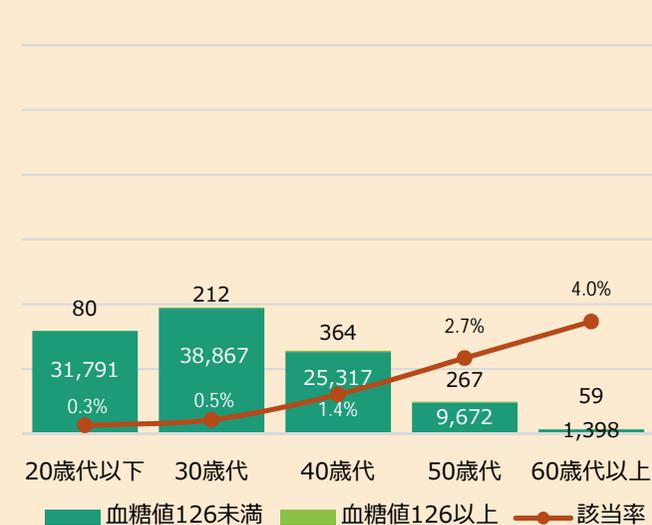
空腹時血糖値分布 被保険者全体



空腹時血糖値分布 男性

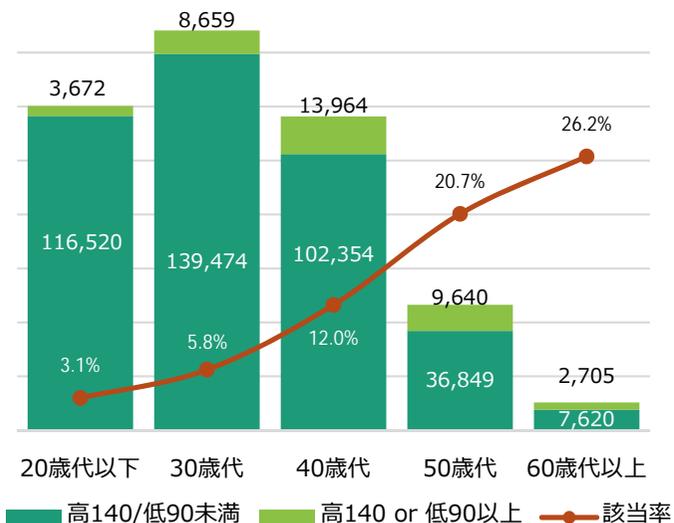


空腹時血糖値分布 女性

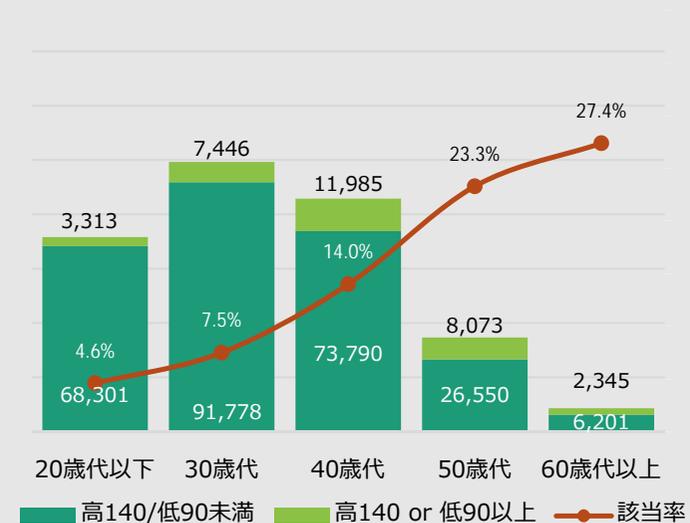


- 糖尿病の指標は40歳代から大きく該当率が高くなり、その傾向は男性により強く現れている。
- 女性の該当率は男性に比べて低いが、50歳代を境に高くなる。

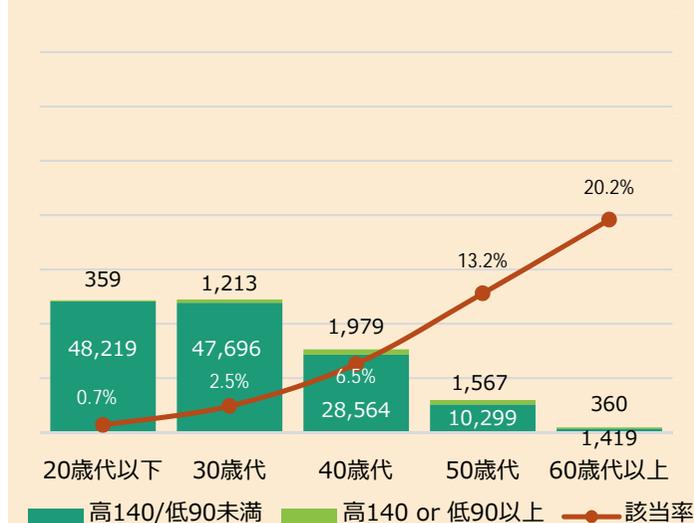
収縮又は拡張期 高値分布 被保険者全体



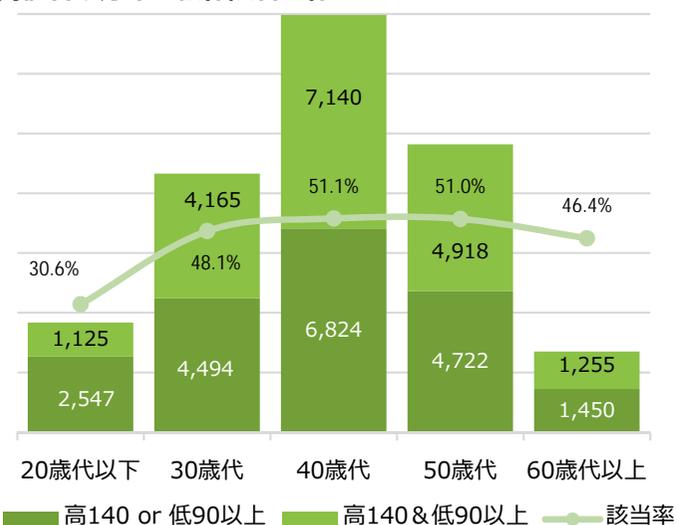
収縮又は拡張期 高値分布 男性



収縮又は拡張期 高値分布 女性



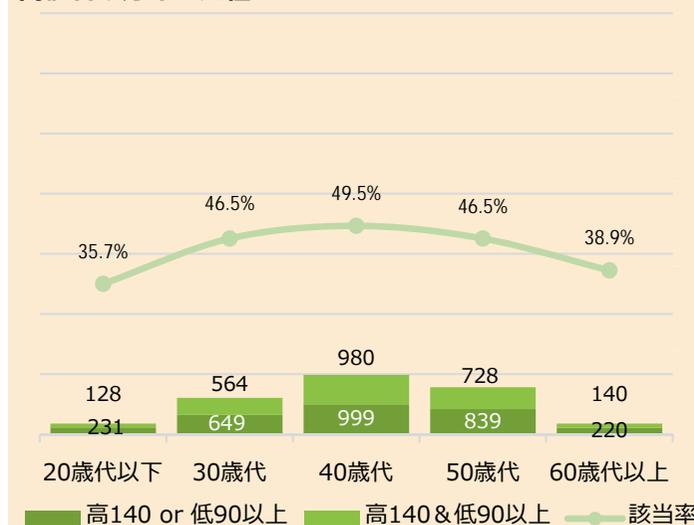
高値者の分布 被保険者全体



高値者の分布 男性

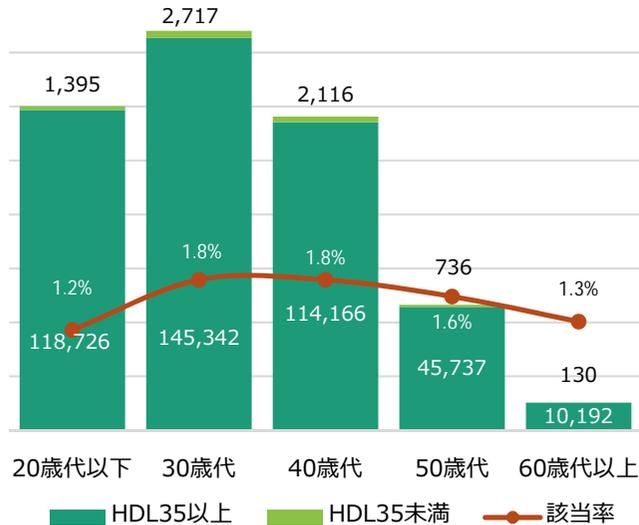


高値者の分布 女性

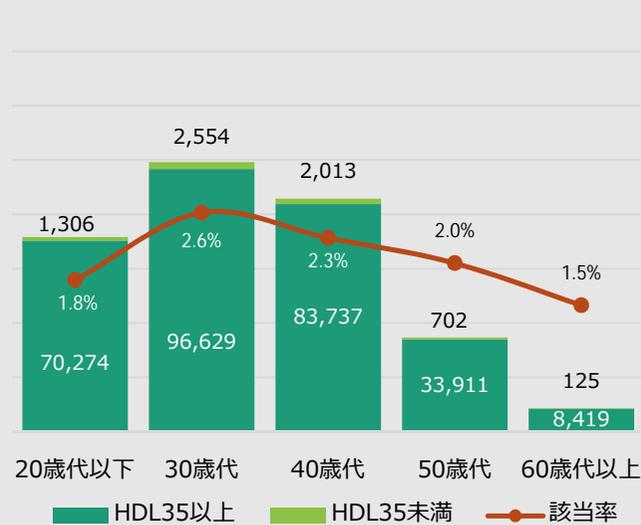


- 該当率は、糖尿病と同様に40歳代から伸びはじめる。女性の該当率は男性に比べると低いが50歳代からその差は小さくなる。（上グラフ）
- 上グラフの治療値に該当した者のうち、収縮・拡張（上下）ともに基準値を上回る者が約半数見られ、その割合は微増が続いている。（下グラフ）

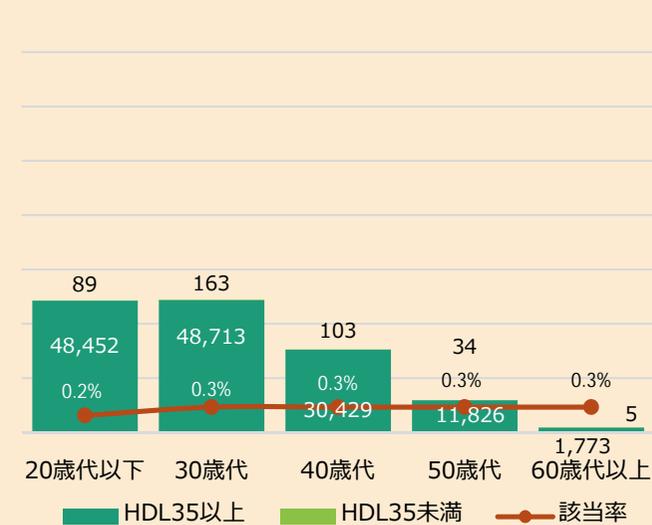
HDL 分布 被保険者全体



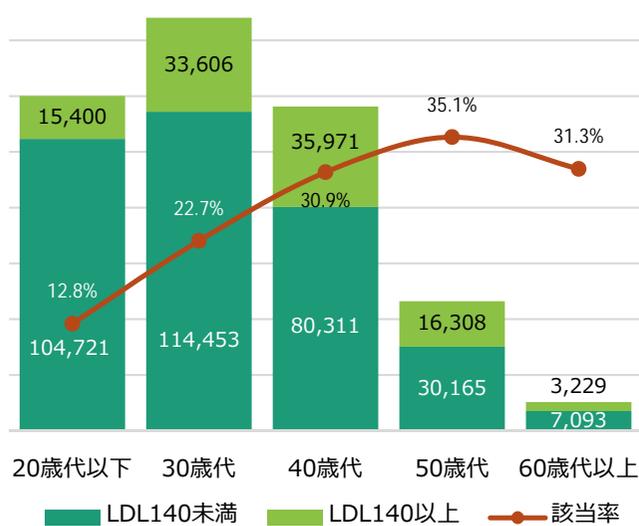
HDL 分布 男性



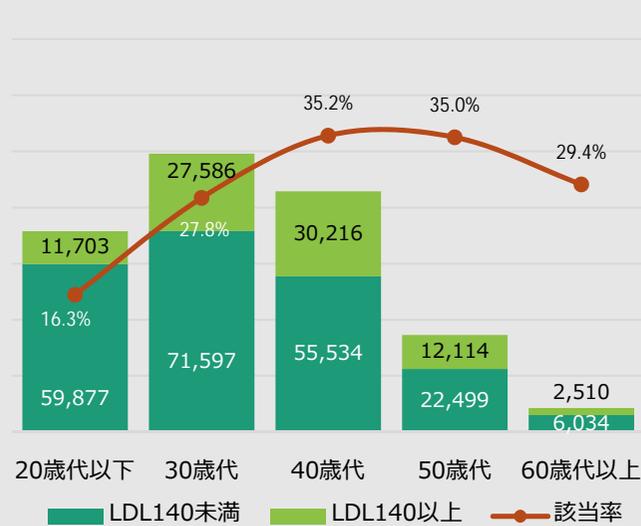
HDL 分布 女性



LDL 分布 被保険者全体



LDL 分布 男性

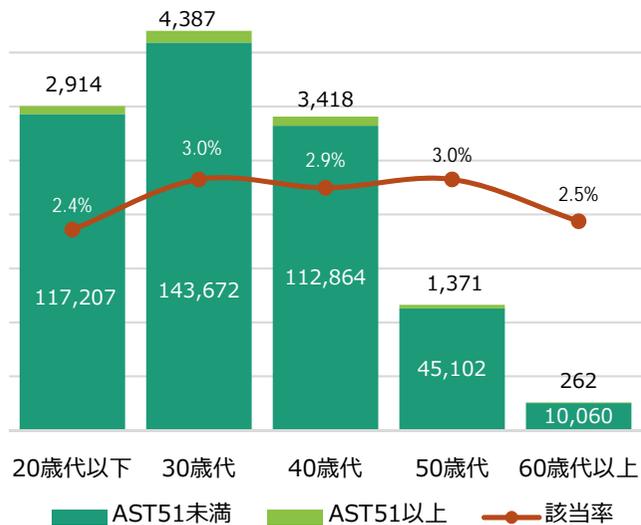


LDL 分布 女性

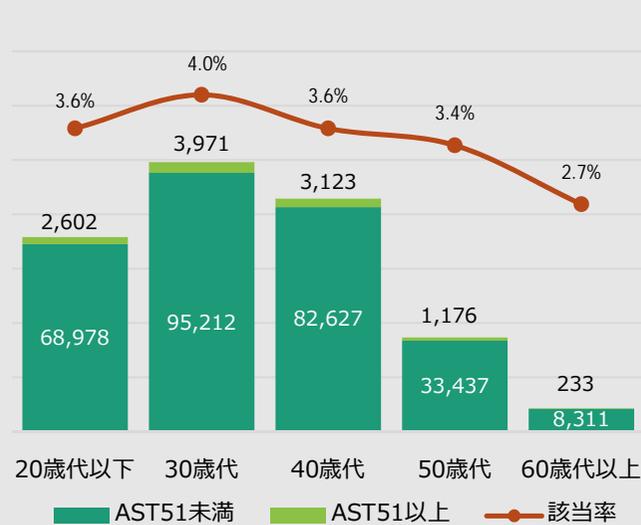


- 閾値を超えて該当する者は、男女ともにHDLと比べてLDLに多く、男性のHDLで閾値を超える者は50歳代から逡減しており、その傾向は女性にも見られる。
- 女性のLDLで閾値を超える者は、50歳代を境に急増している。

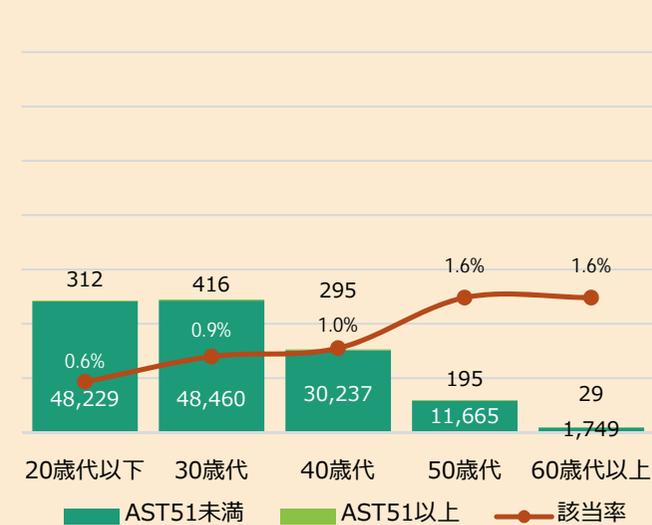
AST 分布 被保険者全体



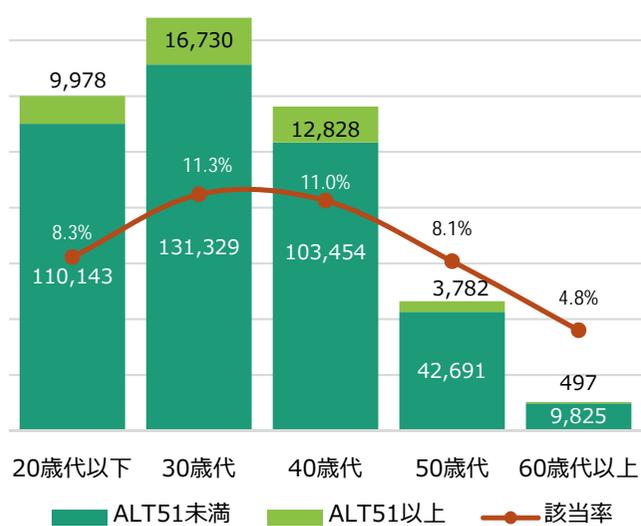
AST 分布 男性



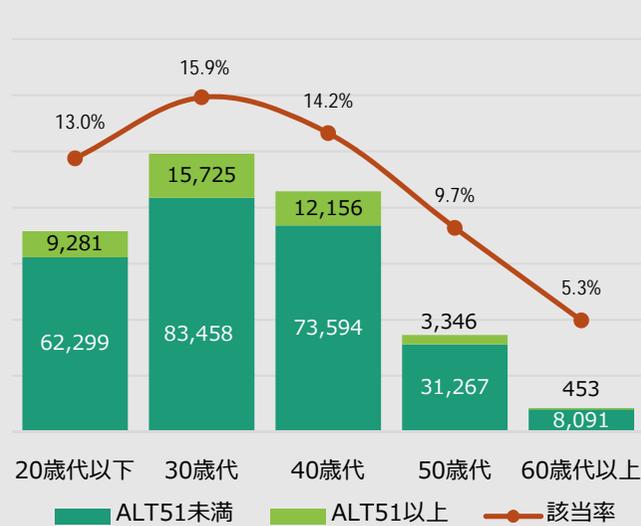
AST 分布 女性



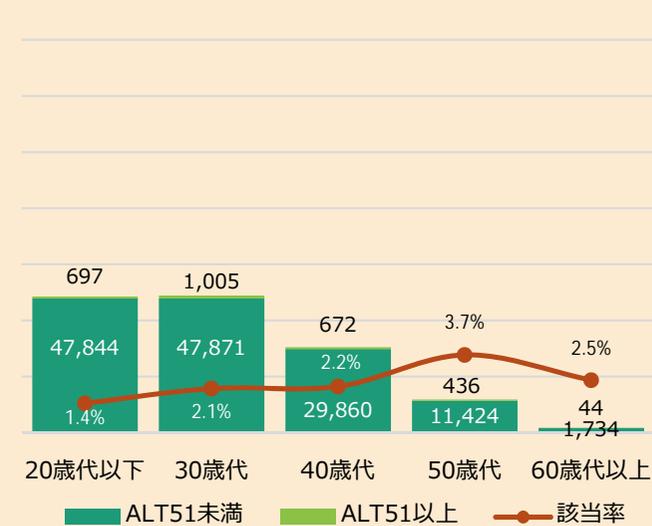
ALT 分布 被保険者全体



ALT 分布 男性

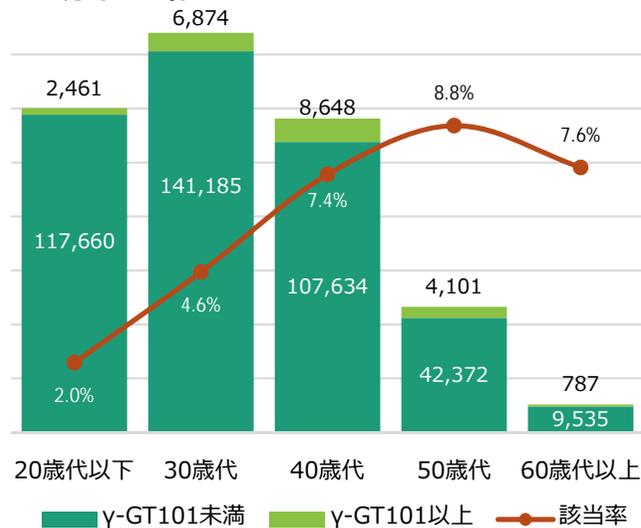


ALT 分布 女性

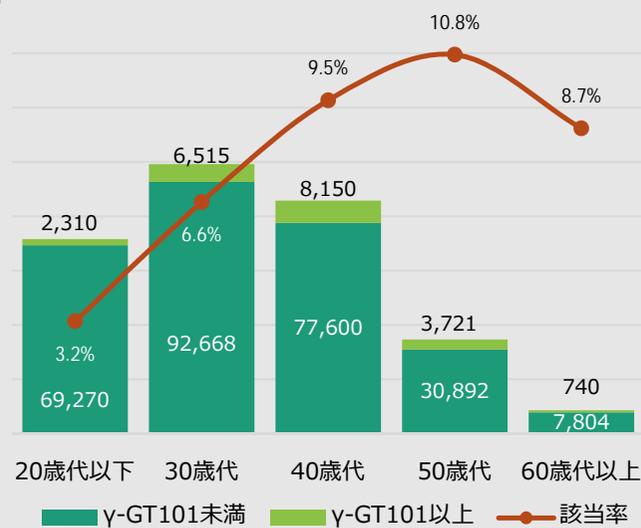


■ ASTと比べALTでは閾値を超えて該当する者が多く、男性はいずれも40歳代で逡減する。女性の該当率は男性に比べてどちらも低い。

γ-GT 分布 全体



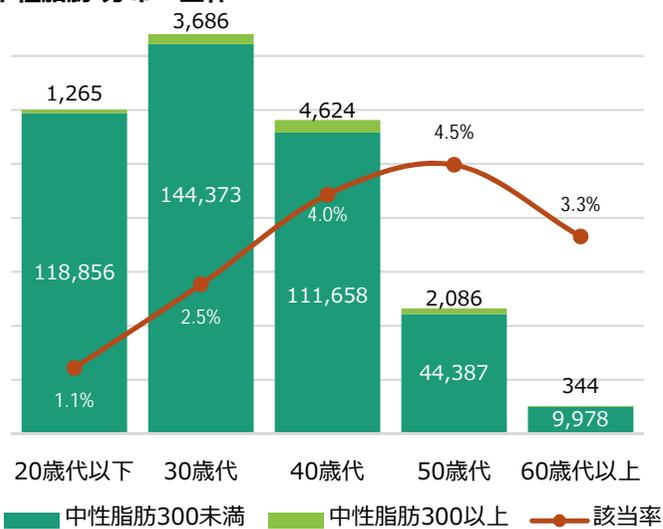
γ-GT 分布 男性



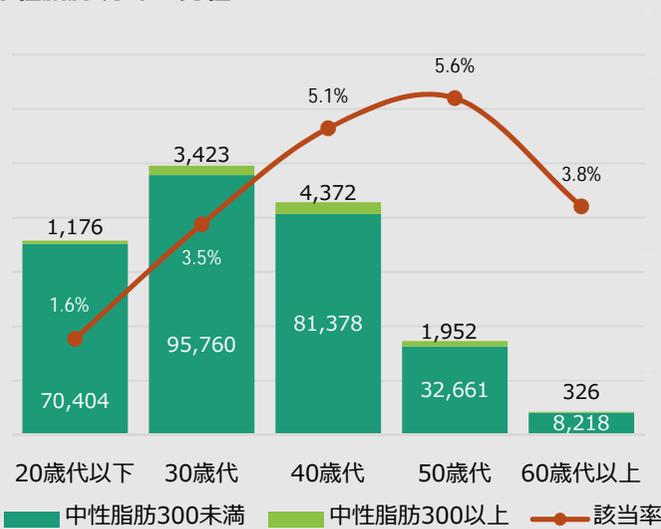
γ-GT 分布 女性



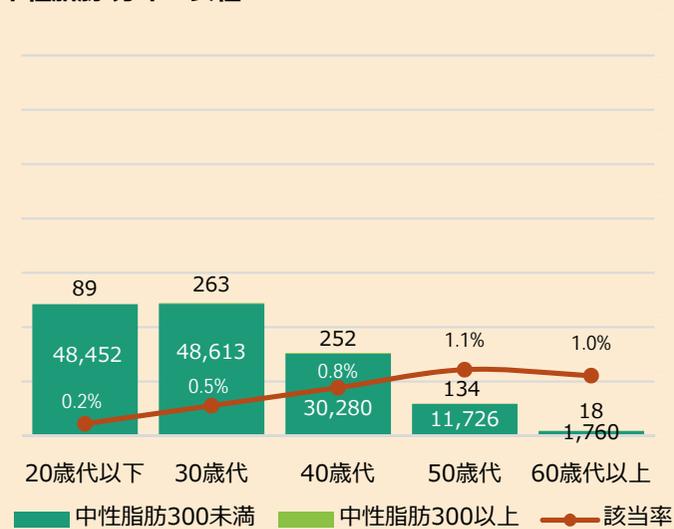
中性脂肪 分布 全体



中性脂肪 分布 男性



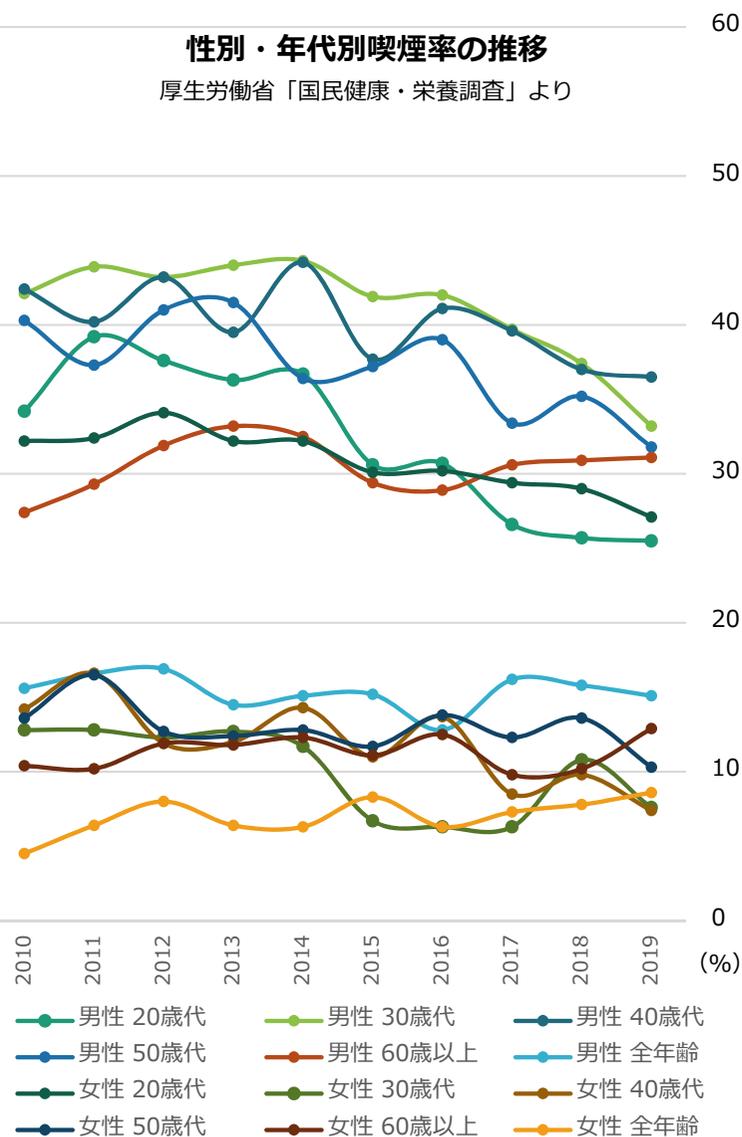
中性脂肪 分布 女性



■ γ-GT 及び中性脂肪ともに、男性が圧倒的に閾値を超えて該当する。女性の該当率は低い。

性別・年代別喫煙率の推移

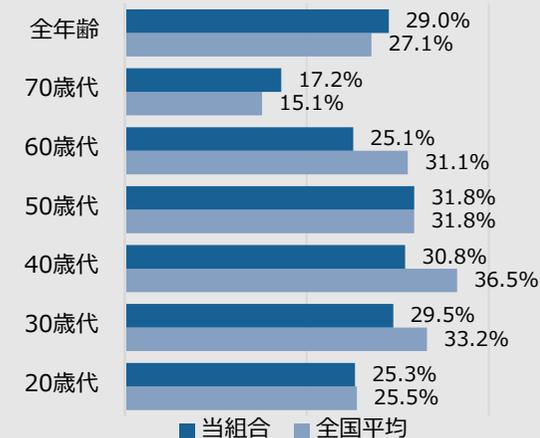
厚生労働省「国民健康・栄養調査」より



喫煙者数と喫煙率 男性 令和元年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳代	18,124	53,411	71,535	25.3%	26.6%
30歳代	29,305	70,199	99,504	29.5%	30.4%
40歳代	26,541	59,583	86,124	30.8%	30.9%
50歳代	11,124	23,829	34,953	31.8%	32.0%
60歳代	2,111	6,313	8,424	25.1%	24.8%
70歳代	141	681	822	17.2%	15.6%
計	87,346	214,016	301,362	29.0%	29.7%

喫煙率の比較 男性 令和元年度



喫煙者数と喫煙率 女性 令和元年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳代	4,254	44,761	49,015	8.7%	9.1%
30歳代	5,931	50,185	56,116	10.6%	11.0%
40歳代	5,451	38,539	43,990	12.4%	12.8%
50歳代	2,416	16,418	18,834	12.8%	12.7%
60歳代	424	3,587	4,011	10.6%	10.3%
70歳代	42	627	669	6.3%	4.7%
計	18,518	154,117	172,635	10.7%	11.1%

喫煙率の比較 女性 令和元年度



- 全国の喫煙率は、昭和40年には男性では90%、女性で15.7%だったが、現在では全年齢平均で男性27.1%、女性7.6%まで低下している。
- 当組合の令和元年度問診票からみた喫煙率は、男女ともに全国平均を上回る年齢階層が複数あり、全年齢では男性で1.9%、女性で3.1%上回っている。

## 付録 4

## 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等

- 2013年4月1日に厚生労働省より公開された「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に記載されている、主な健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値と、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）による特定保健指導の基準値は次のとおりです。（※基準値を用いた特定保健指導の階層化は付録5を参照）

項目名	保健指導判定値	特定保健指導実施基準値	受診勧奨判定値	単位
腹囲	－	男性 85 以上 女性 90 以上	－	cm
BMI	－	25以上	－	－
収縮期血圧	130 以上	130 以上	140 以上	mmHg
拡張期血圧	85 以上	85 以上	90 以上	mmHg
中性脂肪	150 以上	150 以上	300 以上	mg/dL
HDLコレステロール	39 以下	40 未満	34 以下	mg/dL
LDLコレステロール	120 以上	－	140 以上	mg/dL
空腹時血糖	100 以上	100 以上	126 以上	mg/dL
HbA1c (NGSP)	5.6 以上	5.6 以上	6.5 以上	%
AST (GOT)	31 以上	－	51 以上	U/L
ALT (GPT)	31 以上	－	51 以上	U/L
γ-GT (γ-GTP)	51 以上	－	101 以上	U/L

## 付録 5 特定保健指導の階層化フロー

- 特定健診の結果より特定保健指導の対象と判定された方を動機付け支援（リスク低）対象者、積極的支援（リスク高）対象者に、それぞれ階層化します。
- 健康状態を把握し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に実施できるように、医師や保健師、管理栄養士がさまざまな働きかけやサポートを行います。

STEP 1 内臓脂肪蓄積のリスクを判定	
1	腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上
2	腹囲は上記未滿だが、BMI [体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)] が25以上
※ 1 の場合、内臓脂肪面積を測定したときは、内臓脂肪面積の測定が優先されます。 ※ いずれにも該当しなければ特定保健指導は対象外です。	

STEP 2 検査結果、質問票から追加リスク数をカウント	
1 血糖 ※	空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c : 5.6%以上
2 脂質	中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDL (善玉) コレステロール : 40mg/dl未滿
3 血圧	収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 : 85mmHg以上
4 喫煙歴	1から3のうち、1つ以上に該当した場合にカウントします
※ 1の項目を測定している場合は、空腹時血糖値を優先とします。	

STEP 3 保健指導のレベルをグループ分け			
STEP1	STEP2	保健指導の内容	
1のリスクに該当した場合 (腹囲測定)	1~4のリスク数が	2つ以上	積極的支援
		1つ	動機付け支援
		0	情報提供
2のリスクに該当した場合 (BMI)	1~4のリスク数が	3つ以上	積極的支援
		1つ又は2つ	動機付け支援
		0	情報提供
※ 65歳以上の方は、積極的支援レベルに該当しても、動機づけ支援を行います。			

STEP 4 特定保健指導レベルに合わせたご案内を送付します。	
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康的な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣を見直すきっかけとなるような、基本的な情報を提供します。</li> </ul>
動機付け支援 (リスク低)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初回面談 : 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス</li> <li>● 実践 : 3ヶ月以上、自身で「行動目標」に向けて生活習慣改善</li> <li>● 実績評価 : 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認</li> </ul>
積極的支援 (リスク高)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初回面談 : 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス</li> <li>● 継続支援 : 3ヶ月以上、「行動目標」に向けて生活習慣改善の実施メールや電話などで生活習慣の改善のための支援を継続</li> <li>● 実績評価 : 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認</li> </ul>
※ 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士又は実務経験のある看護師）がサポートします。	

## 付録 6 健診検査項目の概要

- 「中性脂肪」** 体内にある4種類の脂質の一種です。中性脂肪は砂糖やでんぷんなどの糖質、炭水化物などが主な原料で肝臓でつくられます。これらの原料を多く取りすぎると、皮下脂肪の主成分として蓄積されます。血液中の中性脂肪やコレステロールが増えすぎる（高脂血症）と、動脈硬化の危険が高まります。中性脂肪が余分になり、血液中に増加してくると、動脈硬化を進める一因になります。中性脂肪の測定は、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）を予防するための大切な検査です。中性脂肪の基準値30～149mg/dlですが、食後30分ぐらいから上昇し始め、4～6時間後に最も高くなります。検査は早朝空腹時に行ないます。
- 「HDLコレステロール」** 血液中のコレステロールや中性脂肪などが、たんぱく質と結びついたものをリポたんぱくといいます。一般に、コレステロールを多く含んでいるリポたんぱくとして「HDL」と「LDL」があります。HDLコレステロールは、血管内壁にへばりついて動脈硬化を引き起こすコレステロールを引き抜いて、肝臓まで運ぶ働きをしています。このことから「善玉コレステロール」とも呼ばれています。
- 「LDLコレステロール」** LDLは、肝臓でつくられたコレステロールを各臓器に運ぶ働きをしている低比重リポたんぱくのことです。LDLコレステロールは、細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となるため「悪玉コレステロール」と呼ばれています。LDLコレステロールの値が140mg/dl以上の場合は、生活習慣の改善が必要です。
- 「血糖」** 血糖とは、一般には血液中のブドウ糖のことを意味します。ブドウ糖は、エネルギー源として利用されているため、血液中のブドウ糖（血糖）は一定の濃度に保たれています。そのコントロールを行っているインスリンが不足したり、あるいはインスリンの働きが弱くなったりすると、血液中に多量の糖が存在することになってしまいます。血糖を調節しているインスリンが不足すると、血液中にブドウ糖があふれて「高血糖」になります。血糖の検査は、糖尿病の有無、その治療や管理の指標として欠かせません。「空腹時血糖値」が126mg/dl以上、または「食後血糖値」が200mg/dl以上であれば、糖尿病の疑いが濃厚です。糖尿病は慢性の病気ですので、根気よく治療を続けることが大切です。食事療法、運動療法、インスリン療法で血糖コントロールをよくして合併症を防ぐことが重要です。
- 「HbA1c」** HbA1c（グリコヘモグロビン）とは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと、血液中のブドウ糖が結合したものです。糖化ヘモグロビンともいい、血糖値が高いほどHbA1cが形成されてやすくなるので、糖尿病患者では血液中に顕著な増加がみられます。血糖値は常に変化しますが、グリコヘモグロビンは濃度が安定しています。ヘモグロビンの寿命は約4ヶ月であるため、グリコヘモグロビンの値を調べれば、過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を知ることができます。血糖値は検査前の食事や飲酒、それに検査に時間によって変動するのに対し、HbA1c値はほとんど影響を受けないという特徴があります。糖尿病を治療中の人で高値の場合は、血糖コントロールが上手くいっていないということであり、食事療法を守るのはもちろん、適度な運動を行なうなど、生活スタイルから見直す必要があります。
- 「BMI」** BMIとは、体格指数を表し国際的にも認められている、肥満・やせの基準です。BMI値は、大人のみに適応するもので、その体格判定基準は、  
・18.5未満 やせ /・18.5～25未満 標準 /・25～30未満 肥満 /・30以上 高度肥満  
となっており、25以上を肥満としています。なお、日本肥満学会では、日本人の標準値を男女ともに22としています。これは、統計的に疾患が最も発生しにくく長生きできる数値を標準値として採用したものです。BMIの大きい太った人は、糖尿病や心臓病などの発病率が高くなります。
- 「AST/ALT」** AST・ALTは肝細胞に多く含まれている酵素です。肝臓が悪くなると肝細胞が破壊され、そこに含まれている酵素が血液中に放出されますので、数値が高くなります。ASTは心臓の筋肉や骨格筋等にも含まれていますので、激しい運動や筋肉に炎症がある場合や心筋梗塞（急性期）の場合にも増加します。
- 「γ-GTP」** γ-GTPは胆道系酵素のひとつで、肝臓や胆道に障害があると、血液中の値が高くなります。また、飲酒状態を敏感に反映することから、アルコール性肝疾患の診断・経過観察の指標となります。その他、薬剤性肝障害でも値が上昇します。

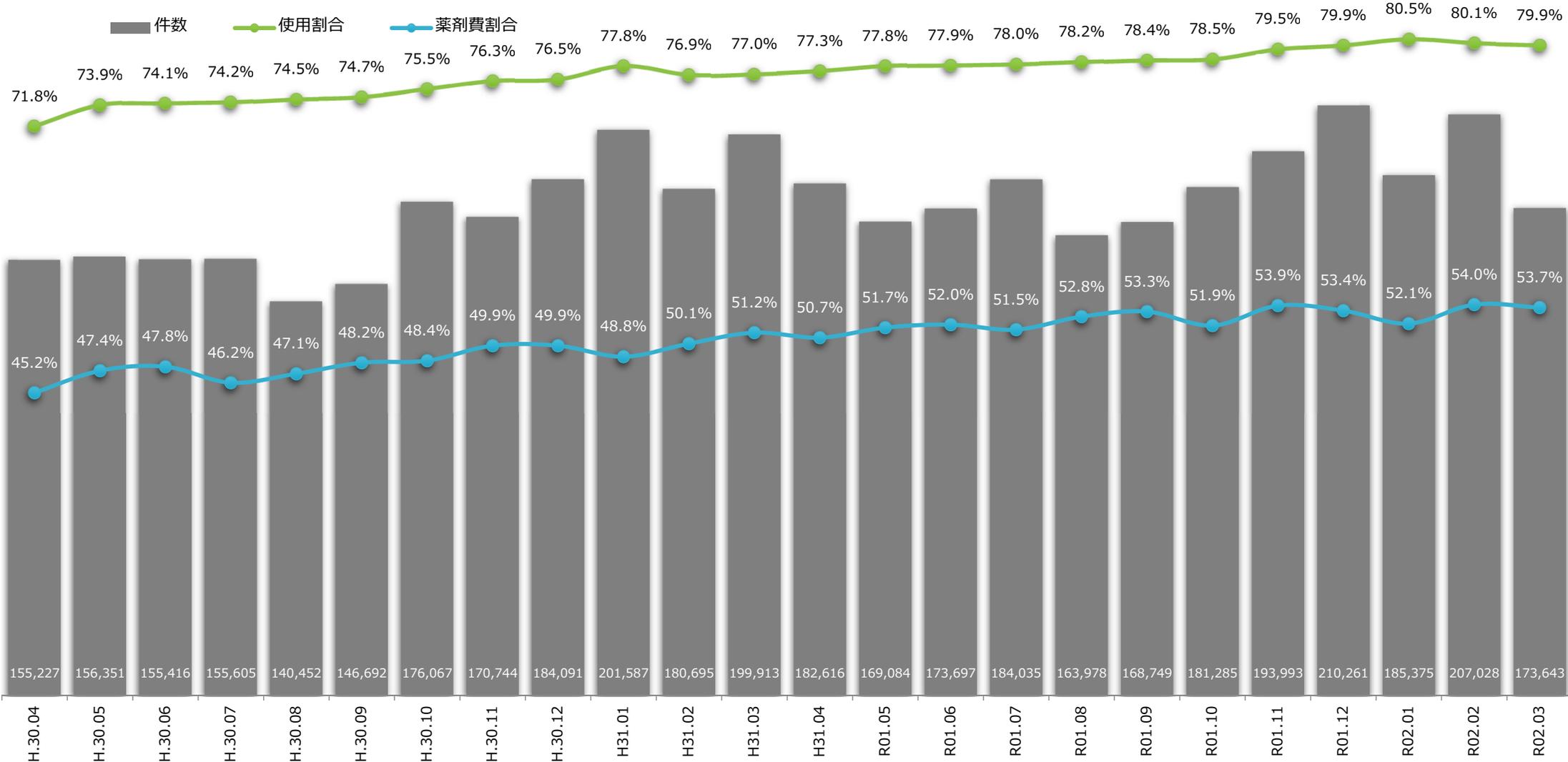
**STEP 1-5**

**後発医薬品**

# 1-5-1 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人家族

	本人	男性
調剤	家族	女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人+家族 強制+任継

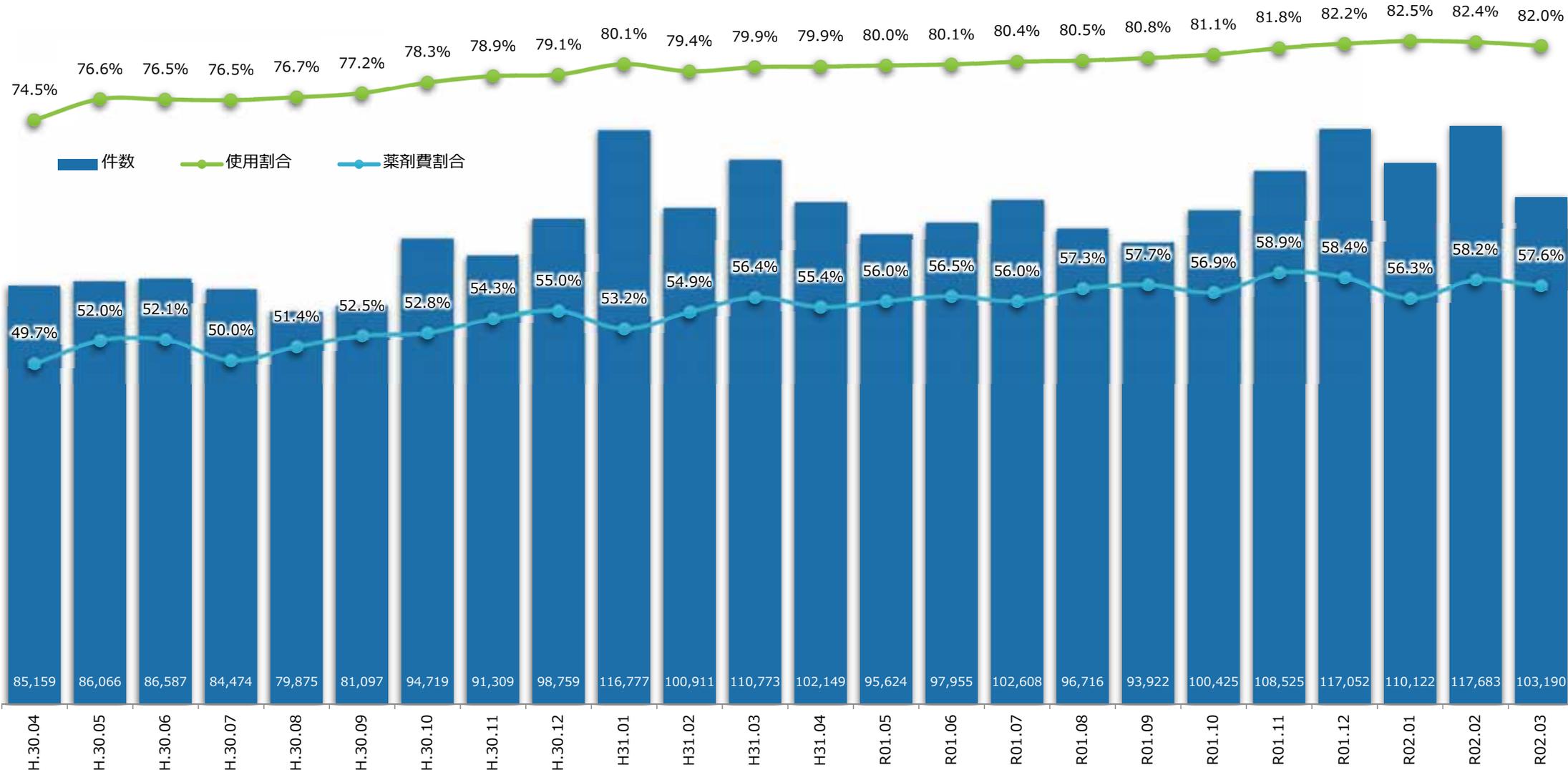


使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。一年前に比べ約3%程度上昇している。

# 1-5-2 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人 強制+任継

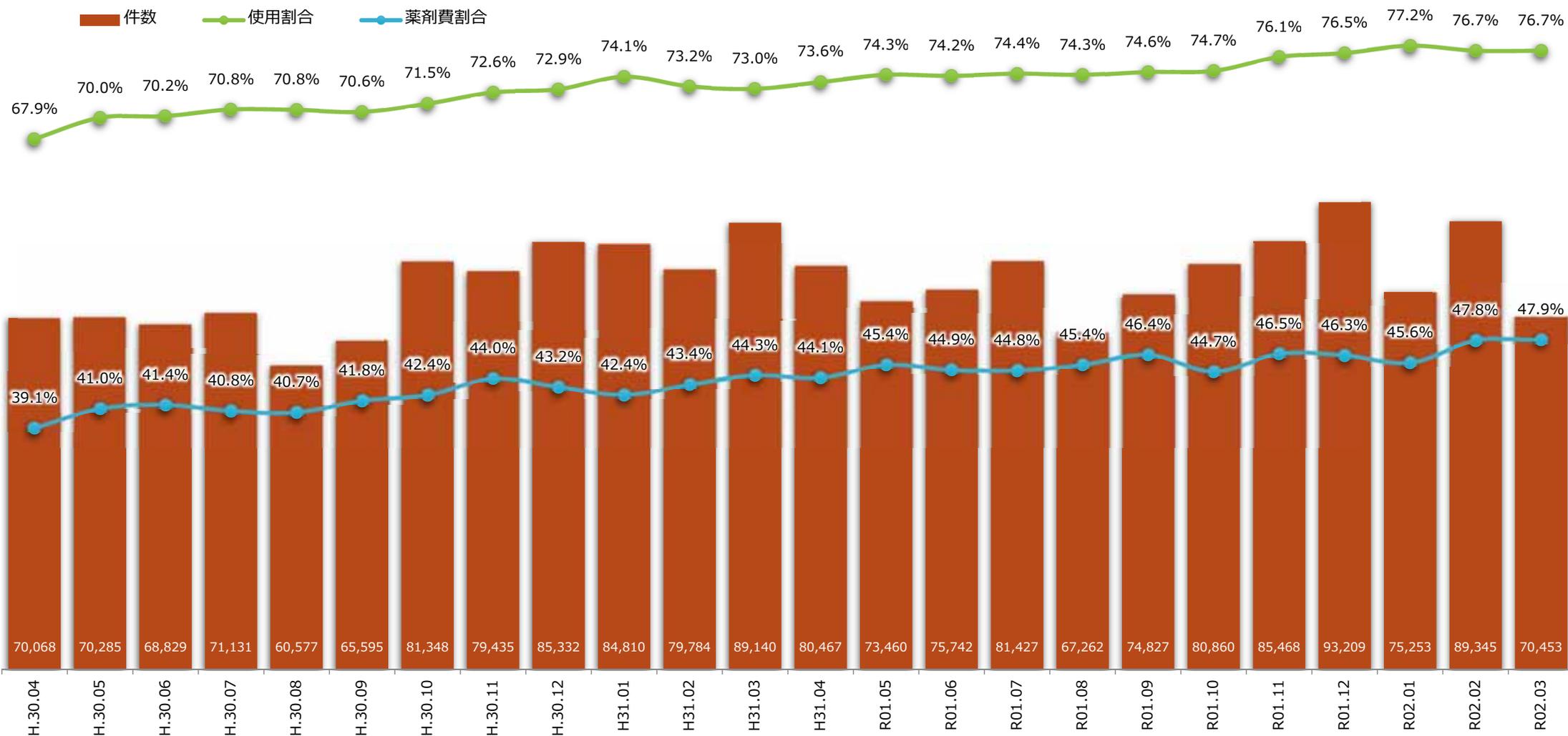


使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。

# 1-5-3 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 家族

後発医薬品の使用状況の各月推移 家族 強制+任継



使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。

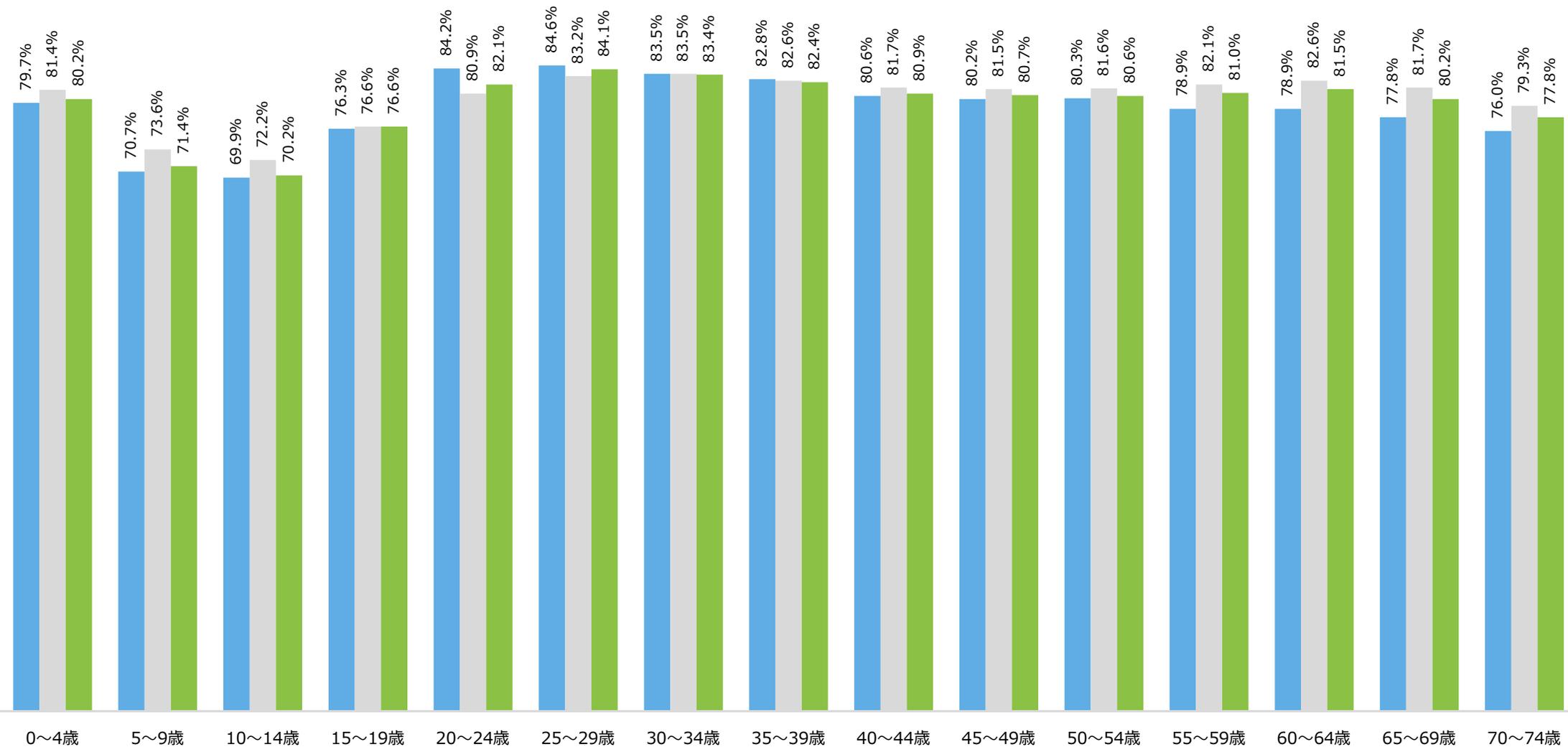
# 1-5-4

## 後発（ジェネリック）医薬品の使用割合の比較 - 令和2年3月調剤分 -

	本人	男性
調剤	家族	女性

使用割合 本人+家族 強制のみ 全年齢合計 ■当組合 79.94% ■全健保組合 80.86% ■情報通信業 80.25%

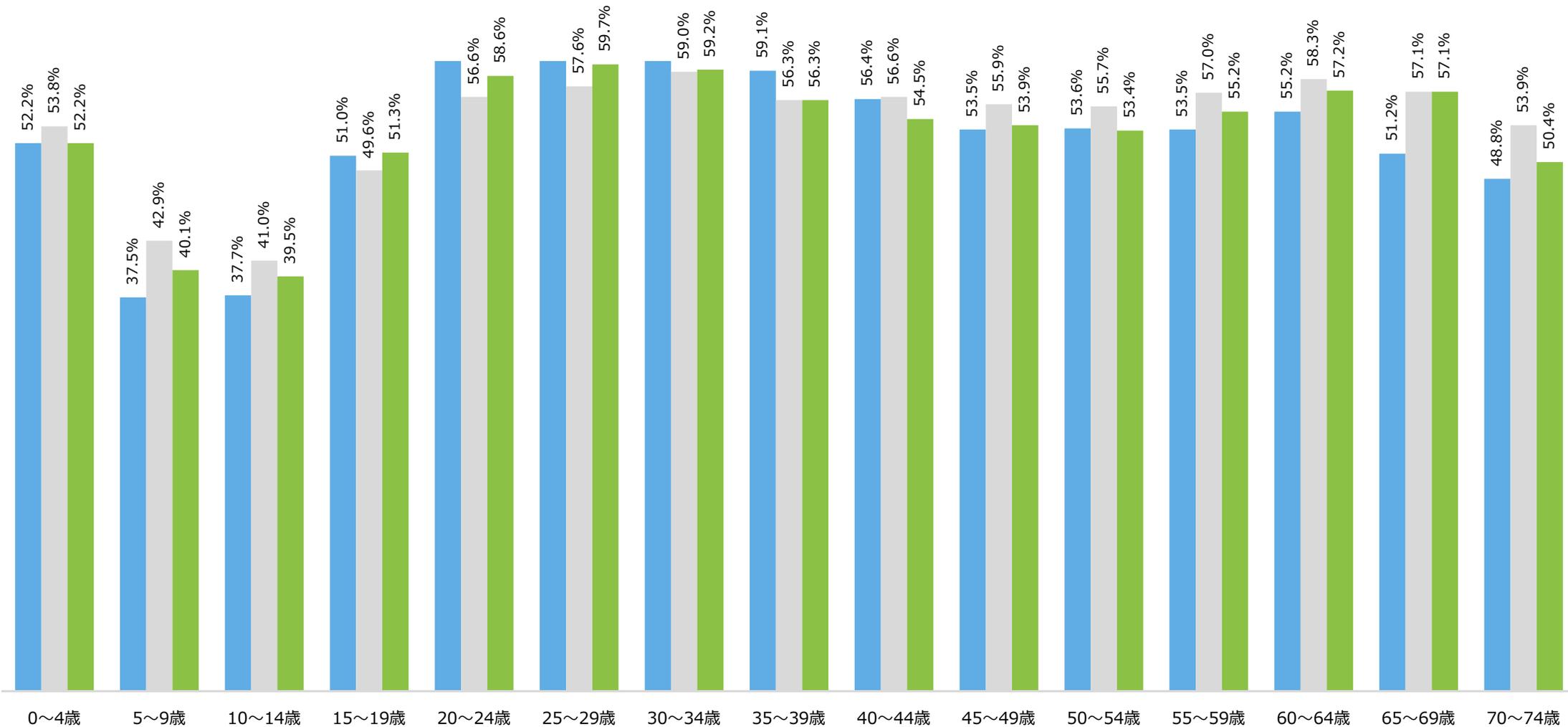
■当健保組合 ■全健保組合 ■情報通信業



■ 前回約77%であったが約80%へと使用割合が全体的に増加している。情報通信業と比較しても優位性は認められない。  
 ■ 若年層での使用割合が低いのは各自治体の医療費補助制度により、自己負担に関心が薄いためと思われる。

薬剤費割合 本人+家族 強制のみ 全年齢合計 ■当組合 53.77% ■全健保組合 54.61% ■情報通信業 53.64%

■当健保組合 ■全健保組合 ■情報通信業



■ 使用割合の増加に伴って薬剤費割合も全体的に増加している。他と比較して、トータルでの優位性は認められない。

## STEP 2

健康課題を抽出する

## 基本分析による現状把握から見える主な健康課題

1-1-1	特定保健指導の実施率は、直近実績でも22.7%（国の設定した基準値30%以上）である。
1-1-1 1-3-1 1-3-2	前期高齢者の加入率は医療保険者の中では低い。一人当たり医療費は他の低年齢階層の加入者よりも高い。
1-3-8	歯科医療費の平成28年度実績の三要素の伸び率は逡増しており、かつ、その割合も医療費総額の13%を占めている。また、生活習慣病と歯周病の関係が明らかになってきたが、取組みを何も実施していない。
1-3-12 1-3-16 1-4-6	生活習慣病に係る医療費、特に外来は糖尿病が高い値を示している。HbA1c及び血糖値の値は、30歳代から高くなる傾向が見られる。
1-3-9 1-3-10 1-3-13 1-3-14	悪性新生物対策として、子宮頸部、乳房、肺、大腸及び胃などについて、エコーやマンモ、便潜血、胃部X線などの検診・検査方法で対応しているが、ピロリ菌などの胃のリスク検査が十分に実施されていない。
1-3-11 1-4-6 1-4-7 1-4-8	虚血性心疾患や脳血管障害は入院医療費の多くを占めているが、健診結果よりこれらの発症要因である糖尿病と高血圧症、脂質異常症の基準値を超える者が多くいる。

## 対策の方向性

ICTを活用した遠隔保健指導を利用し、コラボヘルスを通じた事業主との連携を推進し、特定保健指導の実施率を引き上げるほか、スポーツ施設を利用した特定保健指導の新たなモデル実施に取り組む。

健康寿命の延伸を見据え健康リスクを抱える前期高齢者層及び前期高齢者の待機者に、健康に関する相談や助言等を行える対策を講じる。

第2期事業より、新規に歯科健診を導入する。歯科健診は、事業所訪問型の「巡回歯科健診」と都内の健保会館で実施する「会館歯科健診」のほか、契約健診機関の実施する特定健診と併設して実施できる事業者を選定する。

受診勧奨を含めた「糖尿病の重症化予防事業」に関し、第1期事業の実施効果を踏まえ、全てのフローと手順を改善し、より効果的・効率的に実施する。また、参加者を長期間フォローする体制と方法を検証し、これを実施する。

胃のリスク検査としてペプシノゲン検査のほかピロリ菌抗体検査の未実施者に対し、簡易に郵送で実施できる胃がんリスク検査を導入する。検査結果に関する相談やフォローも実施できる仕組みを併せて導入する。

血圧と糖尿病の受診勧奨値を基準に対象者を抽出選定し、高血圧症と糖尿病の未治療・未受診者に対し、第1期事業の実施効果を踏まえ受診勧奨事業を実施する。脂質異常症についての受診勧奨を令和3年度より追加して実施する。

## 特徴

- 基本情報**
- 適用事業所の1社当りの被保険者数は65.0人と、個々の事業所規模は決して大きくない。
  - 20歳代、30歳代が被保険者全体の62.7%を占める、若い被保険者構成となっている。

- 棚卸し**
- 歯科疾患予防に関する取組みを全く行っていない。
  - 歯科レセプトの分析は手つかず、かつ、その手法の確立が十分ではない。

## 対策検討時に留意すべき点

- 加入者及び事業所拠点が多いことから、健保組合が全ての被保険者に個々に接することは現実的ではないが、第1期事業でのコラボヘルスで構築した協力関係を生かし、社員のモチベーションアップや企業の生産性向上にも寄与する新たなコラボヘルス体制の構築とコラボヘルスを通じた質の高い保健事業の提供を行う。

- 事業所巡回型の歯科健診を導入するが、一定の受診人数がいないと実施できないため、会館型の歯科健診を用意する必要がある。
- 地方都市での会館型の実施は、他の医療保険者と共同で開催するなど、その実施方法を含め引き続き検討を重ねる必要がある。

## STEP 3

課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する

## STEP 3-1

## 実施計画

- 保健事業の実施計画の対象者の資格及び年齢は、事業によって更に条件が設定されているものがあります。

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画						
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
個別の事業																
特定健康診査事業	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 89.0%</li> <li>全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 89.6%</li> <li>受診率向上のため、コラボ実施など事業所との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 90.3%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 91.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 92.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 93.3%</li> </ul>
	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 46.6%</li> <li>被扶養者の登録住所等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 47.0%</li> <li>未受診者への効果的なアプローチの検討、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 47.5%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 48.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 49.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 50.0%</li> </ul>
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 23.0%</li> <li>遠隔保健指導に遠隔禁煙支援をアドオンすることで階層化リスク項目の軽減を図る</li> <li>積極的支援に係るモデル事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 24.5%</li> <li>モデル実施の効果を検証し、対象地域の拡充を図る</li> <li>受診率向上のためコラボヘルス事業所との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 26.0%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 27.3%</li> <li>初回面接当日実施と遠隔保健指導の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 29.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 30.0%</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
職場環境の整備																		
保健指導宣伝	4	既存	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者目線に立った、分かりやすく且つ見やすい誌面づくり</li> <li>疾病予防、健康増進に係る情報の効率的な発信</li> </ul>	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める。	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の健康課題の共有</li> <li>健康情報の共同利用による保健指導/保健事業の推進</li> <li>健康経営優良法人認定に係る情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への広報</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、より実践的な協働を実施するための事業内容を検討	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施		
	7	既存	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>30社以上がサポート事業を利用</li> <li>企業宣言実施事業所を対象にした研修補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40社以上がサポート事業を利用</li> <li>健康優良企業認定（金の認定）の事業所の顕彰</li> </ul>	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、事業内容を検討	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施		
	7	既存	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>200社以上が宣言実施</li> <li>説明会等を通じた制度広報</li> <li>健康優良企業認定に向けたサポート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>300社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>400社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>500社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>600社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>700社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
加入者への意識付け																		
保健指導宣伝	7	既存	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 20,000人</li> <li>ウォーキング大会等を開催し、健康増進に取り組める環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 25,000人</li> <li>セルフメディケーションの活用ツールとなるようコンテンツの見直しを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 30,000人</li> <li>セルフメディケーションの活用ツールとなるようコンテンツの見直しを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 35,000人</li> <li>中間効果を検証し、事業の実施内容を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 40,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 45,000人</li> </ul>		
	4	既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター等の事業所への送付</li> <li>直営健診センター、健保会館及び保養所への禁煙啓蒙用の冊子等の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙率の変動を検証し、事業の見直しを検討、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	7	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのセミナーメニューを踏まえて、事業所のニーズを優先的に取り入れ開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの集計結果を分析し、セミナー対象者や内容について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合76%</li> <li>My Health Web登録者 20,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 70,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合78%</li> <li>My Health Web登録者 25,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 80,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合80%</li> <li>My Health Web登録者 30,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 90,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合81%</li> <li>My Health Web登録者 35,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 100,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合82%</li> <li>My Health Web登録者 40,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 110,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合83%</li> <li>My Health Web登録者 45,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 120,000人</li> </ul>		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
疾病予防	1	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率78%</li> <li>全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率80%</li> <li>コラボヘルスによる受診率の向上施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率82%</li> <li>コラボヘルスによる効果を検証し、コラボヘルス事業所数を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率84%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率86%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率88%</li> <li>全ての都道府県への契約健診機関の配置完了</li> </ul>		
	1	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 26,000人</li> <li>健診機会を捉えた効果的な健診案内と受診勧奨の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 27,000人</li> <li>未受診者への効果的なアプローチの検討、実施</li> <li>DMの実施を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 21,000人</li> <li>未受診者へのアプローチの検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 21,000人</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 22,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 23,000人</li> </ul>		
	1	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診機関での検査項目、利用料金の見直しを図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金の改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	1	既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診環境の整備と拠点の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実施結果を検証し、対象者や運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診対象年齢の引き下げと健保補助回数を見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	1	既存	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 80%未満</li> <li>実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 70%未満</li> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 60%未満</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 50%未満</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 45%未満</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 40%未満</li> </ul>		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
疾病予防	1	既存	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 20,000人</li> <li>実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> <li>生活習慣病との関連性をしぜで分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 30,000人</li> <li>他の医療保険者と連携して地方での会館歯科健診を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 40,000人</li> <li>地方での会館歯科健診の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 20,000人</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種受診率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20 ~39	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の対象地域の拡充に向けた検討を行う。</li> <li>特定保健指導モデル実施との連携</li> </ul>	参加者の対象地域の拡充を実施する	禁煙事業など複合的な取り組みを検討し、行動変容の実施に取り組む	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が参加できるように効果的な周知を検討</li> </ul>	従来 of 事業を継続	BMI減少率等の効果検証を実施し事業継続及び見直しを検討	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
疾病予防	4	既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】2日間の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMBGによる血糖測定で行動変容に高い効果が見られたため、希望者にCGM装着により血糖の1日の変動を見る化し効果を検証する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方都市での実施に向けた本格運用の検討、実施（福岡・大阪・愛知）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催地域の拡充（北海道ほか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催地域の拡充（鹿児島ほか）</li> <li>Webでの開催について、検討、実施評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>		
	2	既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率50%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率52%</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率54%</li> <li>これまでの実施結果を検証し、運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率56%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率58%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率60%</li> </ul>		
	4	既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の行動変容及び数値の改善が期待できるよう、委託事業者との連携及び最適なフローの構築を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施結果を検証し、必要に応じて運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施結果を検証し、必要に応じて運用を見直す。（厚生労働省のガイドラインの改訂等を踏まえる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率30%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>		

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画									
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
個別の事業																			
疾病予防	2	既存 高血圧症受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率25%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率27%</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率29%</li> <li>これまでの実施結果を検証し、運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率31%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率33%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率35%</li> </ul>				
	2	新規 脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39 ~74	基準 該当者	1	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> </ul>				
	6	既存 前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近のデータを活かすため、これまで年1回であった案内を2回に分けて送付する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者の医療費を分析し、対象年齢の引き下げについて検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者の医療費を分析し、対象年齢の引き下げについて検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>				

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画						
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
個別の事業																
体育奨励	7	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	7	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	7	既存	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	7	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続
	7	既存	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
体育奨励	7	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
体育奨励	7	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び被扶養者を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫		
直営保養所	7	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

## STEP 3-2

## 目標

- 保健事業の実施目標の対象者の資格及び年齢は、事業によって更に条件が設定されているものがあります。

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
<b>個別の事業</b>												
特定健康診査事業	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率93.3%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（21.5%未満）</li> </ul>
	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無し の巡回健診を取り入れ 受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率50.0%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（6.5%未満）</li> </ul>
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導実施の促進（実施率30%以上） (被保険者：30.5%、被扶養者：17.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（19.8%）</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	4	既存	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌の年2回発行</li> <li>機関誌の全被保険者への配布</li> <li>機関誌のWEB閲覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラボヘルスを通じた機関誌の利用状況調査</li> </ul>
	7	既存	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める。	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の健康課題の共有</li> <li>コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への提示</li> <li>特定保健指導対象者などの健康情報の共同利用の推進（協定締結）</li> <li>健康経営優良法人認定に係る制度情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康情報を共同利用する事業所数</li> <li>健康経営優良法人認定を受けた事業所数</li> <li>特定保健指導の実施率の向上</li> <li>重症化予防事業の参加率の向上</li> <li>受診勧奨事業の医療機関受診率の向上</li> </ul>
	7	既存	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの企業風土への定着</li> <li>組合員のヘルスリテラシーの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営サポート事業を利用する事業所数</li> <li>健康経営優良法人認定を受ける事業所数</li> </ul>
	7	既存	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康企業宣言の推進</li> <li>健康優良企業認定に向けたサポート実施（健診情報の提供、提出書類の内容確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>700社以上が健康企業宣言を実施</li> <li>健康経営優良企業（銀の認定/金の認定）の事業所数</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
加入者への意識付け												
保健指導宣伝	7	既存	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する。	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌やホームページ等を通じた制度広報</li> <li>My Health Webへの登録数（率）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>My Health Webの登録率（被保険者20%・被扶養配偶者5%）</li> </ul>
	4	既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全事業所への禁煙啓蒙ポスターの配付（毎年）</li> <li>効果的な禁煙啓蒙リーフレットの配布（各健保施設に設置）</li> <li>健康診査（問診票）の回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙率の低下（平成28年度比10%以上減少） 男性 31.6% → 28.4%以下 女性 11.9% → 10.7%以下</li> </ul>
	7	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所のニーズに則したプログラムの策定と参加募集の実施</li> <li>希望者のセミナー内容に沿った適切な回数の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー効果（アンケートで満足度を確認） 内容についての満足度 90%以上 事業所での活用可能性 90%以上</li> </ul>
	7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌やホームページ等を通じた制度広報</li> <li>後発医薬品差額通知の閲覧機会の増加を目的とした、My Health Web（個人向け健康ポータルサイト）登録者数の向上 登録者数 45,000人 アクセスユーザー数 120,000人</li> </ul>	後発医薬品の使用割合83%以上

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
疾病予防	1	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率本人90%以上、家族50%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者の健康維持（特定保健指導群への悪化率10%未満）</li> </ul>
	1	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年健診未受診者への受診勧奨（案内発送100%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者の健康維持（特定保健指導群への悪化率10%未満）</li> </ul>
	1	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率本人70%以上、家族40%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要検査者の減少（要検査率の減少）</li> </ul>
	1	既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（検査機関の適正配置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要検査者の減少（要検査率の減少）</li> </ul>
	1	既存	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査実施の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者の割合の逓減（毎年未受診率を測定）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
疾病予防	1	既存	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（委託事業者の配置や地方会館健診の拡充）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診受診者の増</li> <li>生活習慣病等医療費の減少確認（歯科レセと内科レセの突合せ分析）</li> </ul>
	7	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種者の増加（接種時期・補助額の適性設定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費及び重症患者の減少（首都圏罹患者率よりも患者数の減少傾向に転じる）</li> </ul>
	7	既存	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20 ~39	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回実施内容の棚卸しと対象者選定基準対象の効果的な設定</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診データの改善（BMI・血糖・HbA1c・中性脂肪・HDL/LDLコレステロールそれぞれの値5%以上改善）</li> <li>生活行動変容を伴う運動習慣等の定着（参加者の50%以上）</li> </ul>
	7	既存	ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の募集広報</li> <li>他の疾病予防事業との抱き合わせ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BMI減少者の増加（参加者のBMI減少者率80%以上）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
<b>個別の事業</b>												
疾病予防	4	既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】2日間の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「糖尿病合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より90%以上）</li> </ul>
	4	既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報と健診情報に基づく「糖尿病の重症化予防」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者の医療機関への受診（事業開始前より30%以上）</li> <li>人工透析移行の予防及び時期の遅延</li> </ul>
	2	既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「糖尿病合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より60%以上）</li> </ul>
	2	既存	高血圧症受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「高血圧症と合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より35%以上）</li> </ul>
	2	新規	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「脂質異常症と合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より20%以上）</li> </ul>
	6	既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報と健診情報に基づく「医療機関の利用方法」等の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者医療費の縮減（保健指導対象者の一人当たり医療費の10%減少）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間1回実施	-
	7	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・年間2回2箇所で開催	-
	7	既存	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・年間2回実施	-
	7	既存	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	・年間4回実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	• 年間1回実施	-
	7	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	• 年間6回実施	-
	7	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	• 年間1回実施	-
	7	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	• 年間3回実施	-
	7	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	1	• 年間1回実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的 および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間2回実施	-
	7	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び被扶養者を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～74	全員	1	・年間1回実施	-
直営保養所	7	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～74	全員	1	・通年実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

## 更新履歴

2018.02.06	初版 第94回組合会承認
2019.02.08	更新 第97回組合会承認
2020.02.07	更新 第101回組合会承認
2021.02.05	更新 第104回組合会承認